



★別冊エースファイブコミックス★

愛妻強制牝奉仕

あいさい

きょうせい

めす

ほうし

成年
コミック

角雨和八

愛妻強制牝奉仕

目次



第1話	墮とされた淫獄	003
第2話	接待用特別秘書	027
第3話	肛虐秘書	051
第4話	中出し責め	075
第5話	恥辱の出張接待	099
第6話	最後の強制奉仕	123



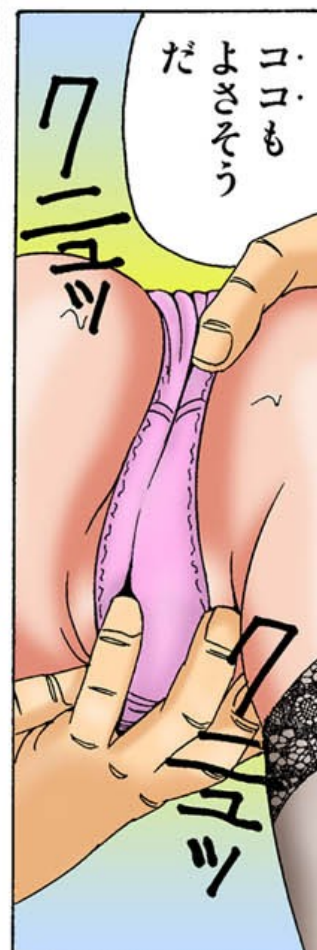
第1話

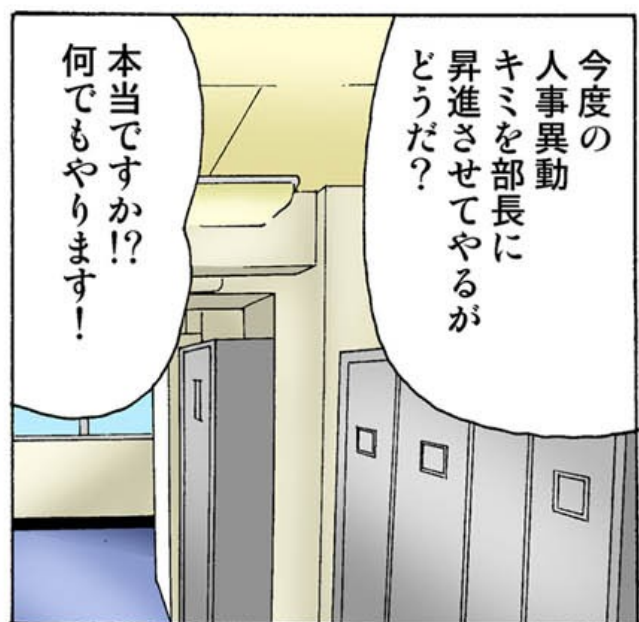
墮とされた淫獄

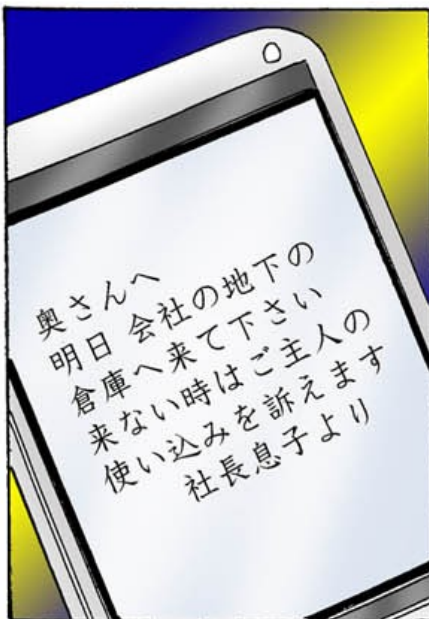
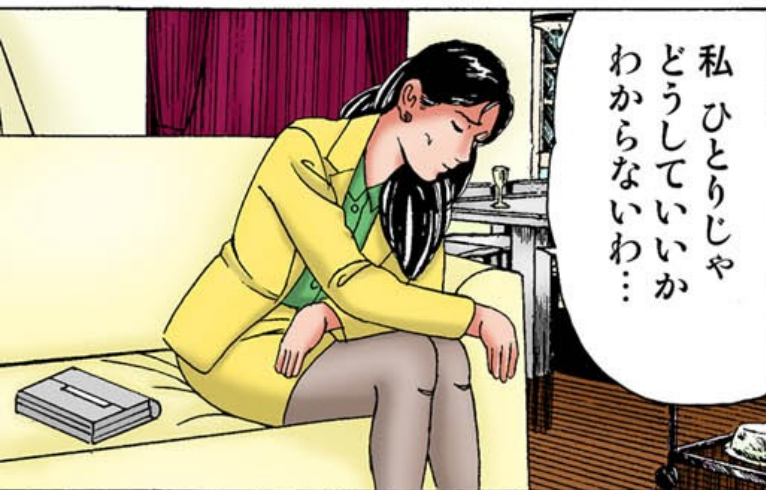


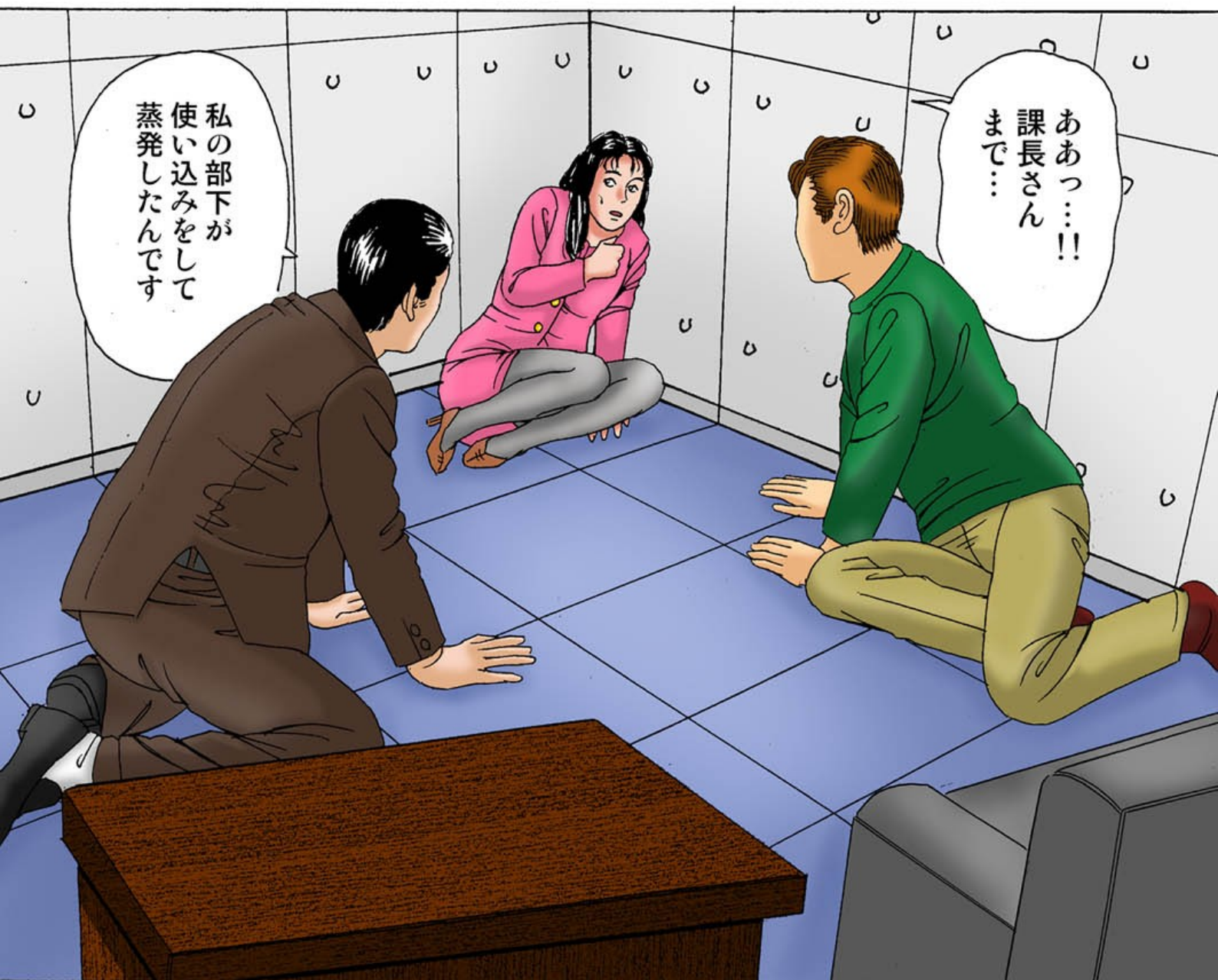
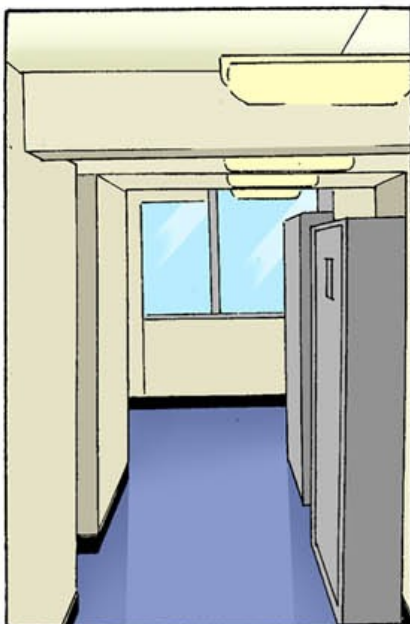


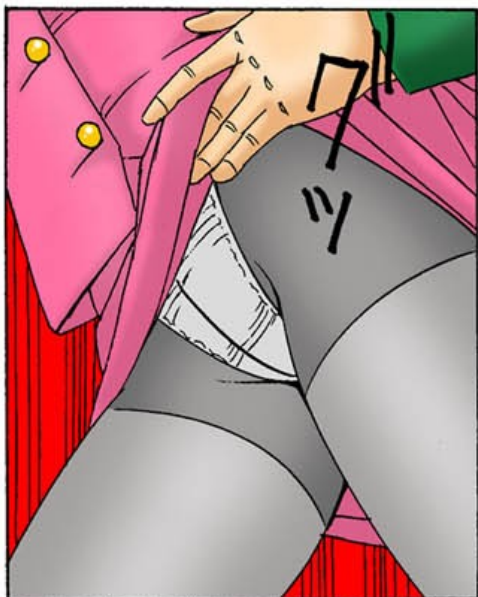












見すごす
わけには
いきませんよ

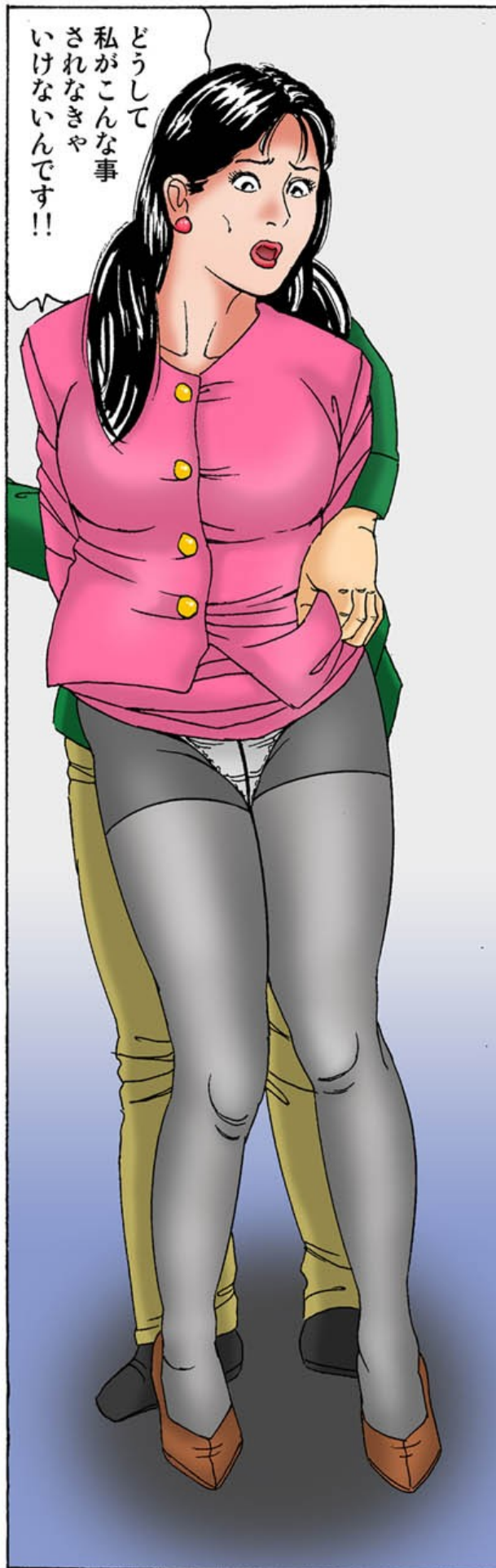


やめて下さい!!

今度若社長の
言いつけに逆らったら
ご主人の使い込みを
警察に届出ます
からね



恨むなら
ご主人を
恨む事ですな

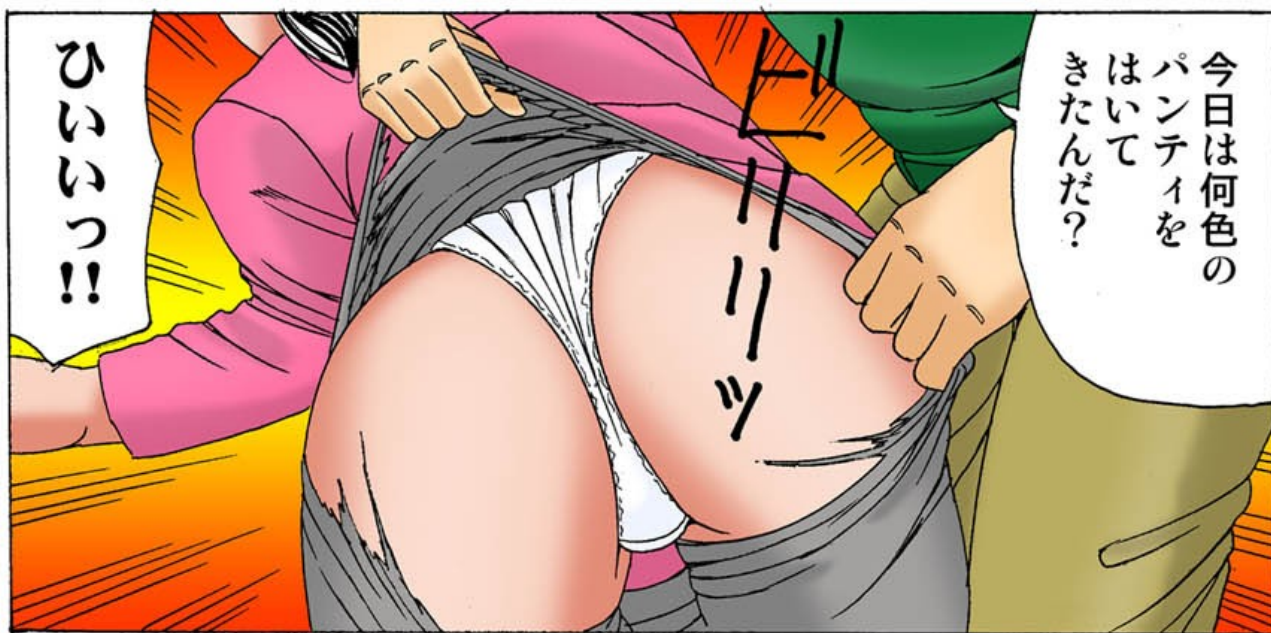


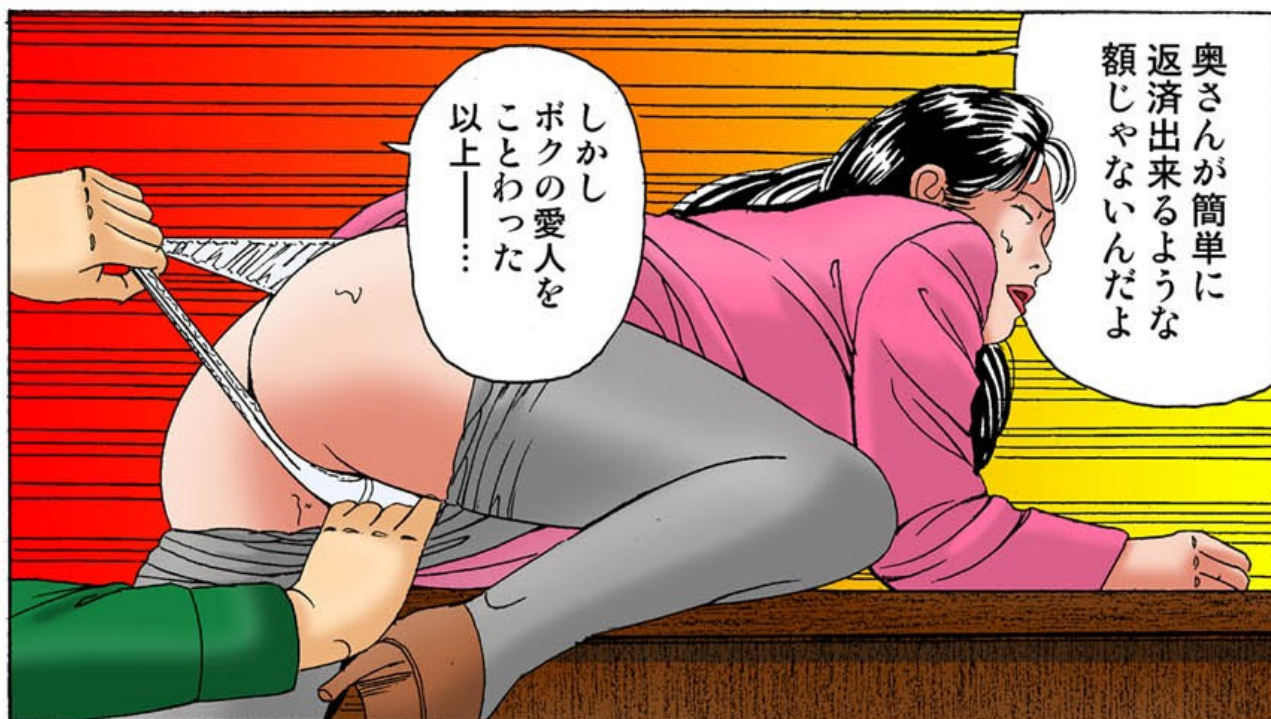
どうして
私がこんな事
されなきゃ
いけないんです!!

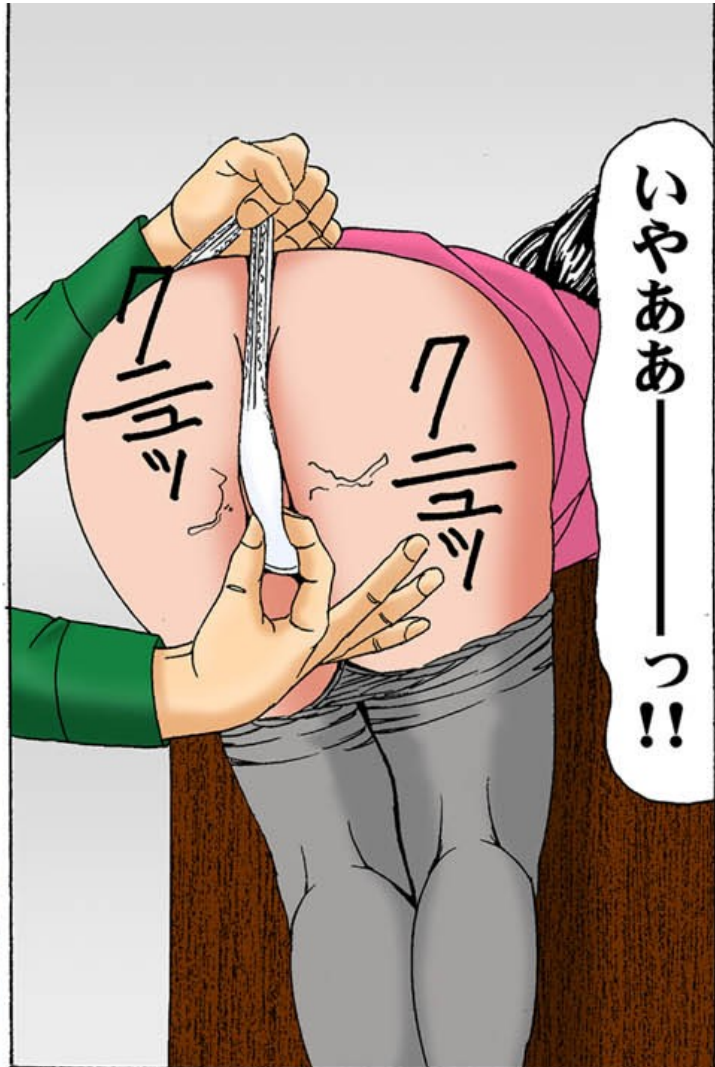


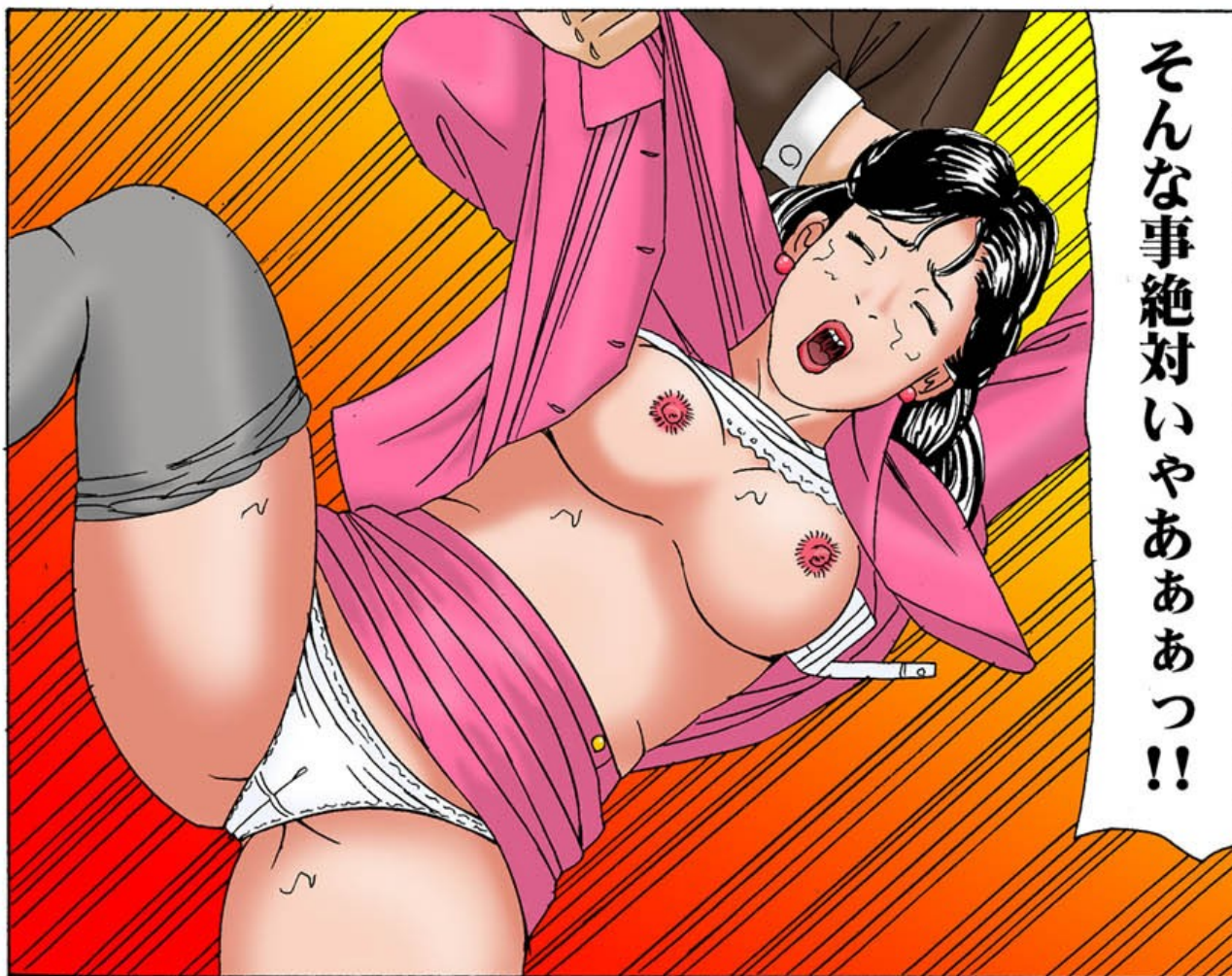
ああっ!!

ムリッ







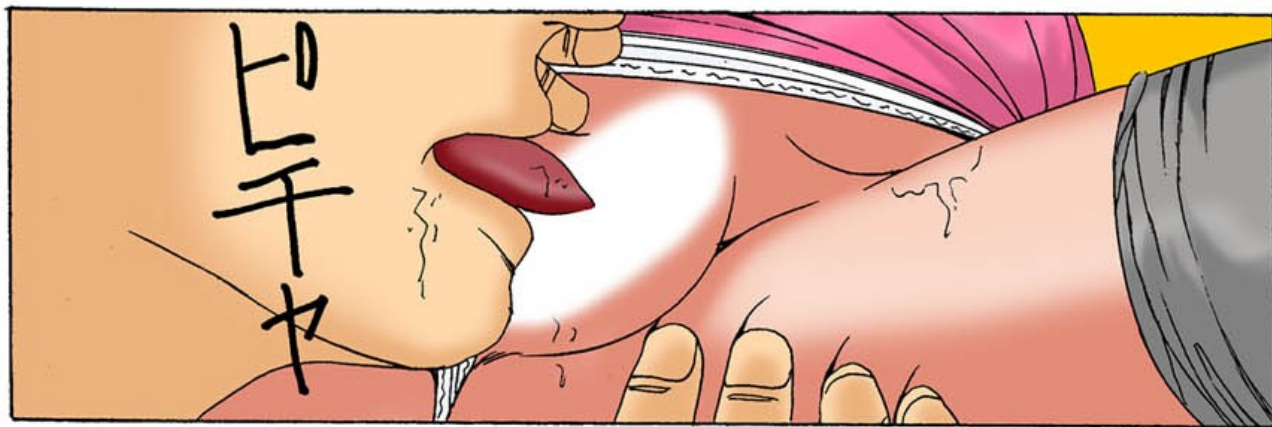
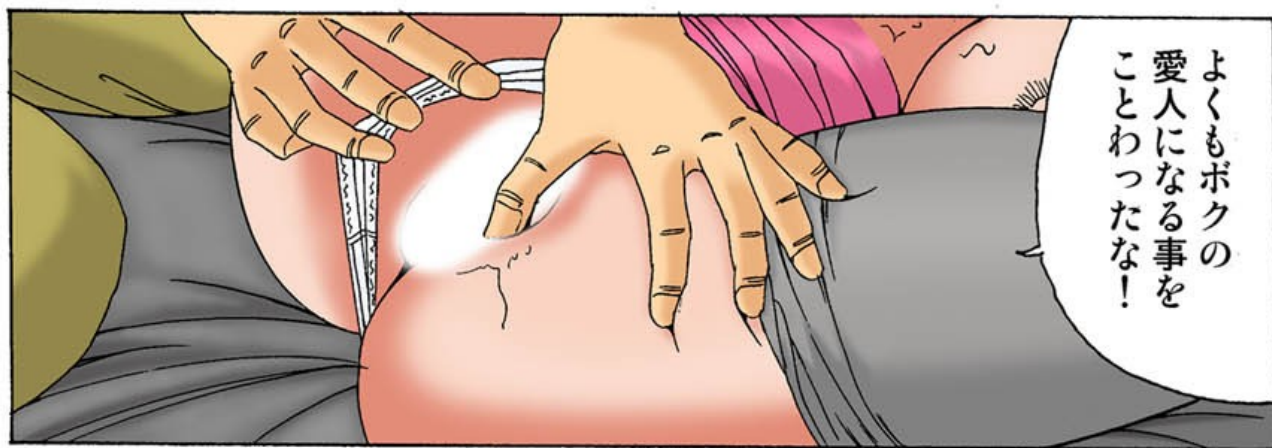


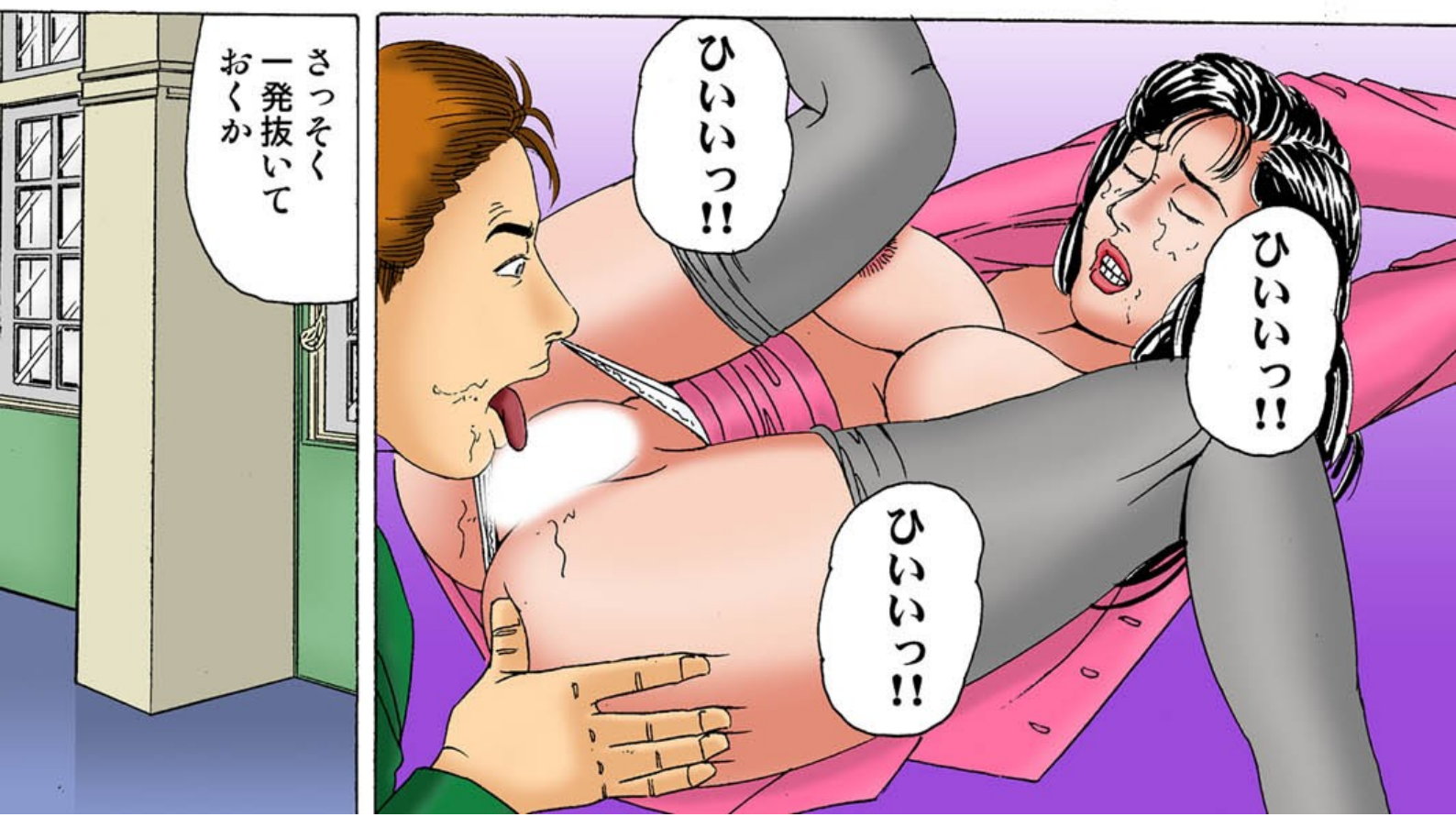
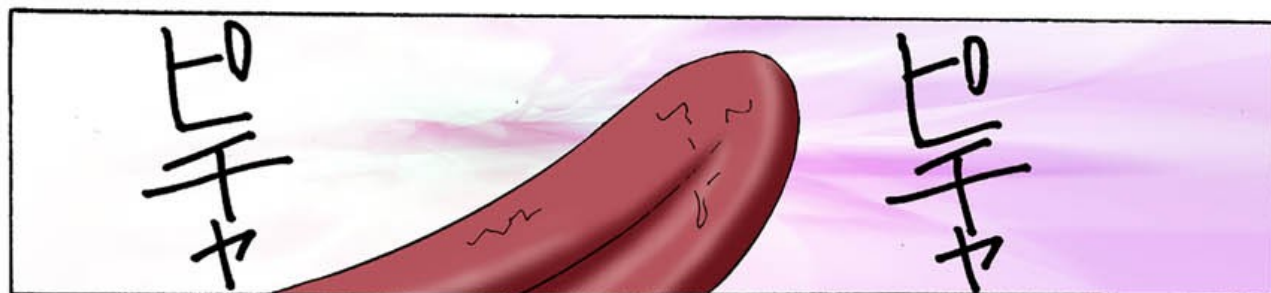
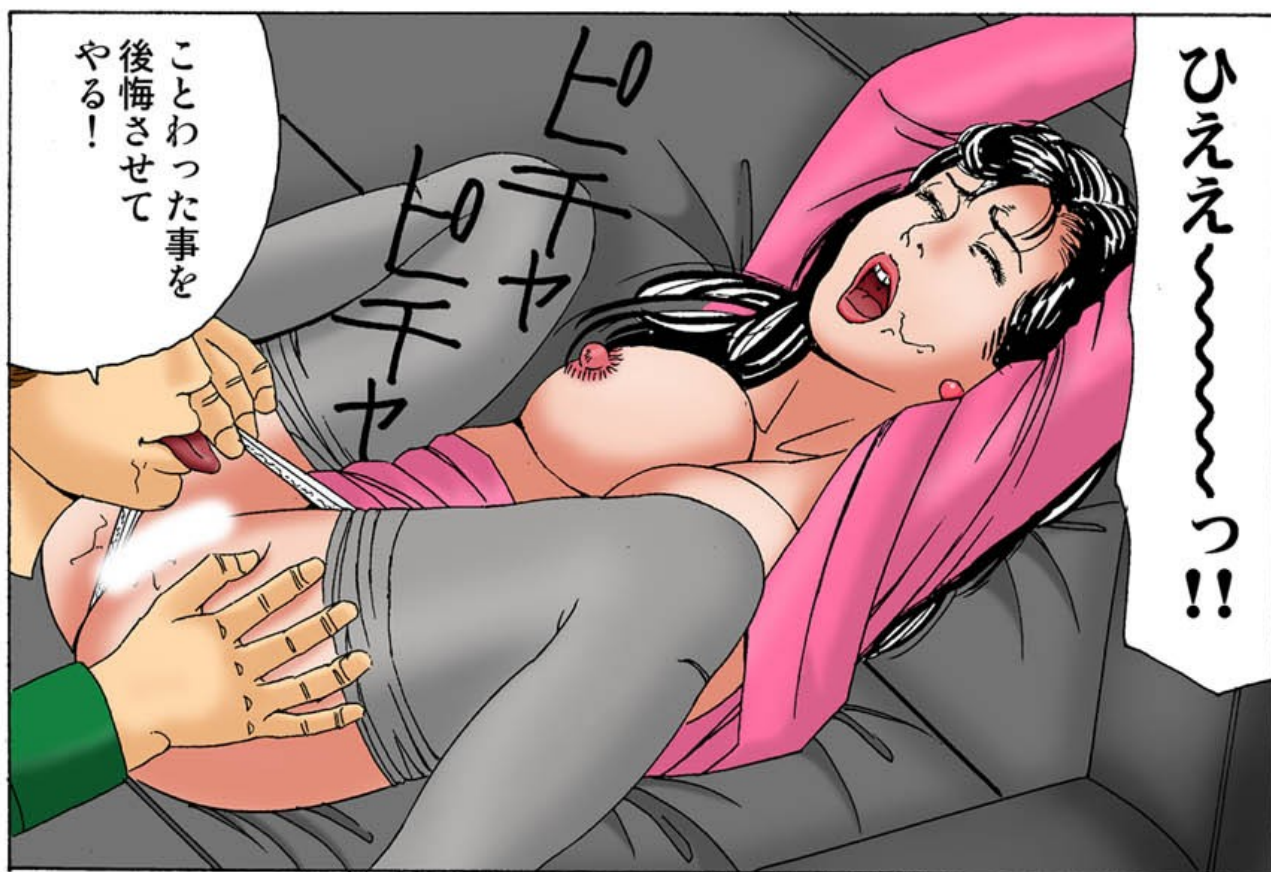
そんな事絶対いやあああつ!!



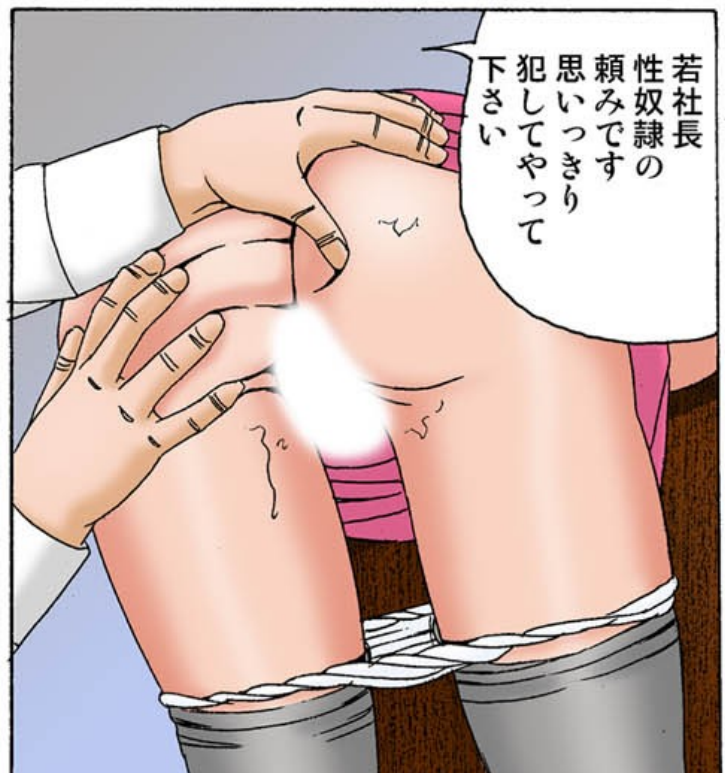
お願いっ…
助けて下さい…!!

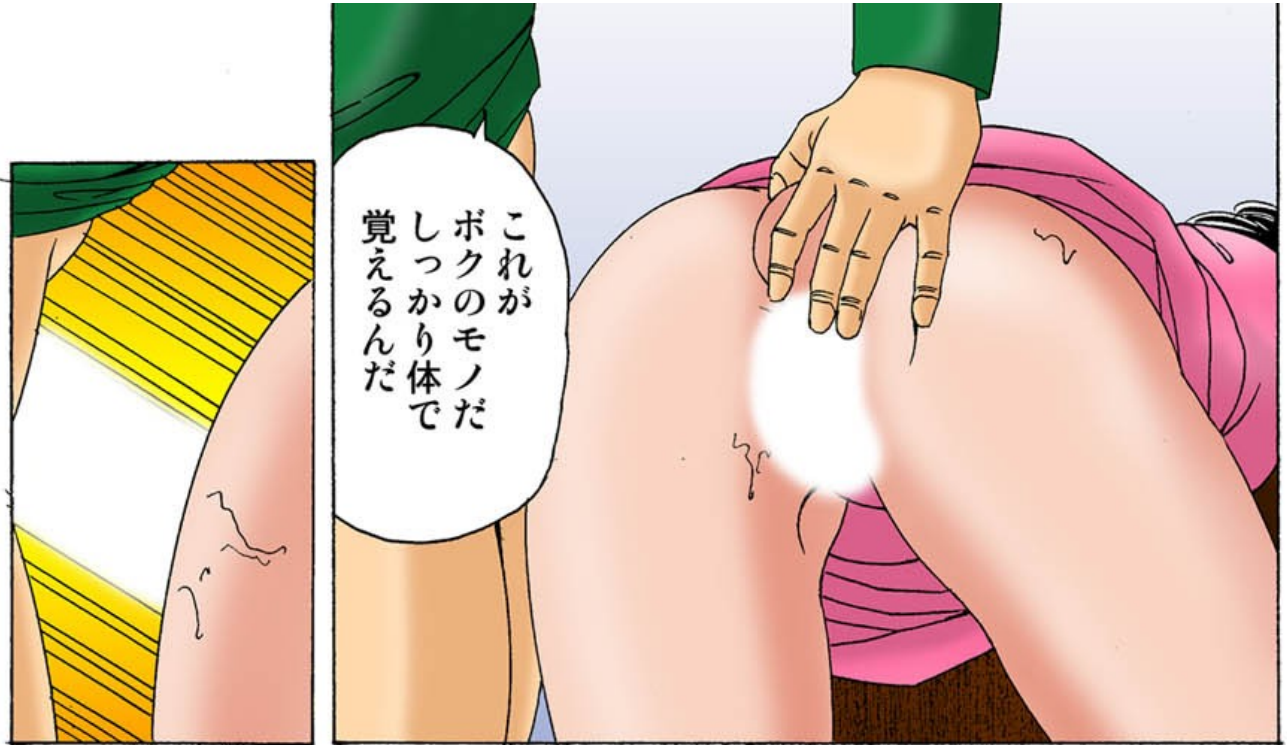
ソファの上に
のって
若社長に
奥さんのアソコを
お見せするんだ





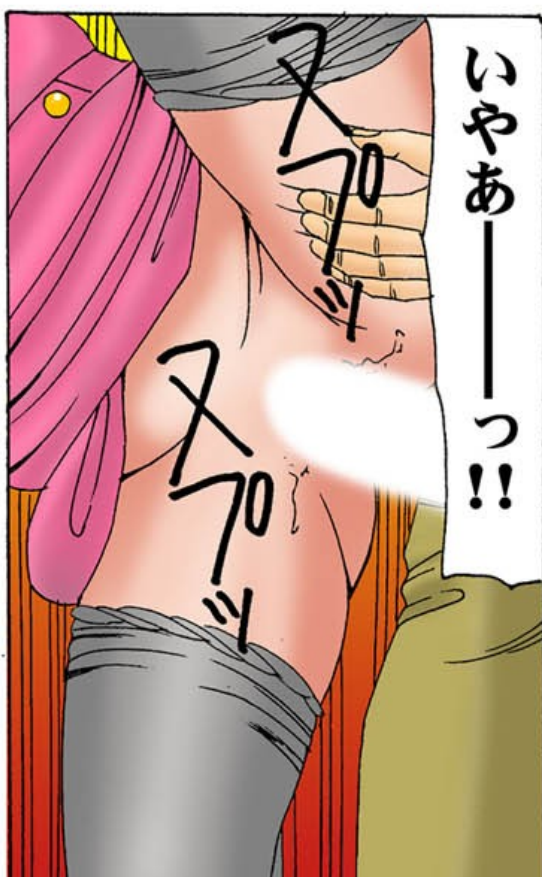




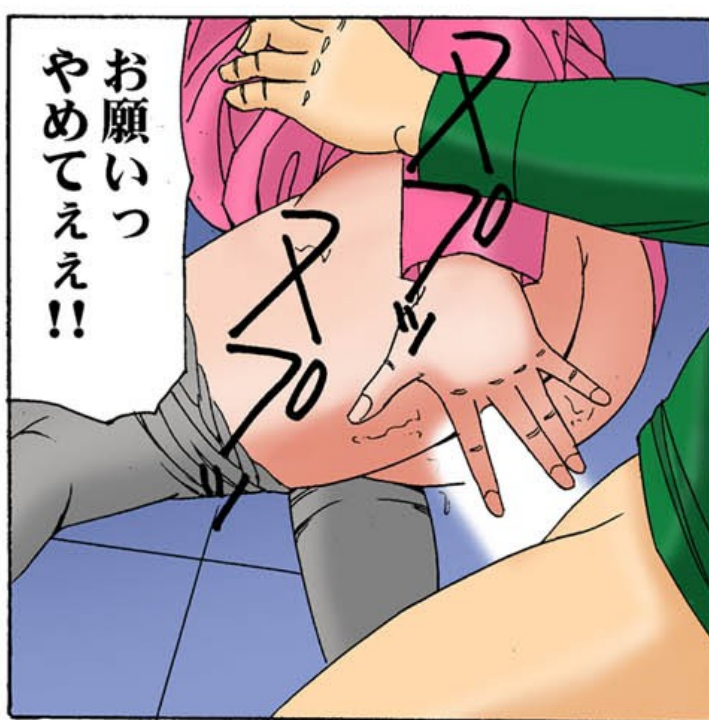




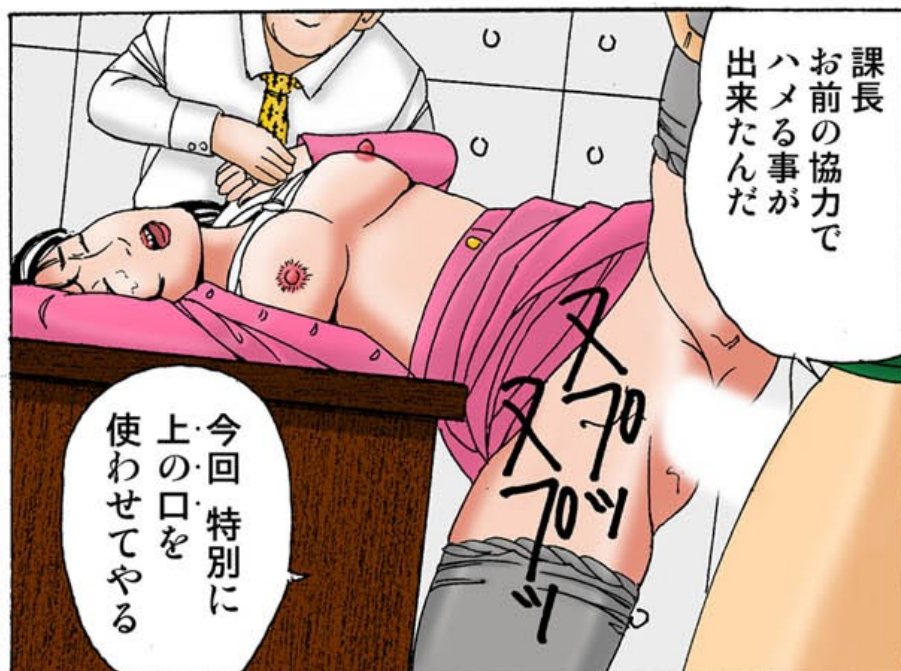
ああダメー！こんなイヤあーっ！！



いやあ——っ！！



お願いっ
やめてええ！！



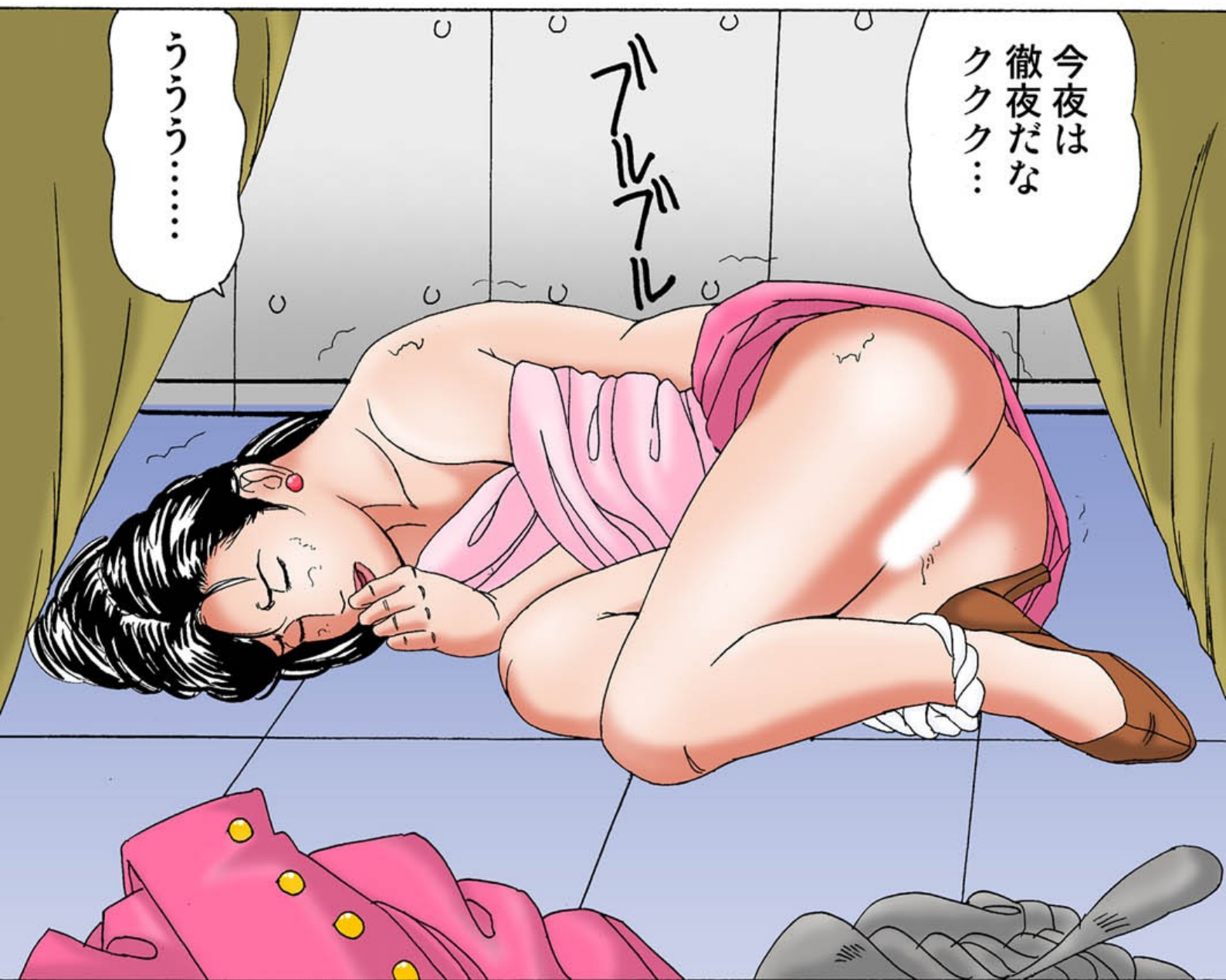


お願いっ!!
もう許してエ~~~~ツ!!

うげげっ!!

うげげっ!!

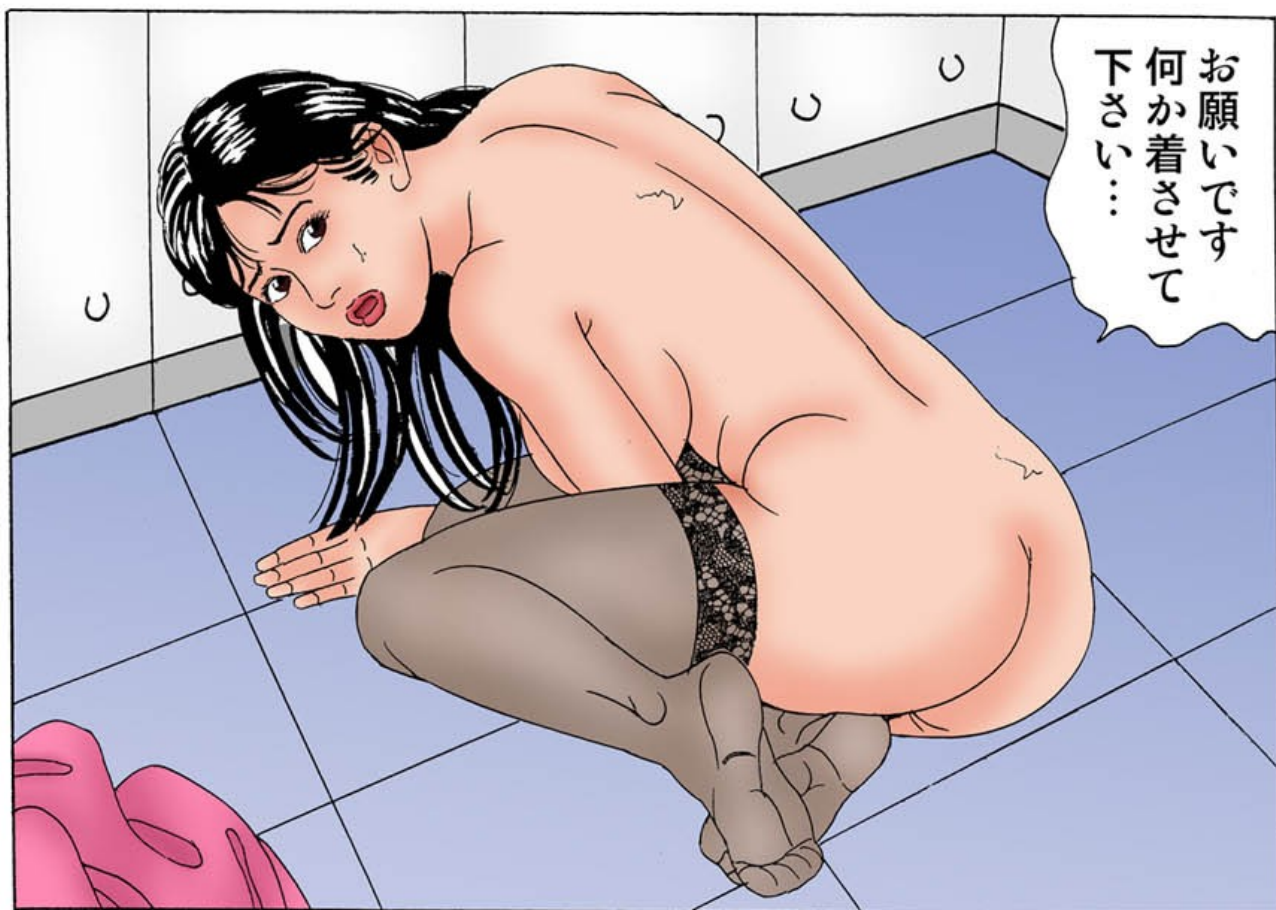
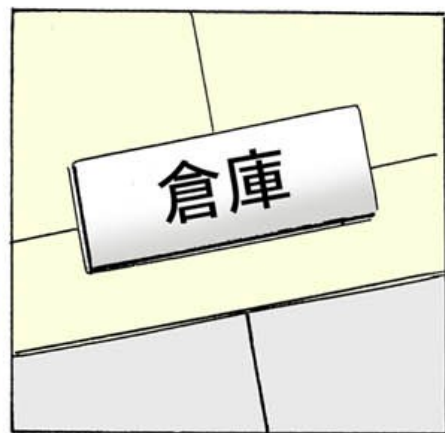


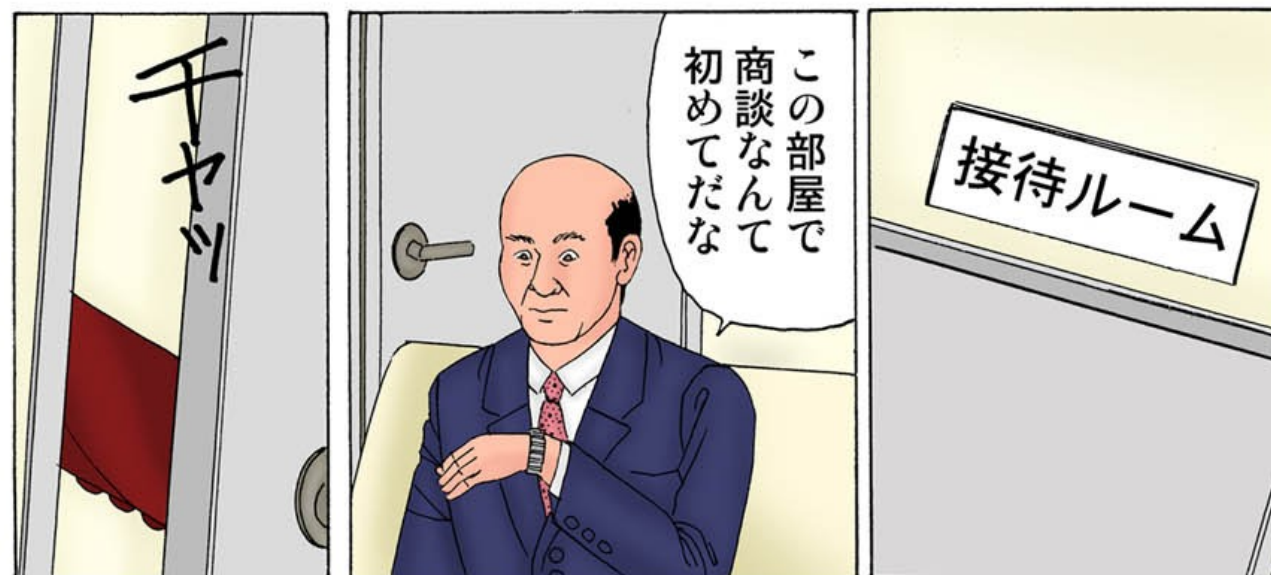
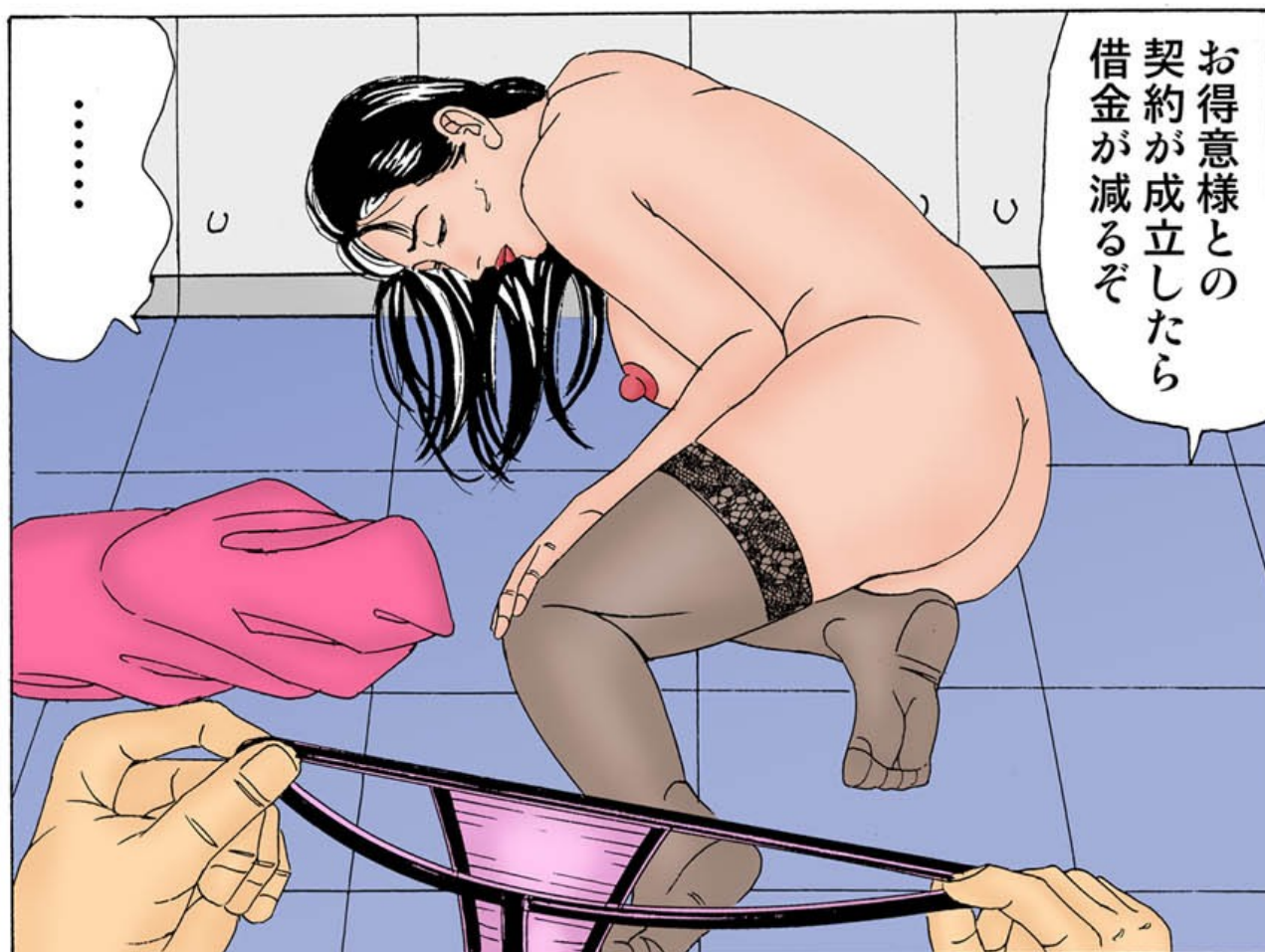
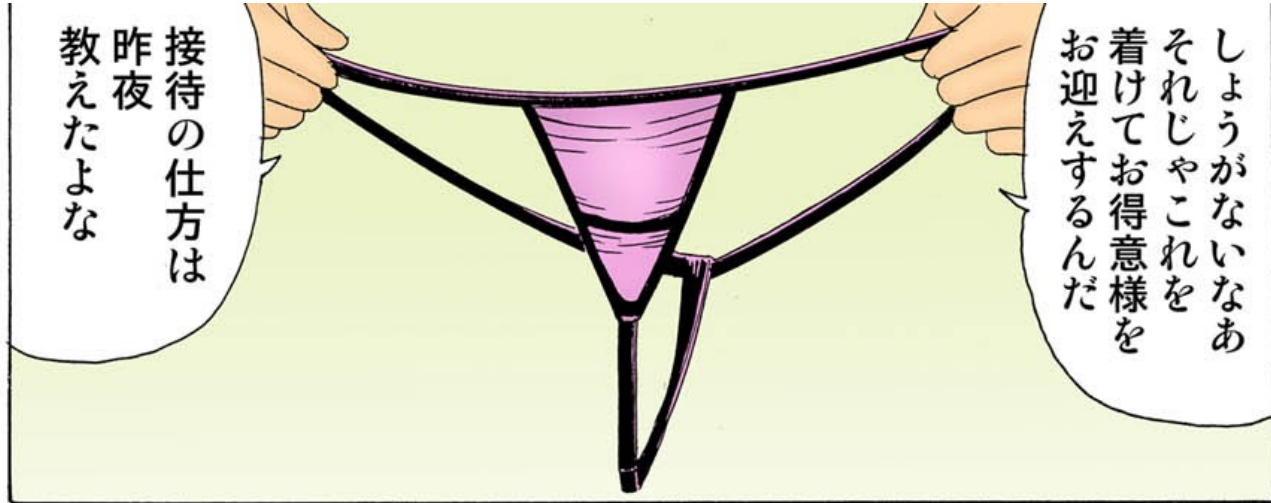


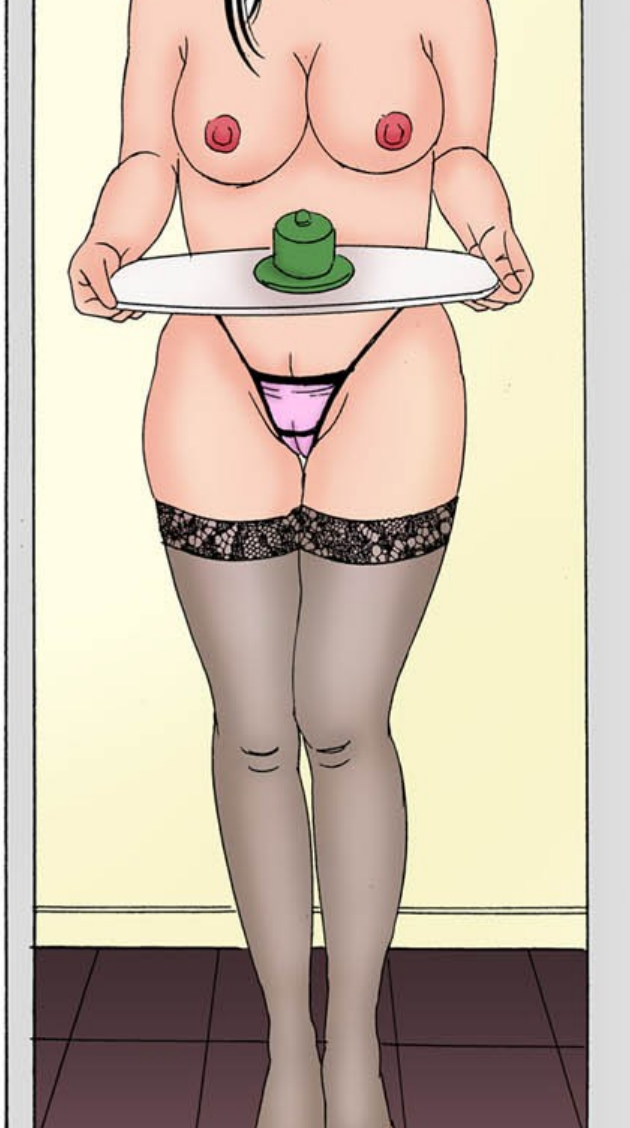
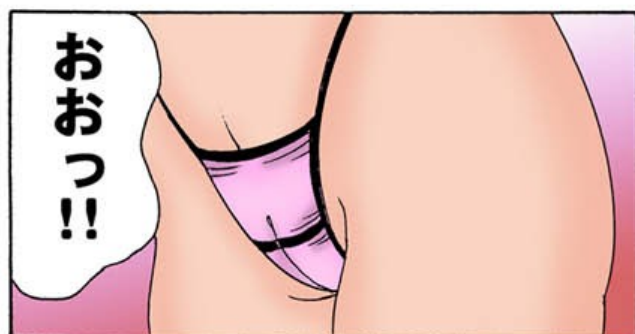


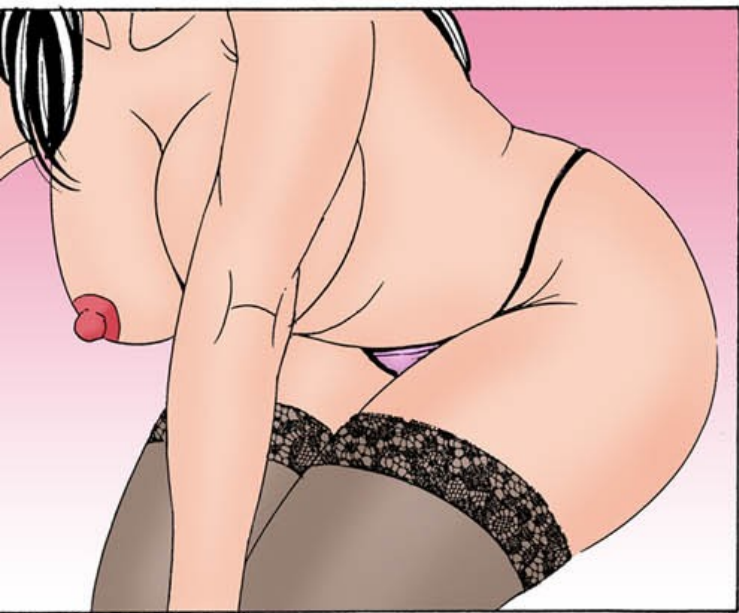
第2話

接待用特別秘書

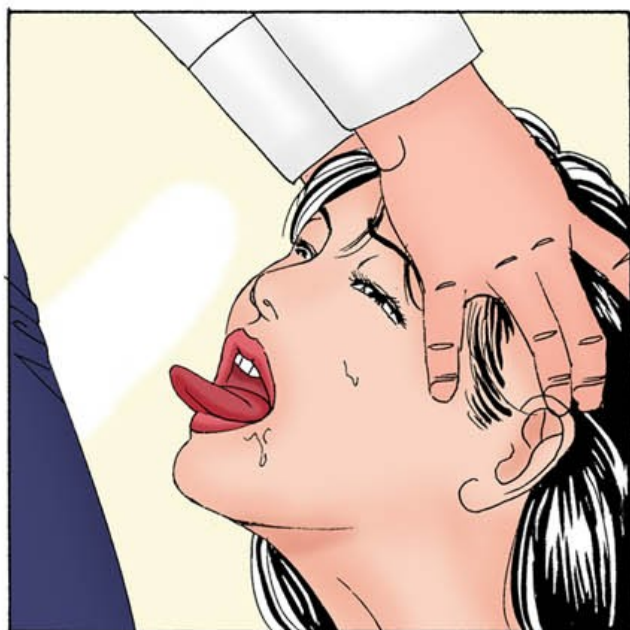








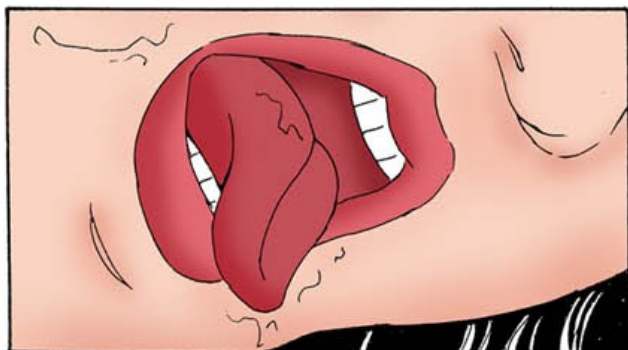


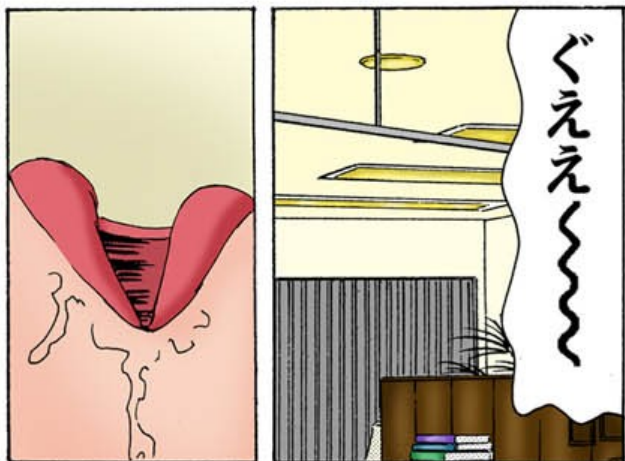




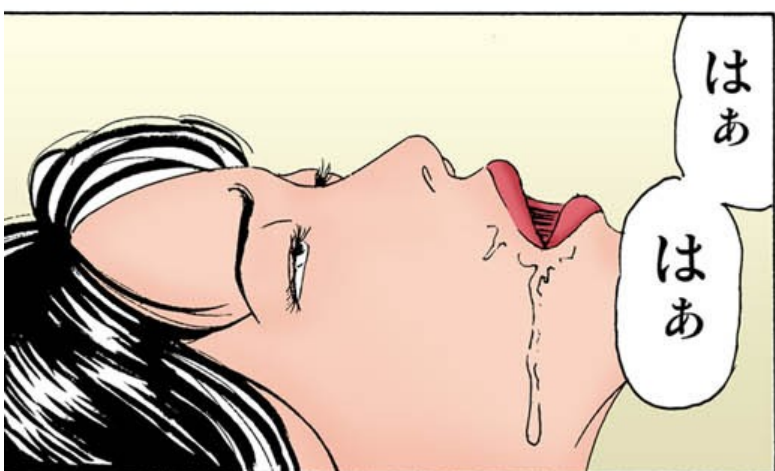








ぐええく



はあ

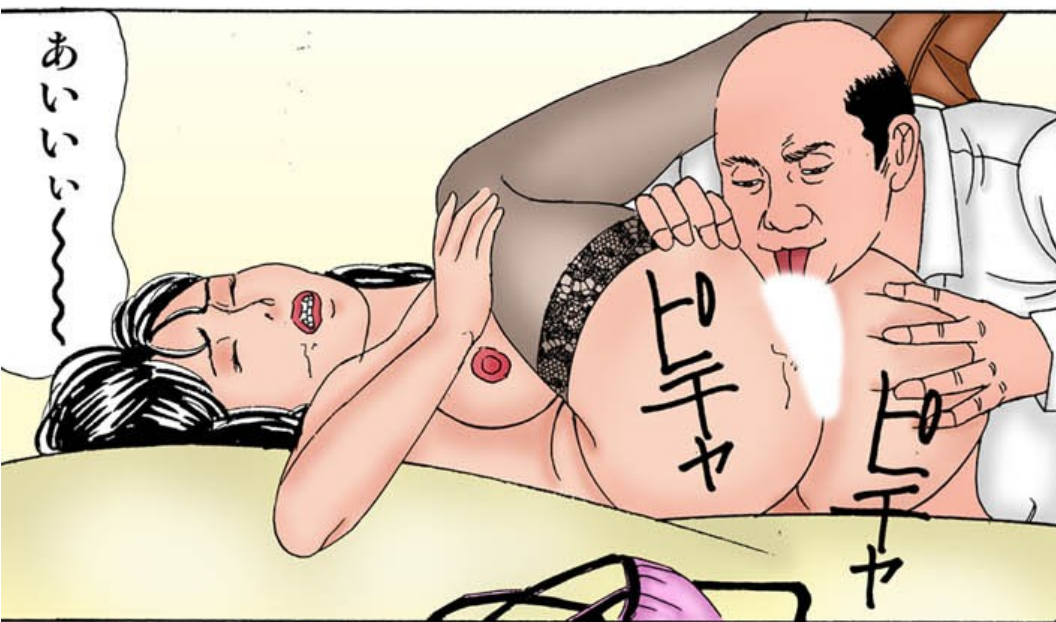
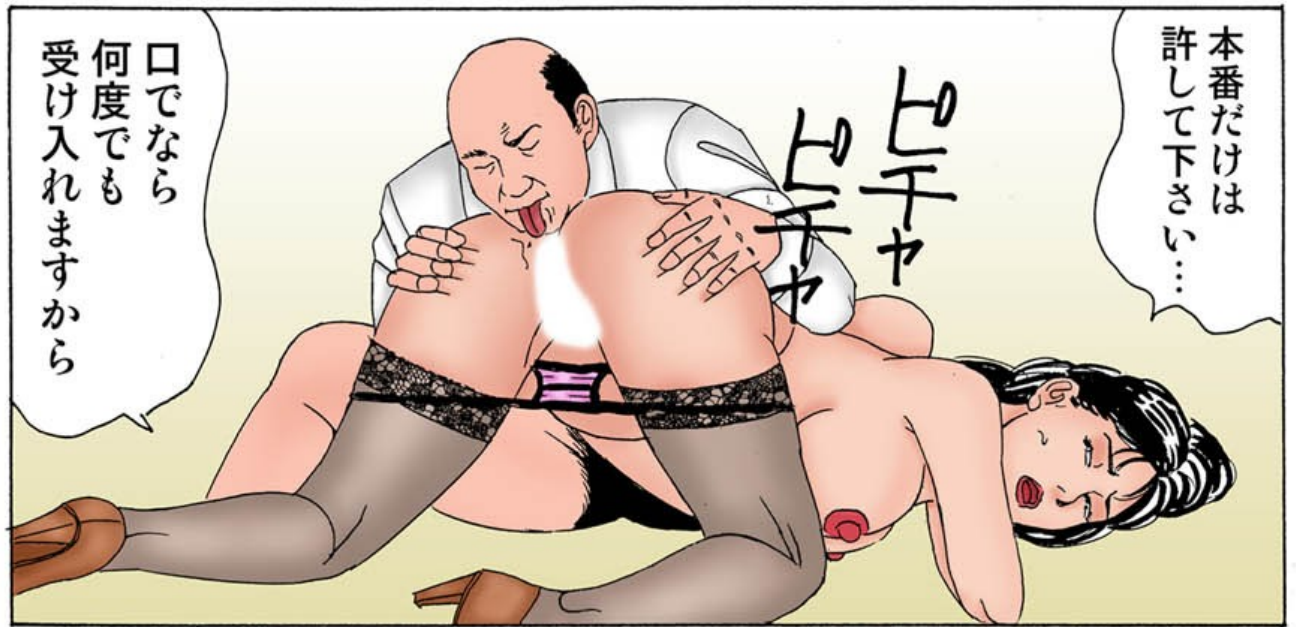
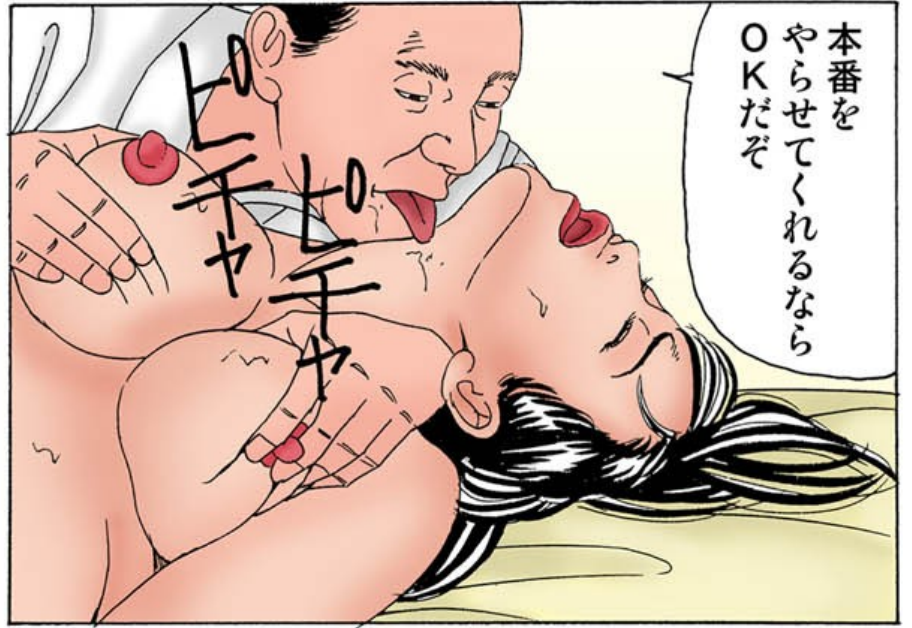
はあ

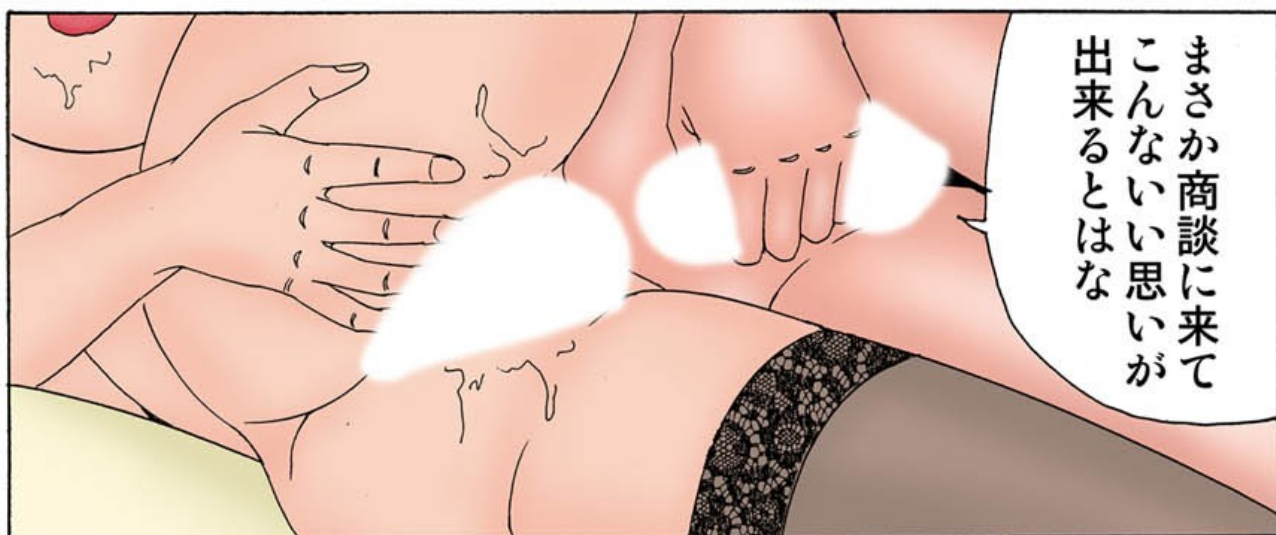


さすが
性欲処理用の
秘書だ何発でも
出来そうだよ

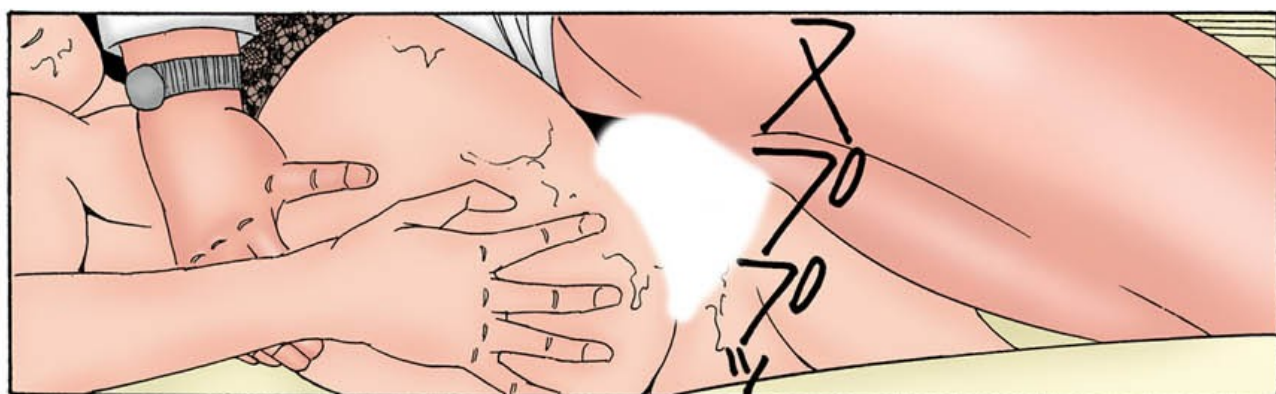
あああ…
これで
許して下さい…

気に入って
いただけたようですね
特別にむこう3年は
独占契約にして
よろしいですか？





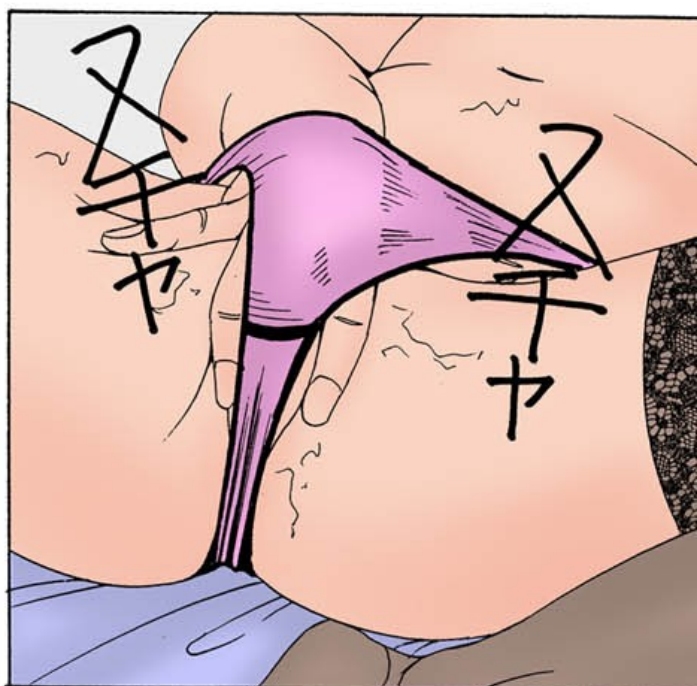
まさか商談に来て
こないかい思いが
出来るとはな

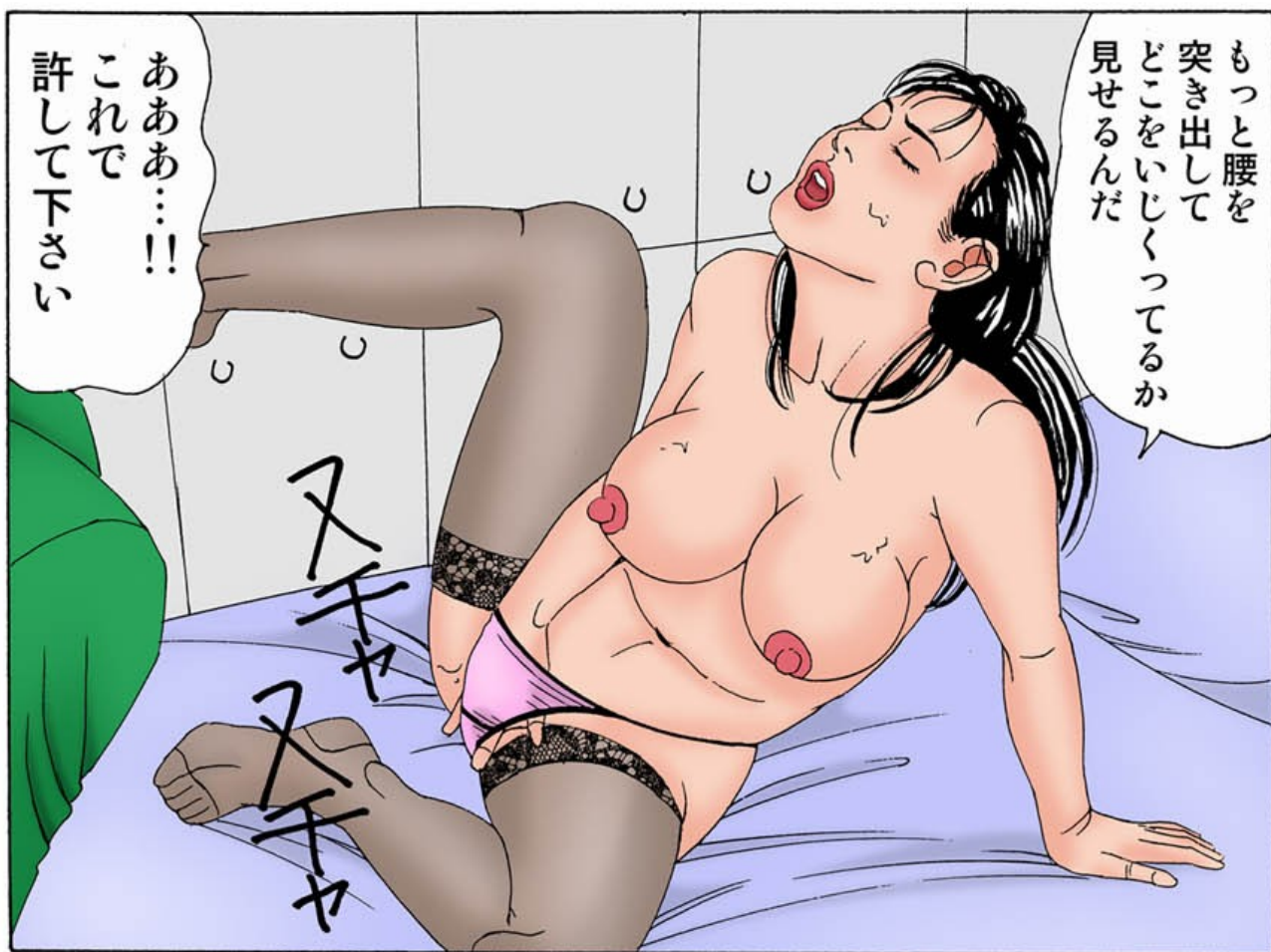


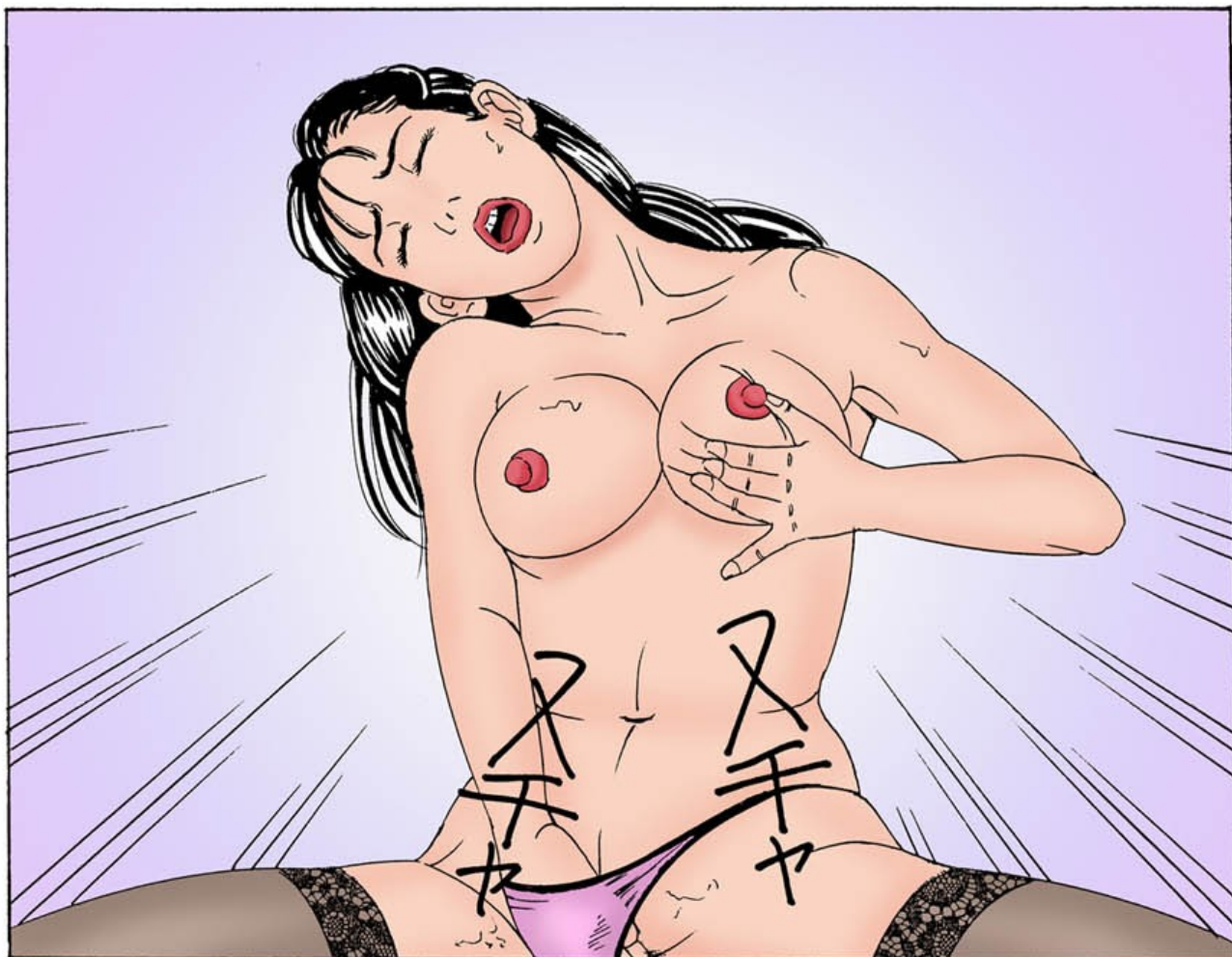
いやあ——っ!!









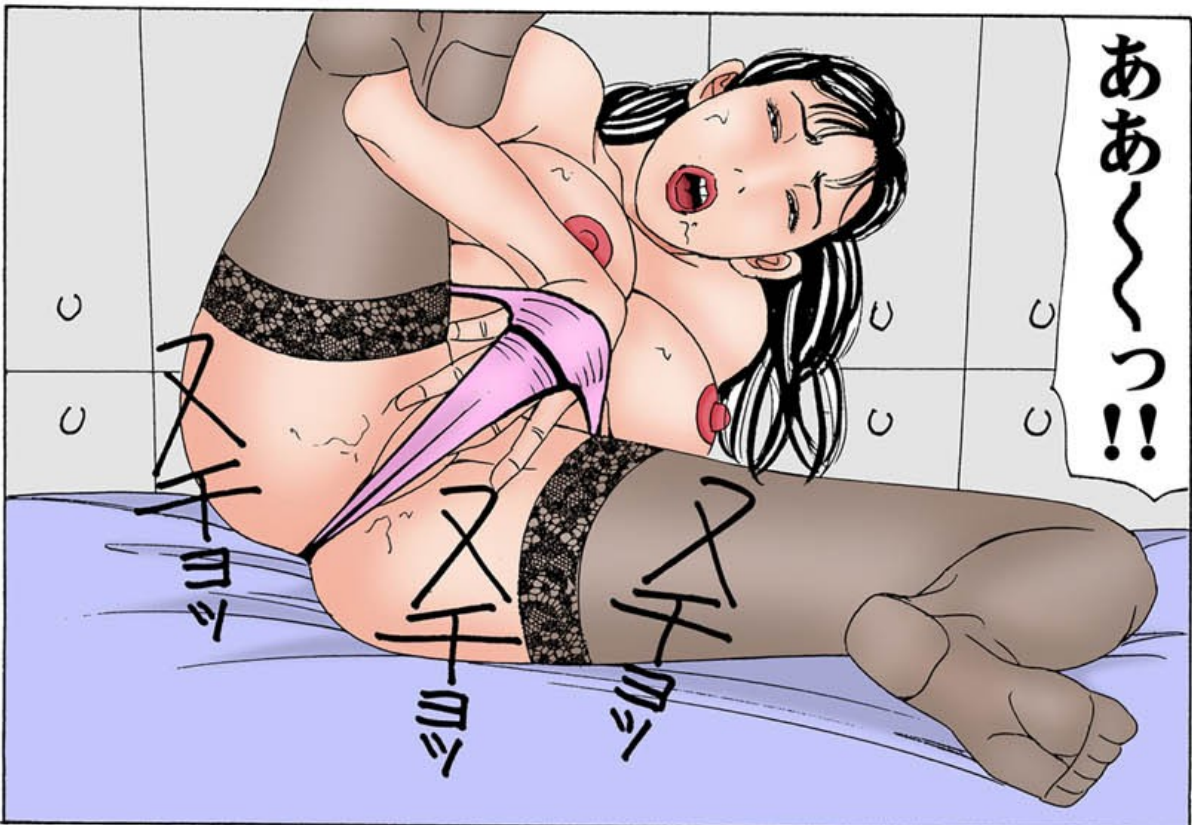


昼間の契約は
お前のおかげで
うまくいったな

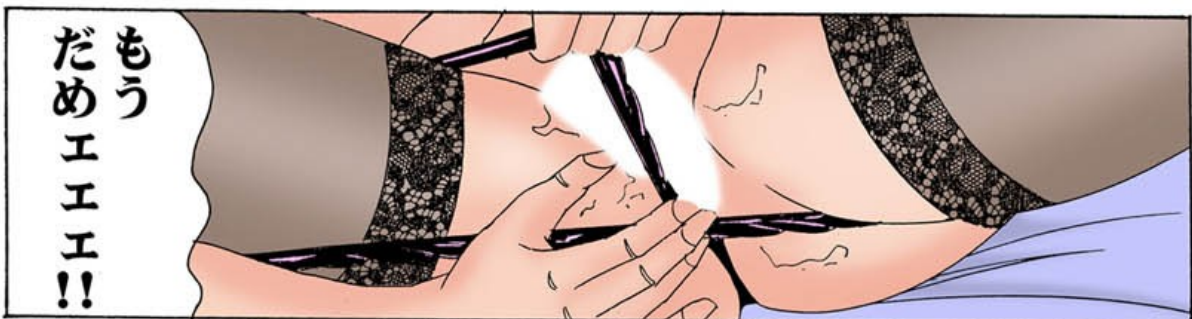
これから
接待専用
に使う事
にするよ

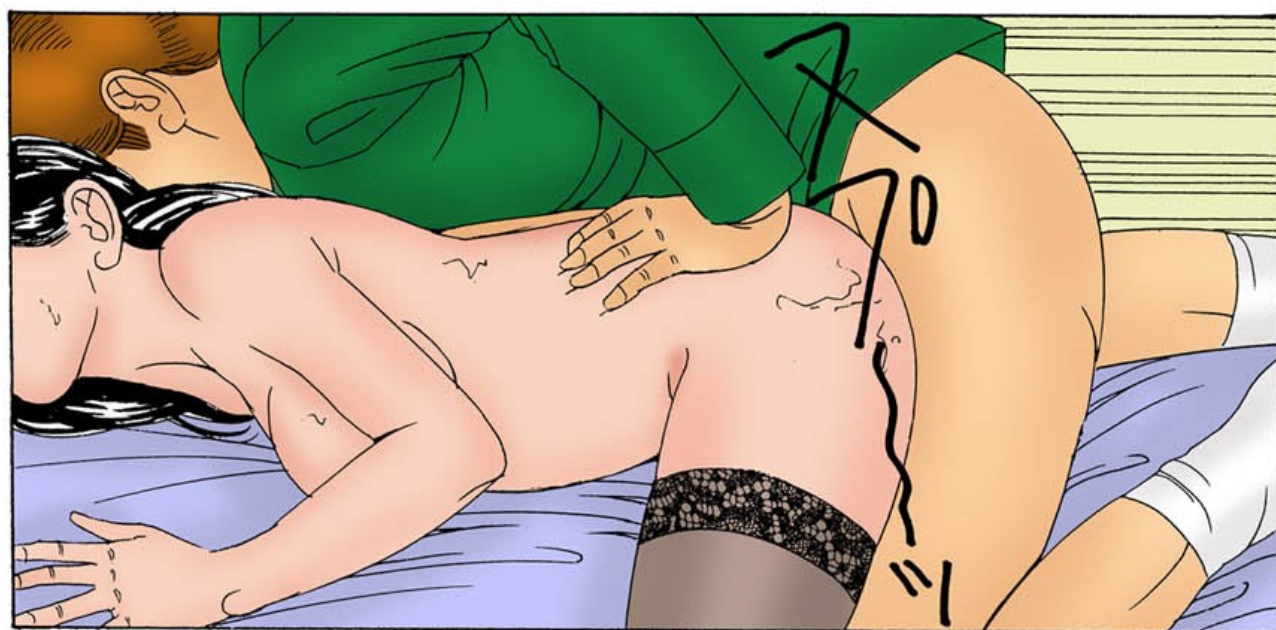
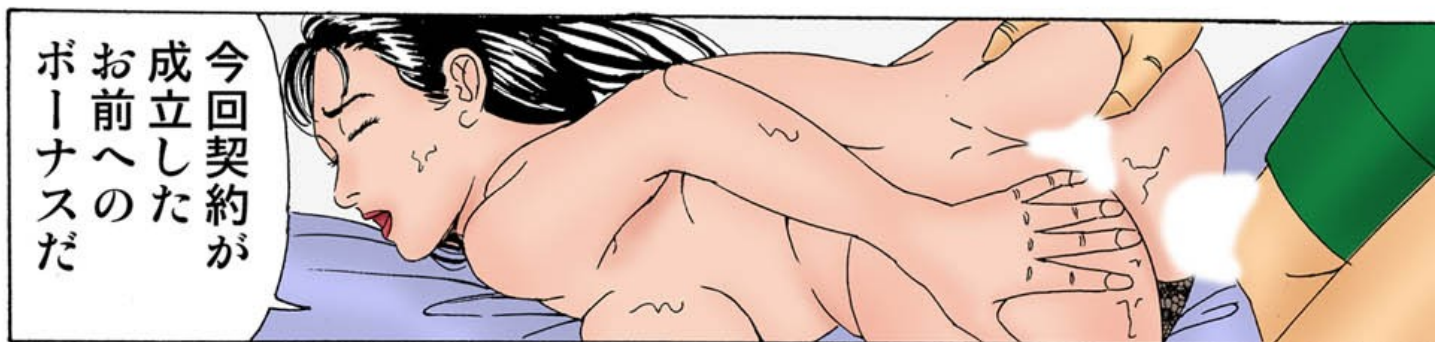


ああ〜っ!!



もう
だめ
エエエ!!



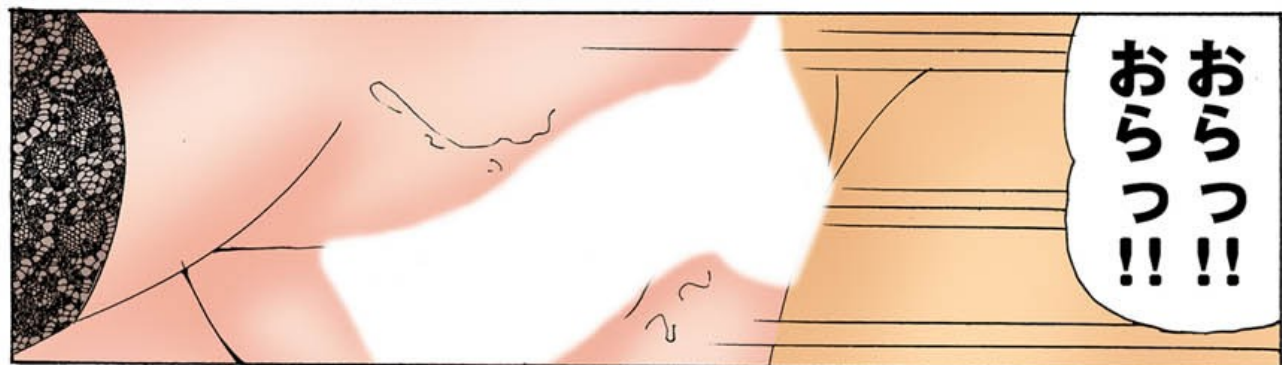




ああ——っ!!

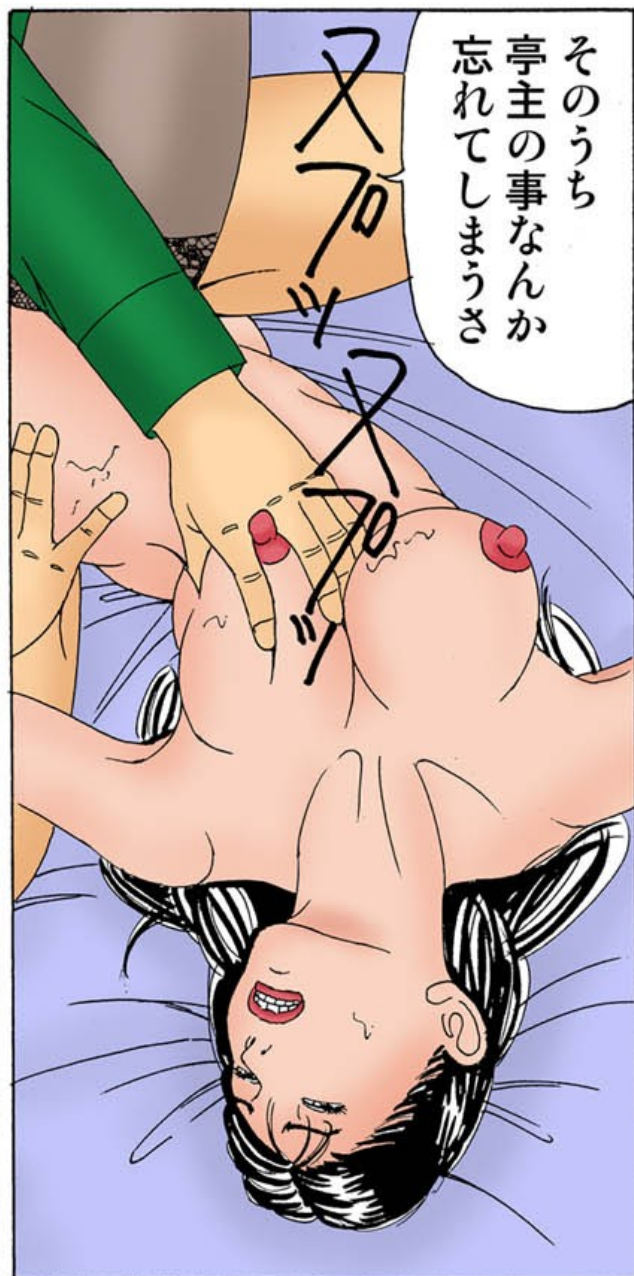


ああんっ!!
ああんっ!!
ああんっ!!



おらっ!!
おらっ!!

そのうち
亭主の事なんか
忘れてしまうさ



もっと完璧な
性欲処理用の
秘書に
仕込んでやる

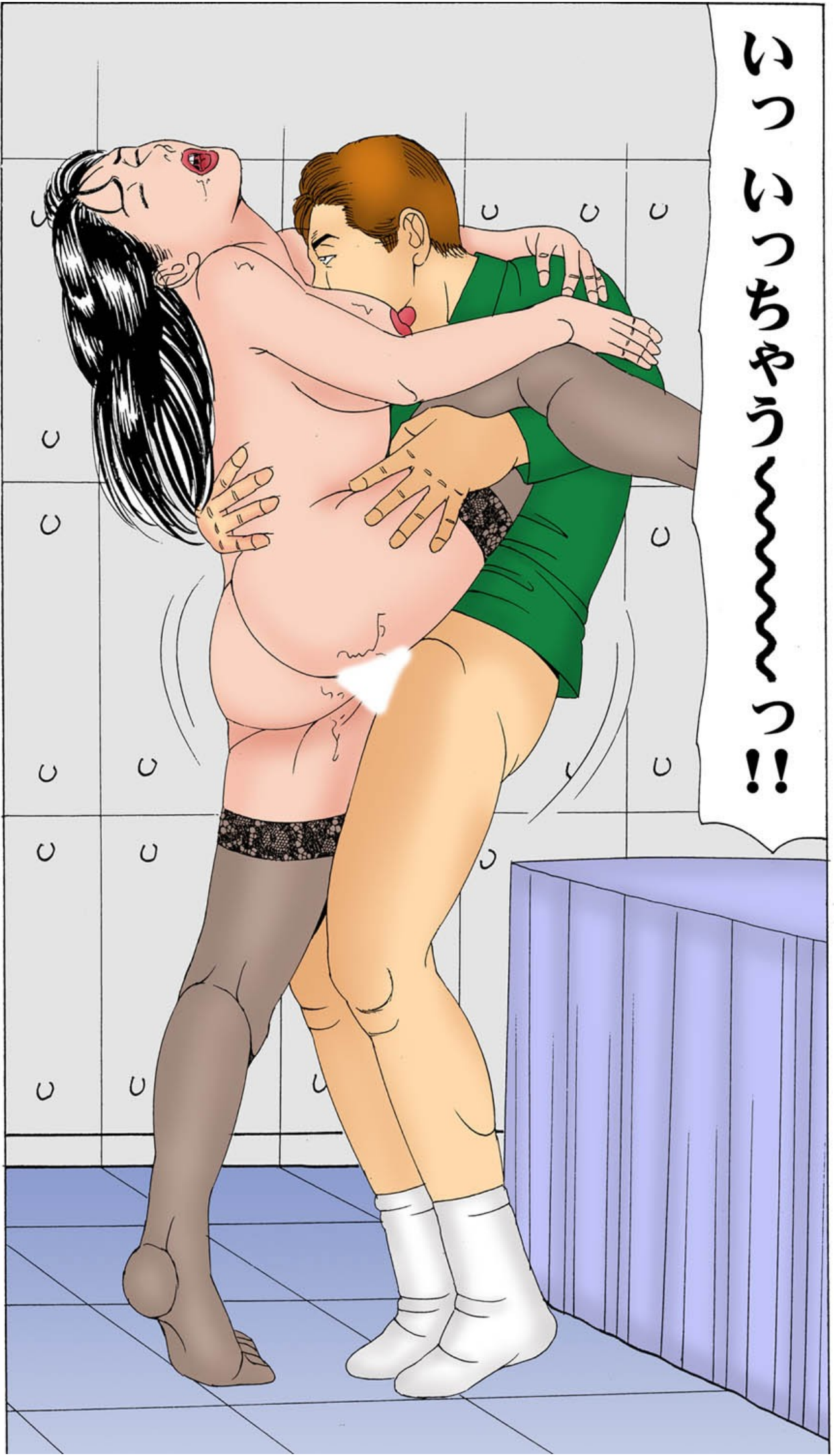


ひいっ!!ひいっ!!

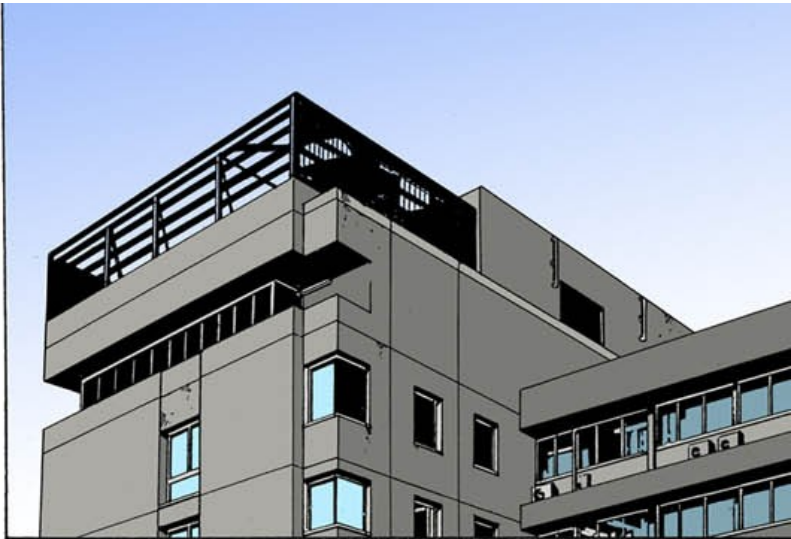


もうだめえ——っ!!

いっ
いっ
ちやう
うゝゝゝ
っ
!!





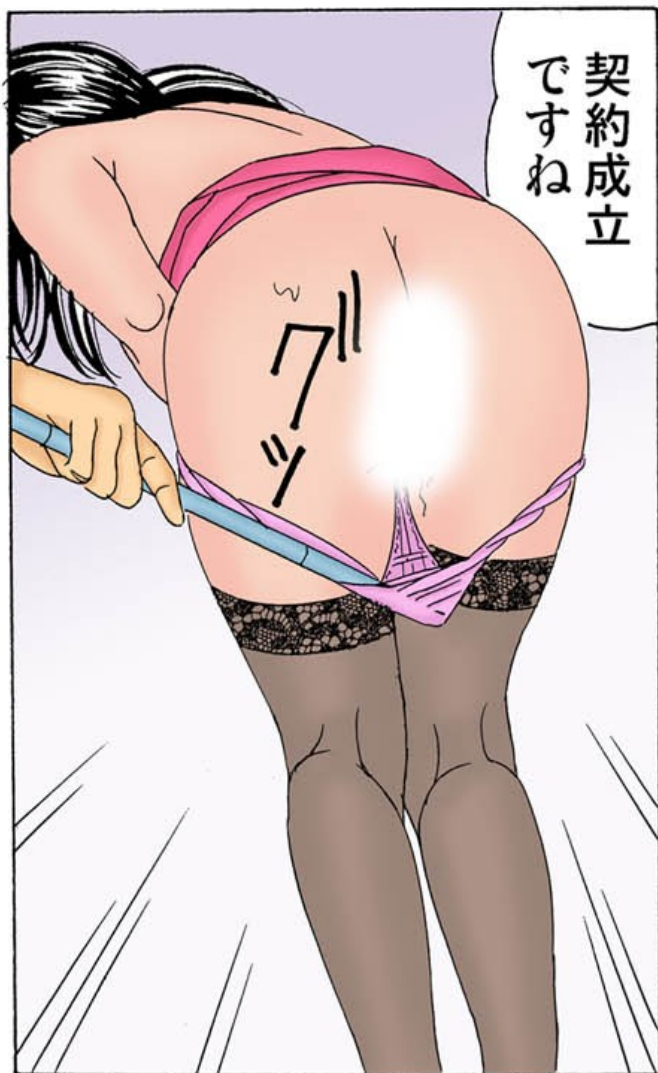




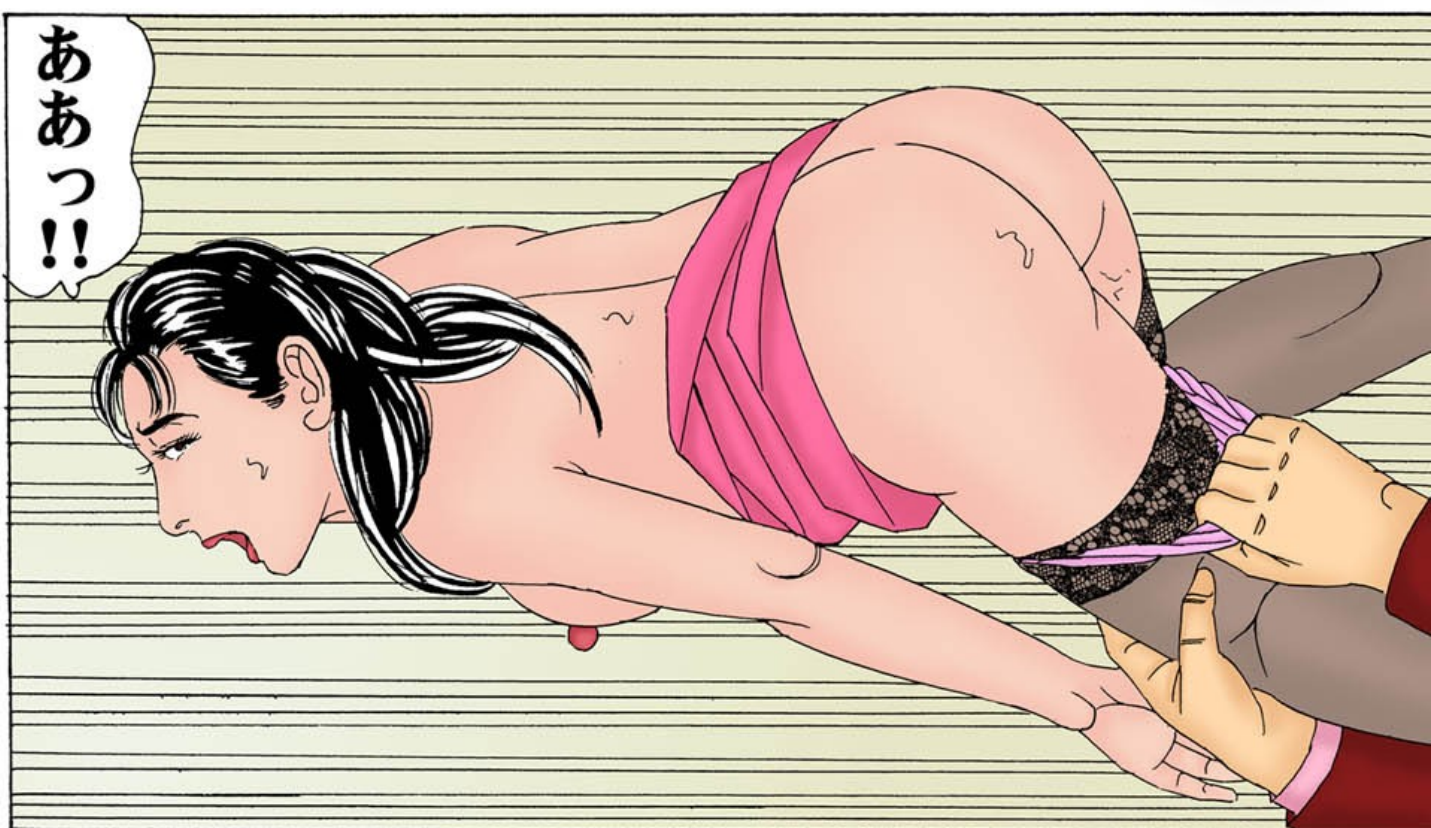
ありがとうございます
条件は我社の提示した
ものでかまいませんか？

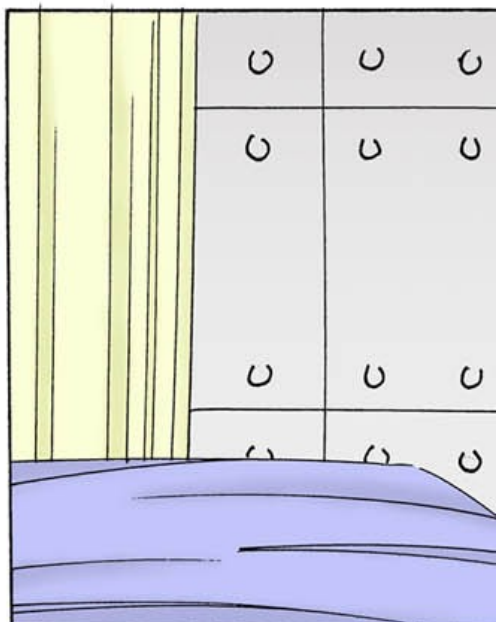
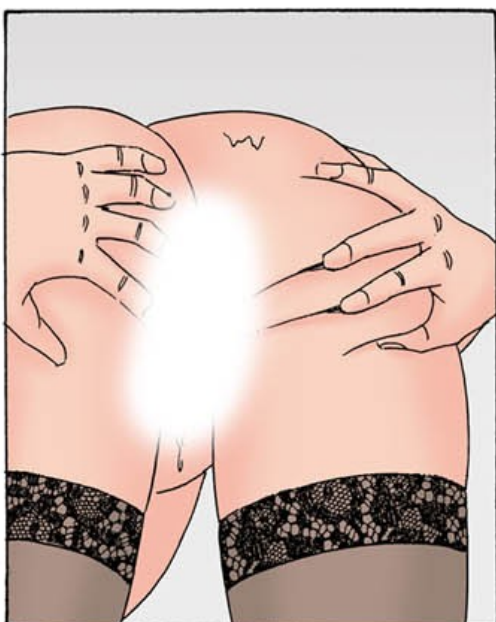
ソレデ
ケッコウデス

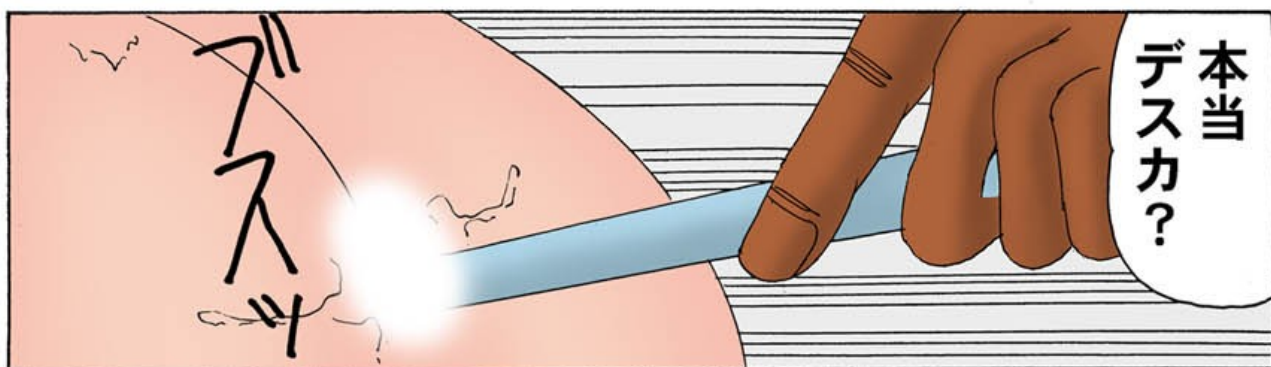
契約成立
ですね

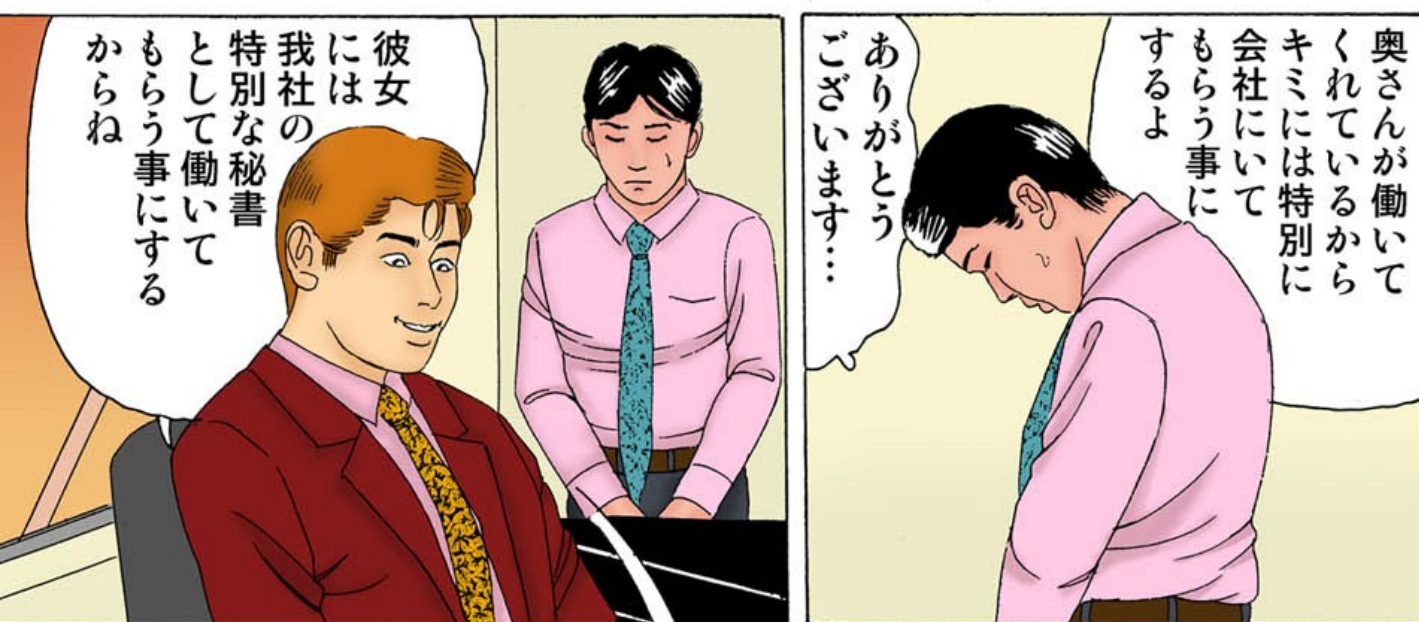
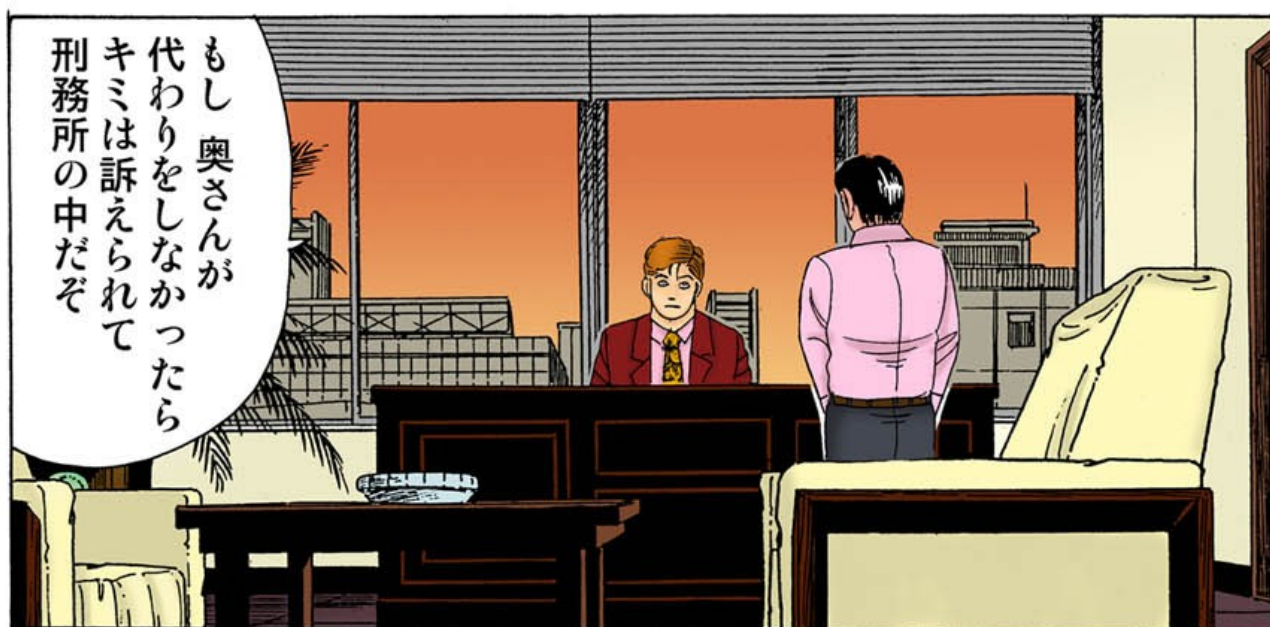


ああっ!!

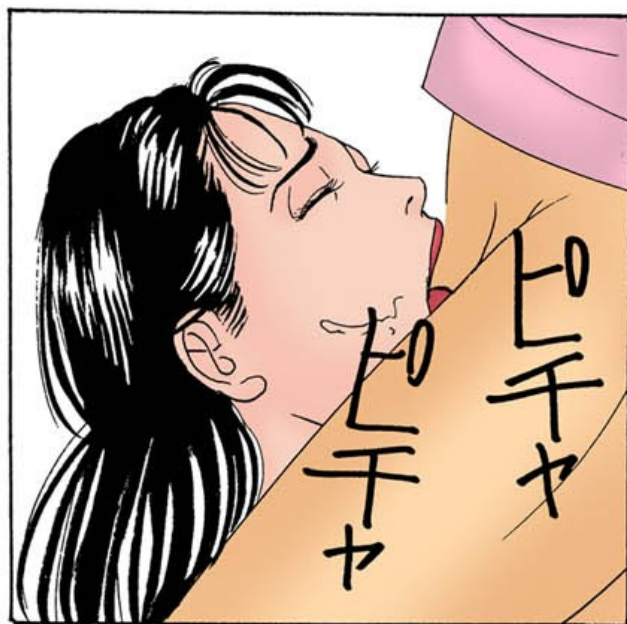


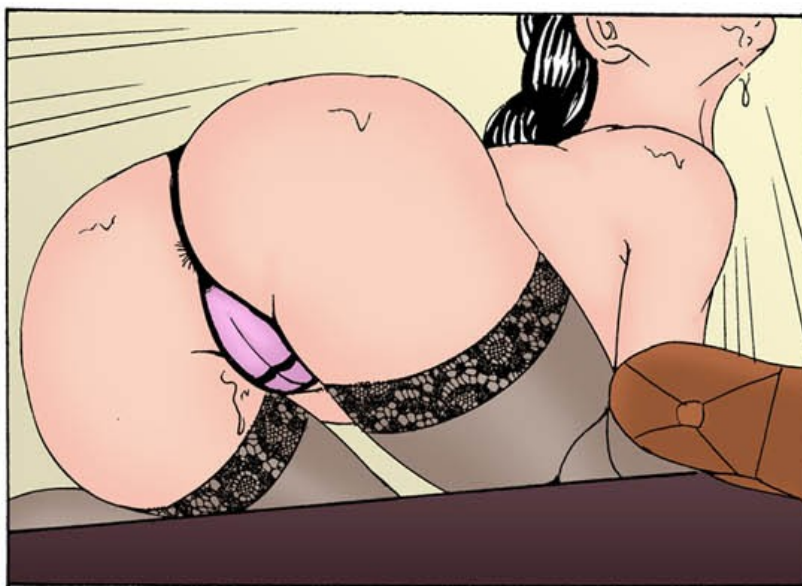
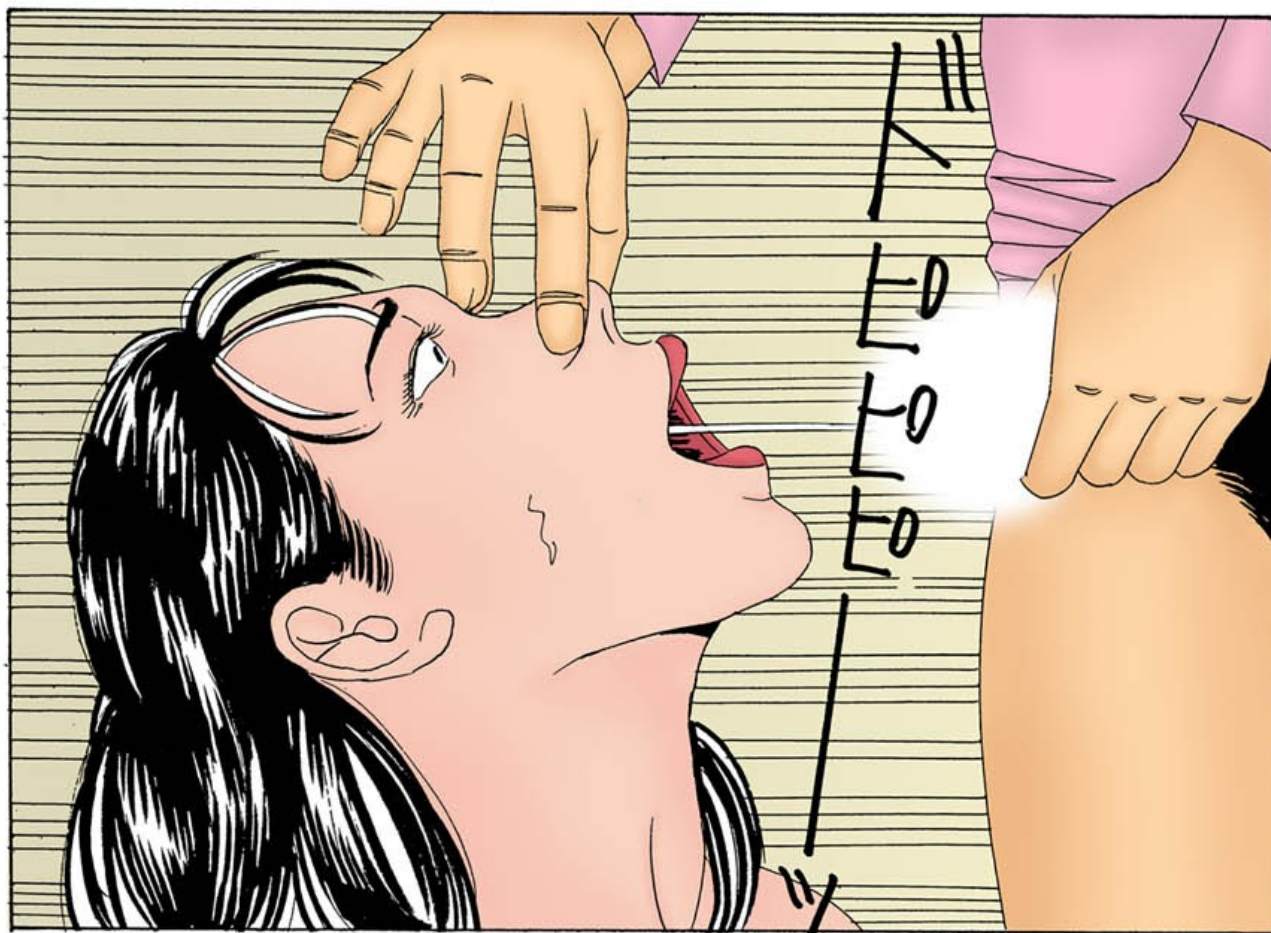
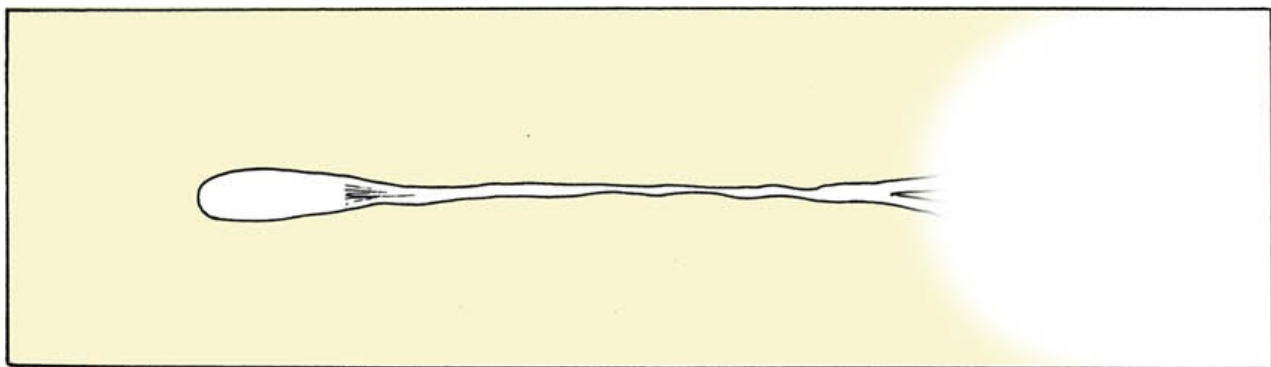




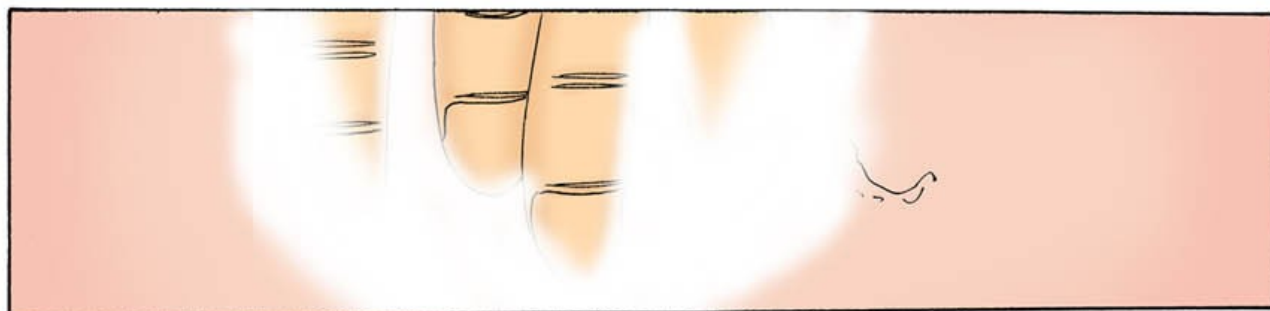






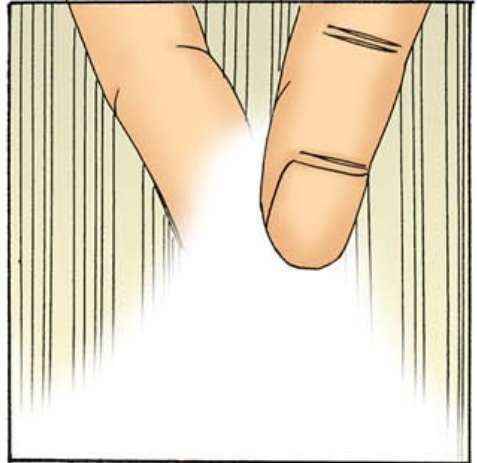
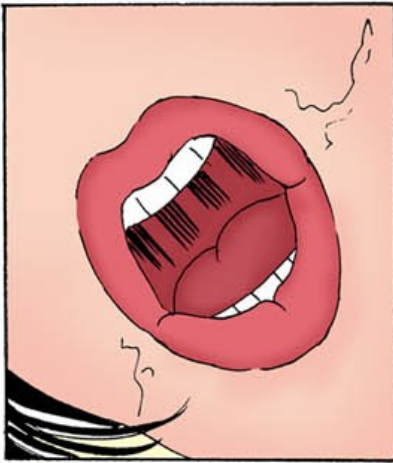








そこはだめえーっ!!
感じやすいのっ!!



第4話

中出し責め





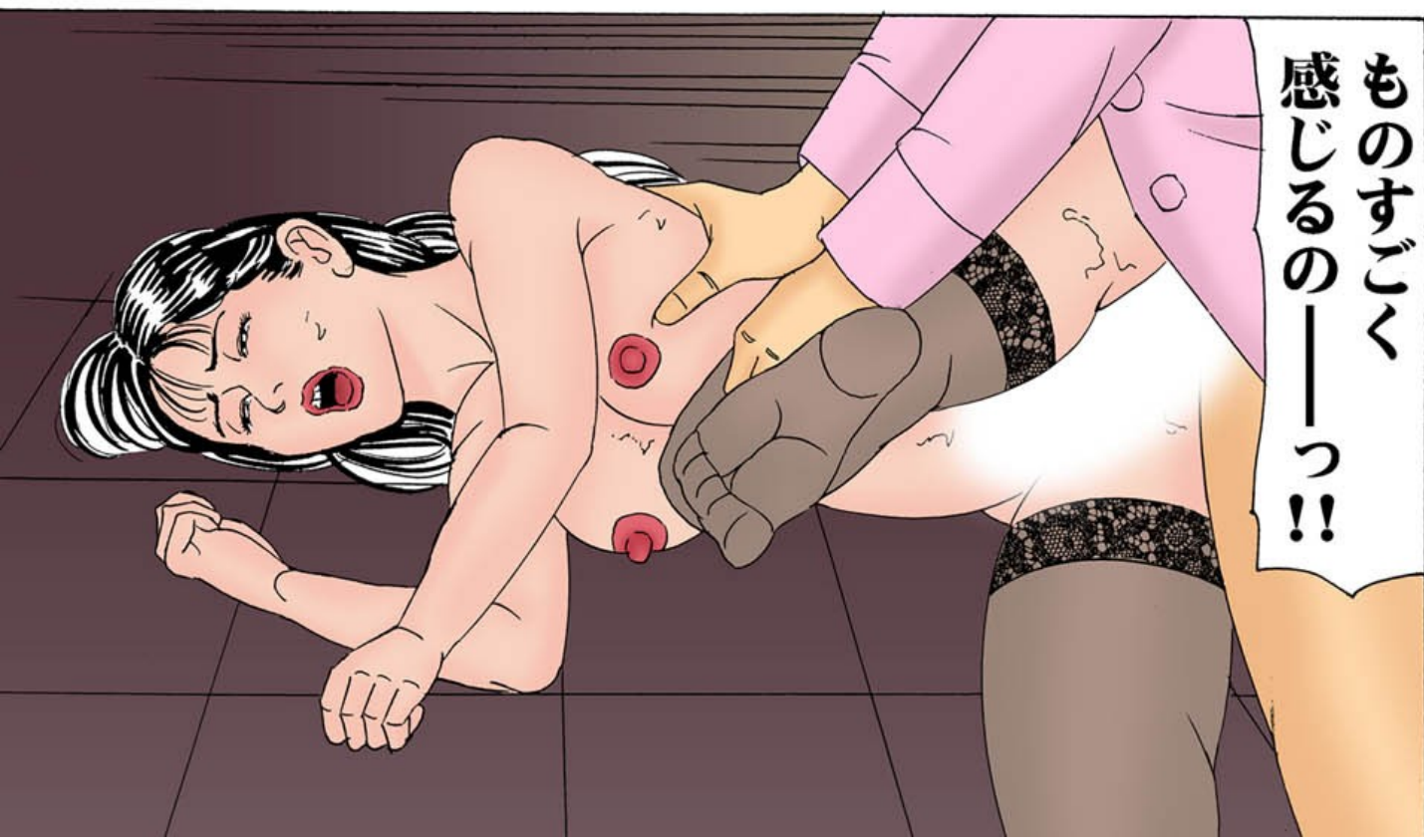
ああーんっ!!

ああーんっ!!

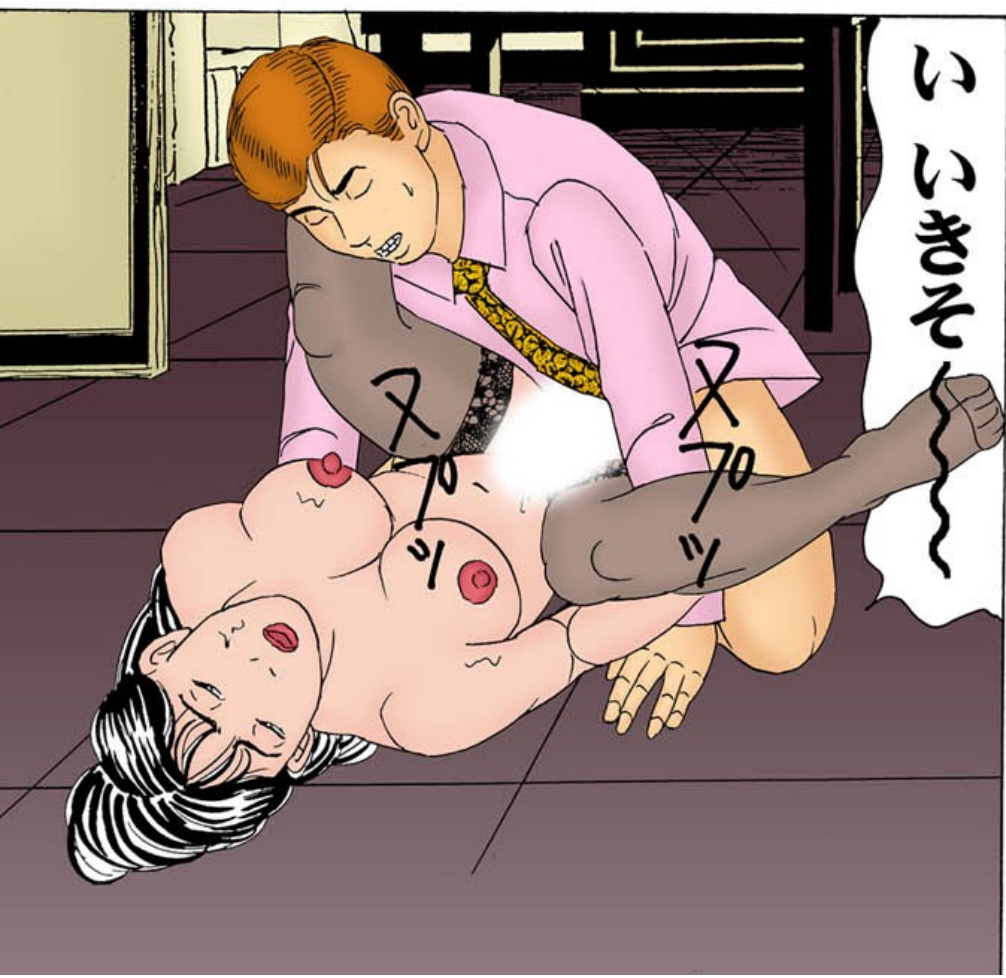
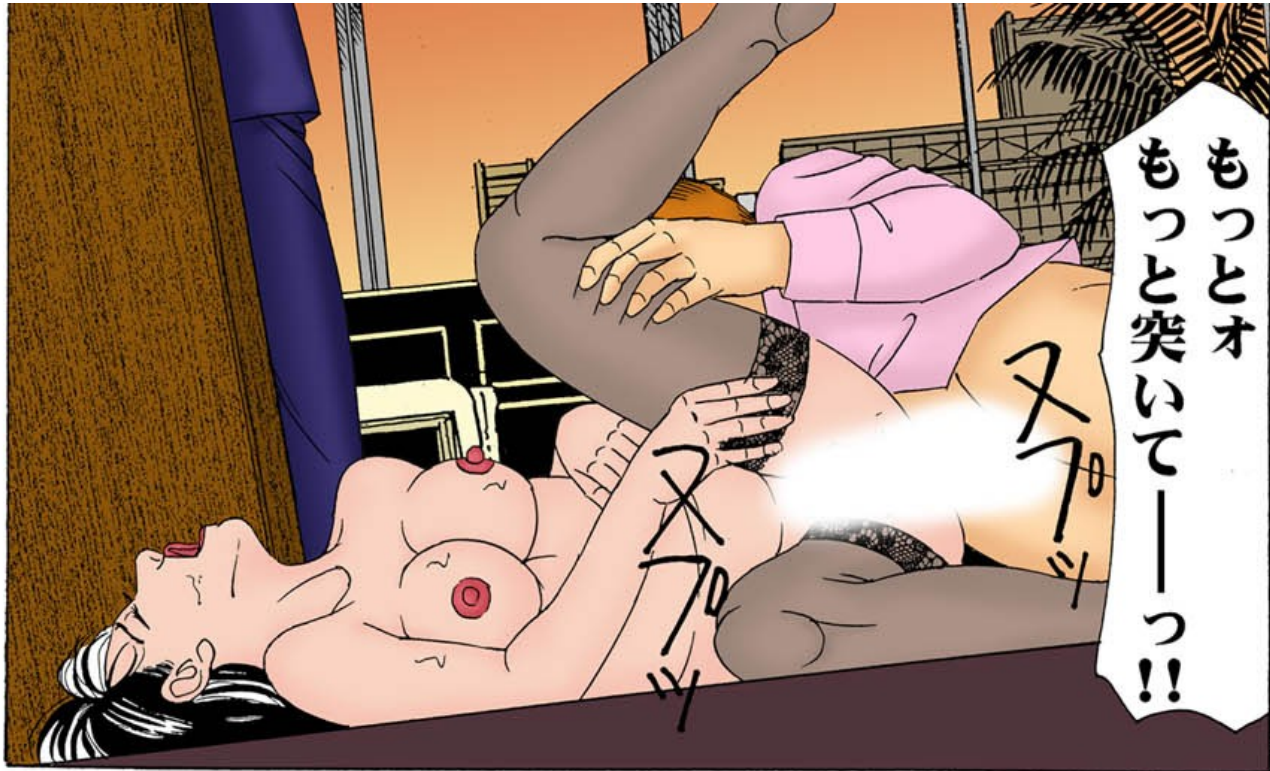
ヌッ

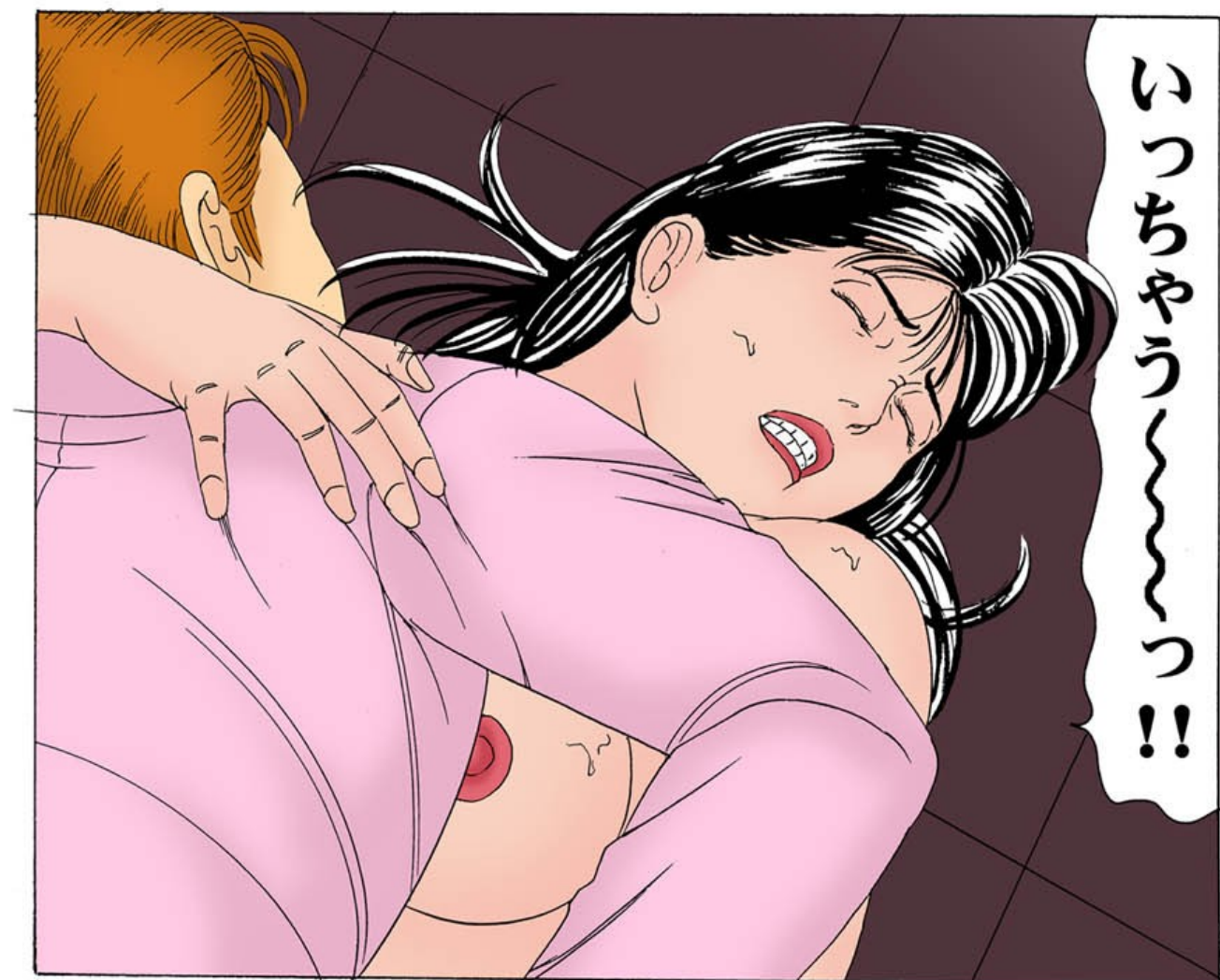
ヌッ

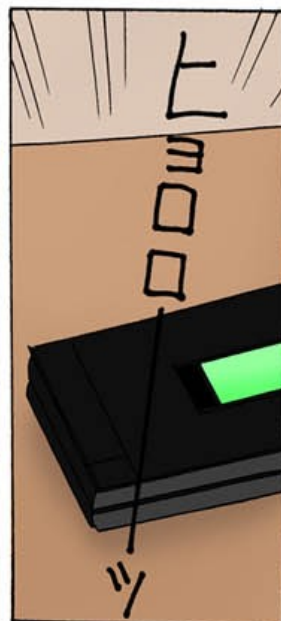
ヌッ



ものすごく
感じるのーっ!!



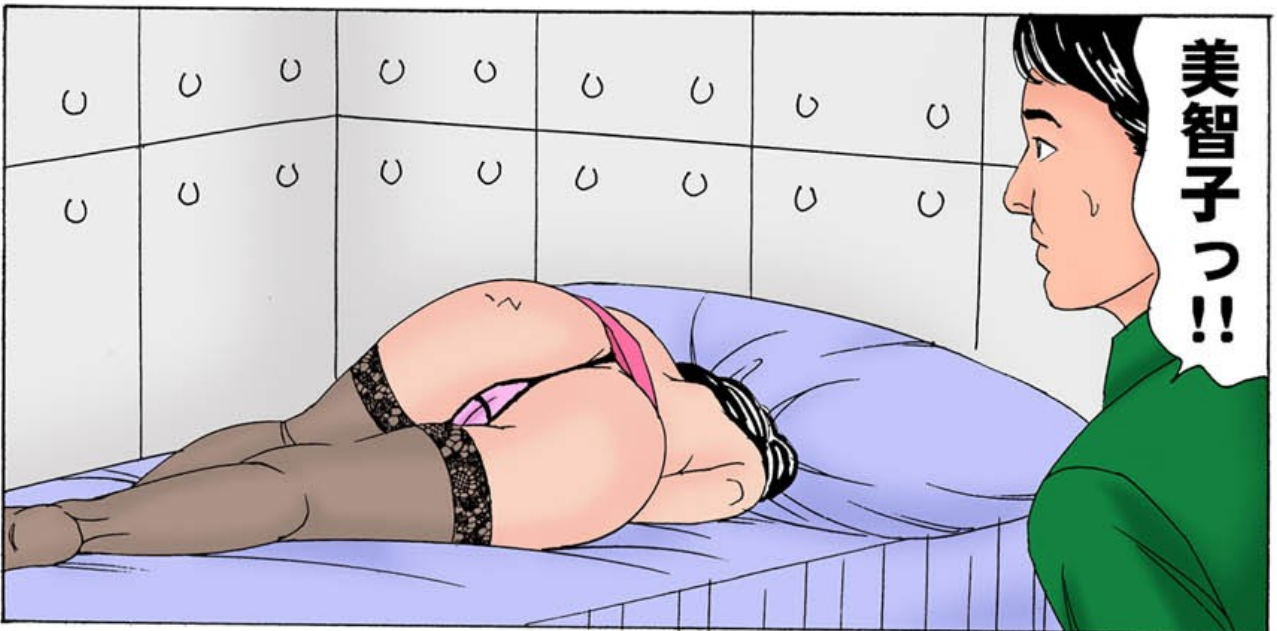








翌朝——



美智子っ!!



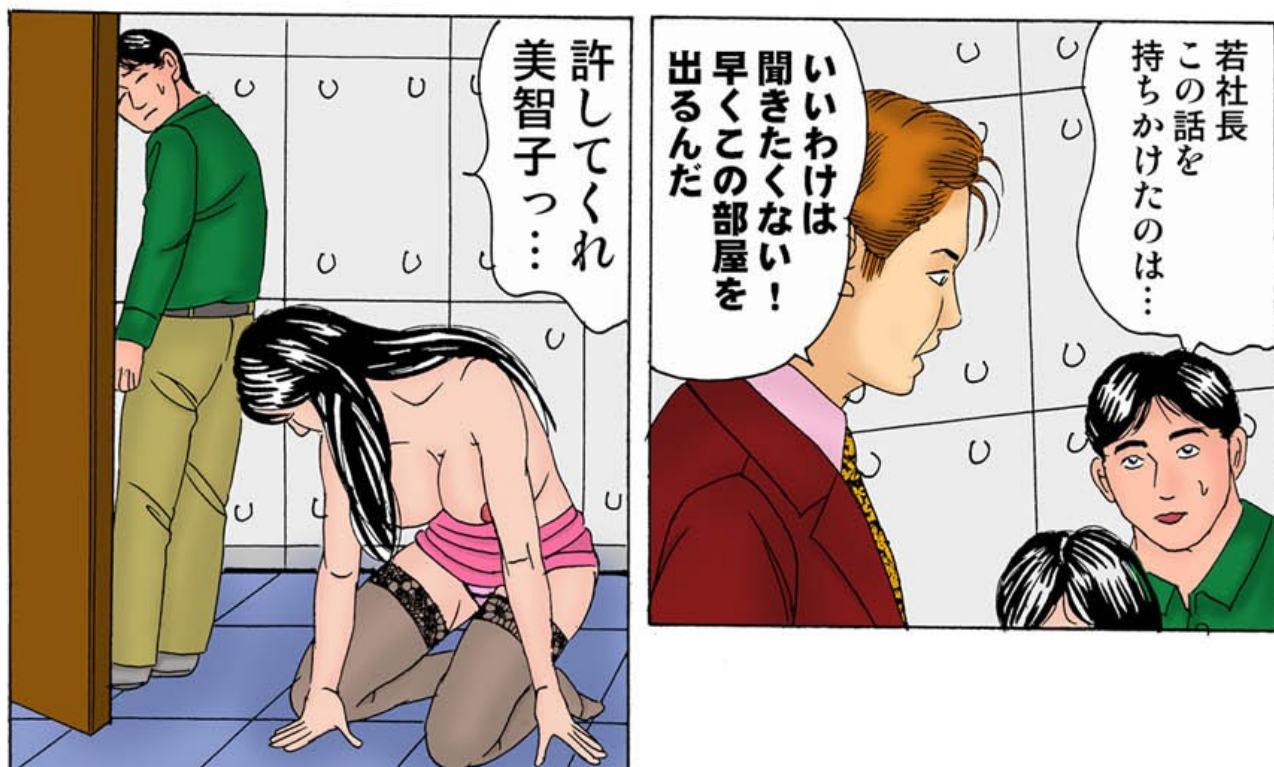
ここから
出るんだ

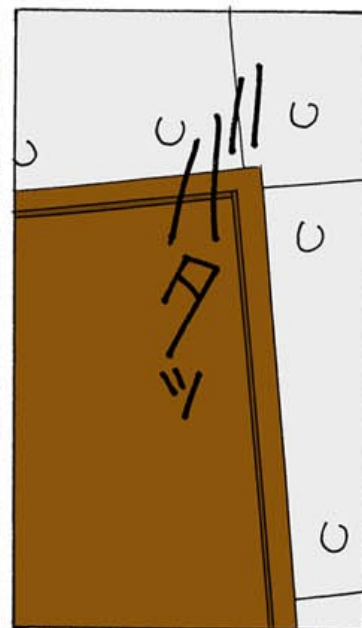
そんな事
したらあなたが
告訴されて…

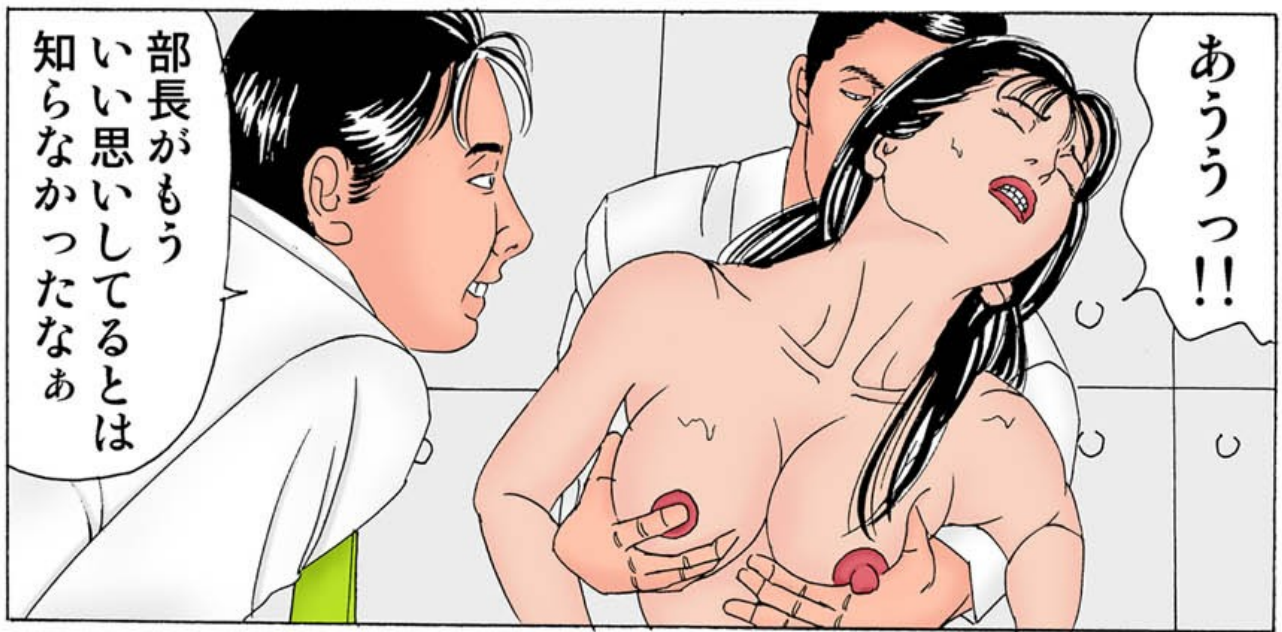


…あなたっ











奥さんと若社長の
セックスを見て
ボクもどうしても
奥さんを犯りたく
なったんですよ

やめてえ——っ!!



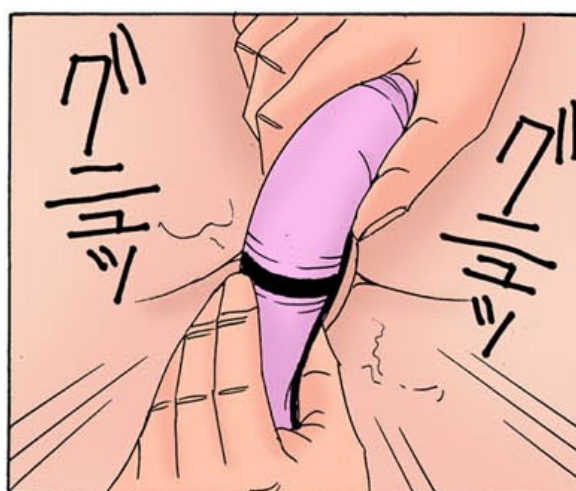
あなたは
主人の後輩
じゃ
ありませんか!!

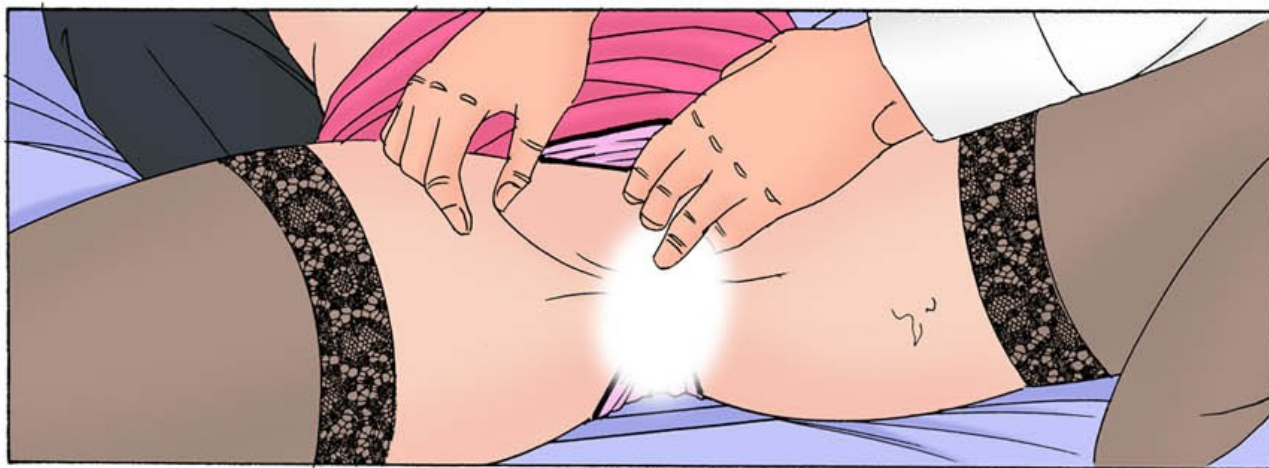


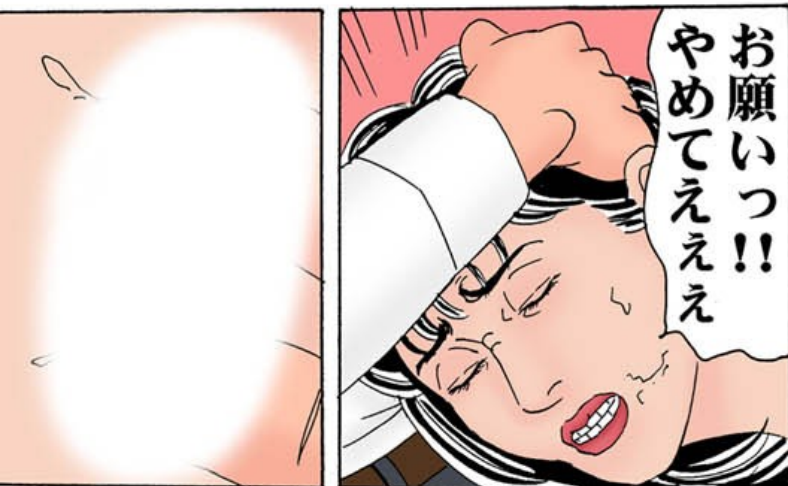
実は先輩の
家に遊びに行つて
お会いした時から
奥さんの裸を
想像していたんです

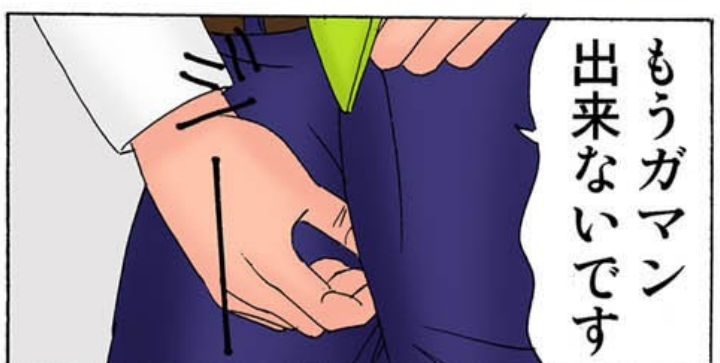
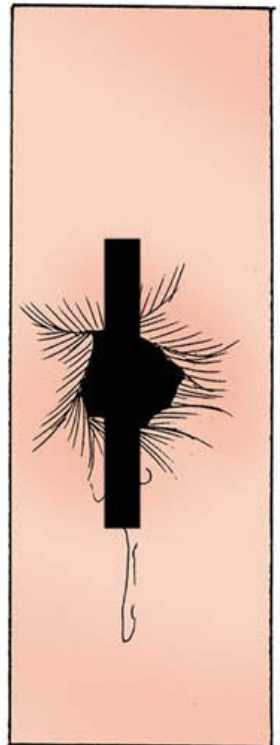
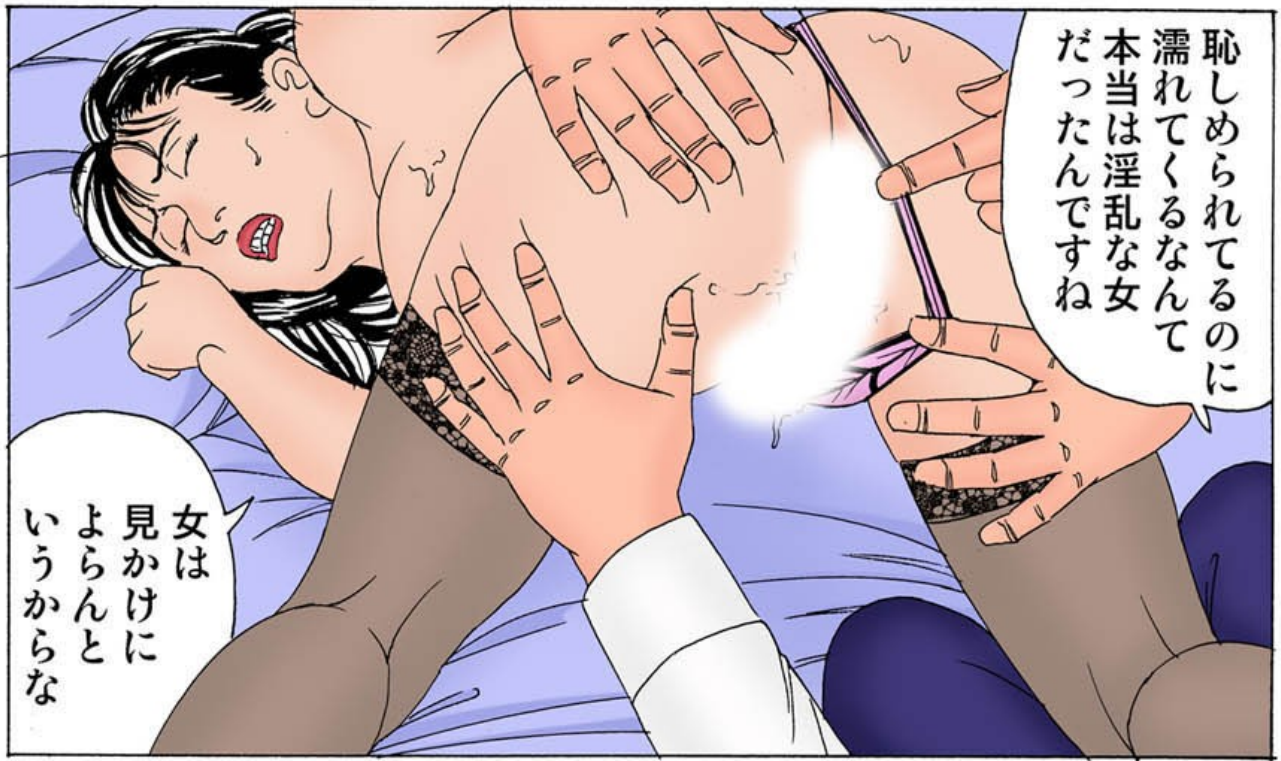
特に
奥さんの
コ・コはどうなってる
のかなってね

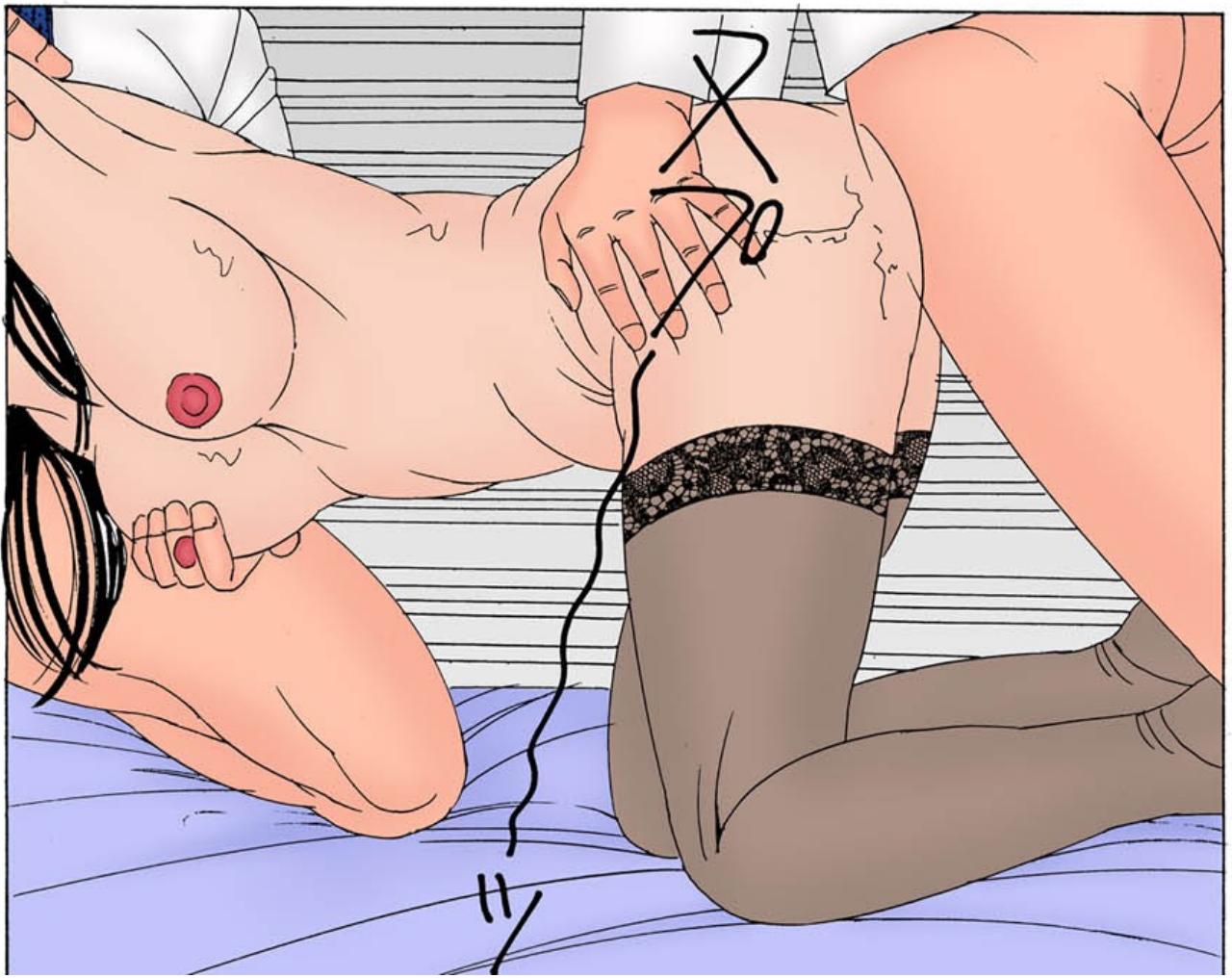


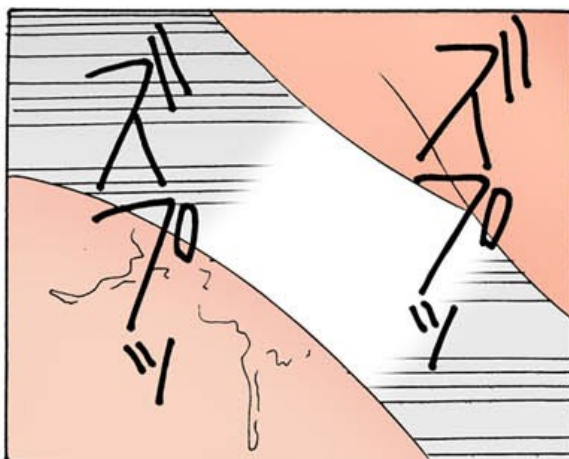
















この奥さんとなら
何発でも
抜けそうですよ

おおお
奥さんいい締まり
してますねえ

ヌチャ
ヌチャ

ズッ

ズッ



ひいっ!!
ひいっ!!



いいねえ
まだ若い
もんには
負けんぞ!

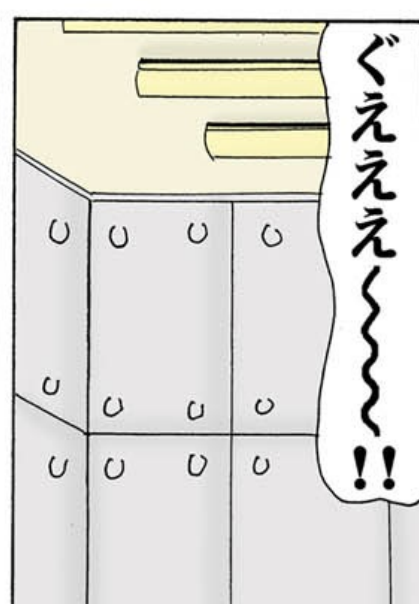
それじゃ部長
9時までに
この奥さんの
上の口と下の口
何発出せるか
競争しますか

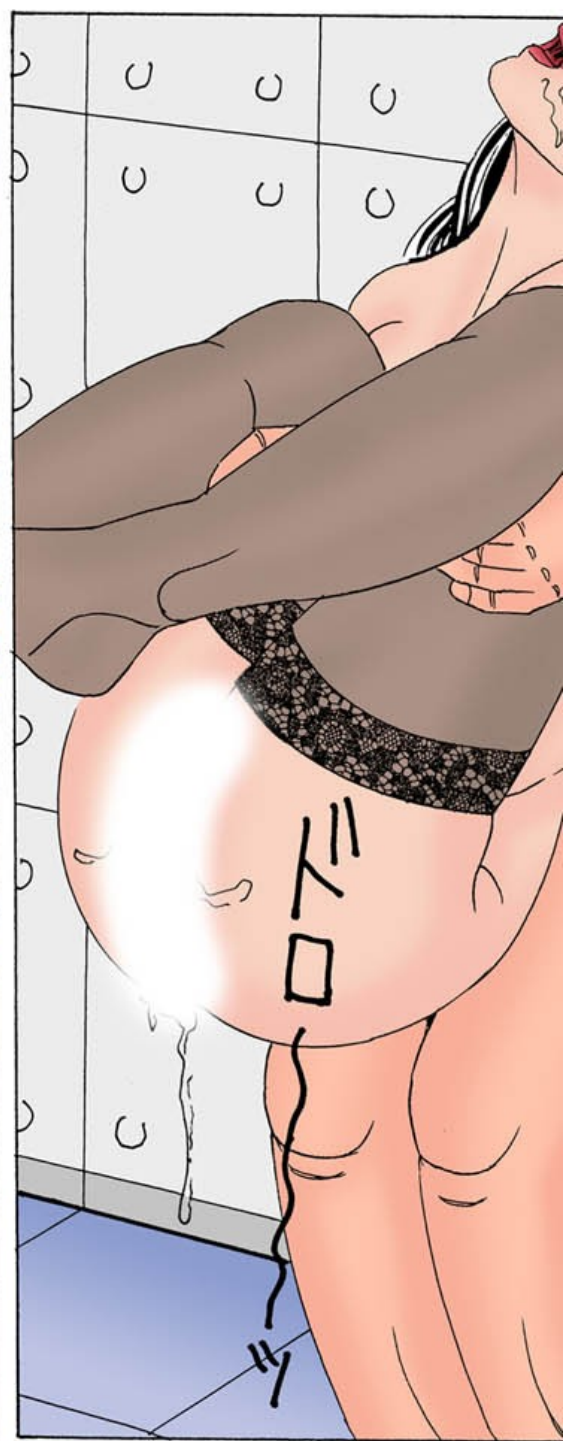


確か9時まで
時間が
あるって
若社長が
言ってたな



もういやあ——っ!!







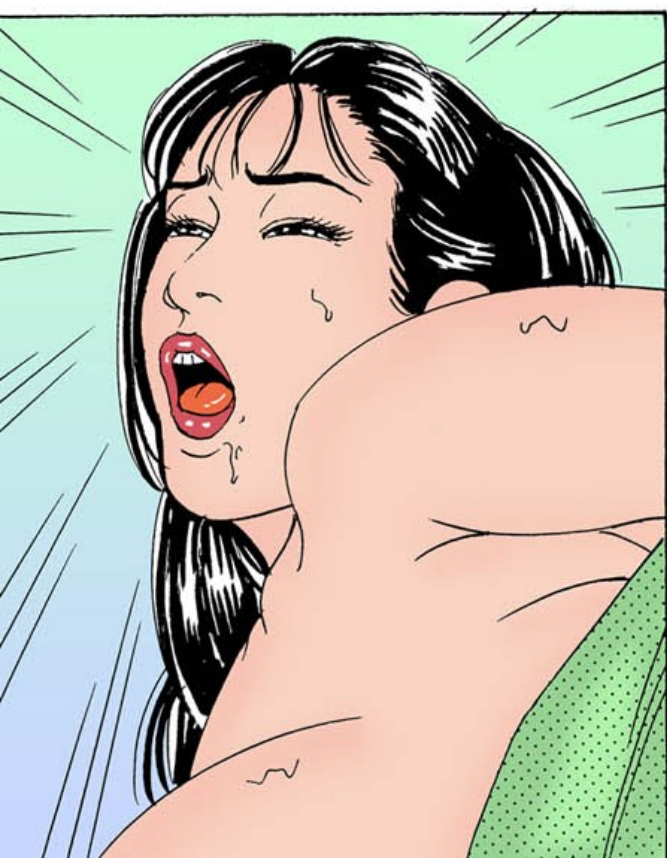
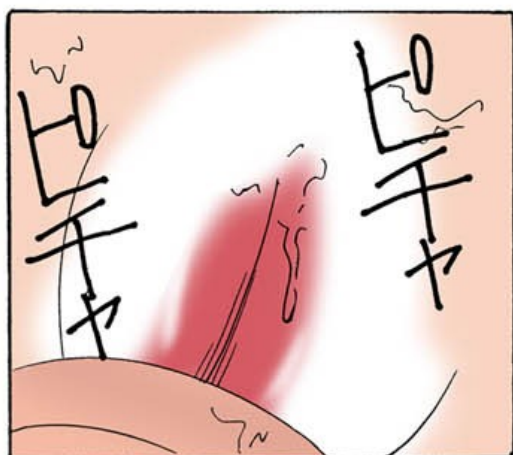
我社の
大切な接待
秘書なんだ
からな

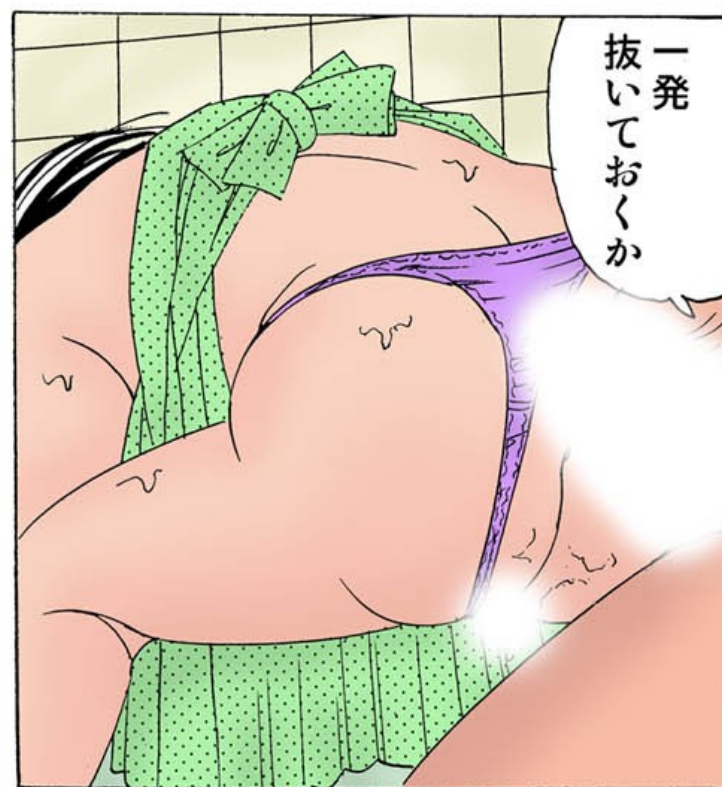
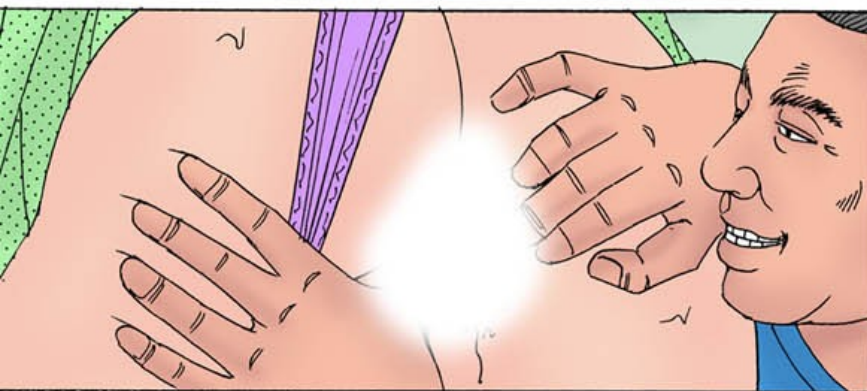


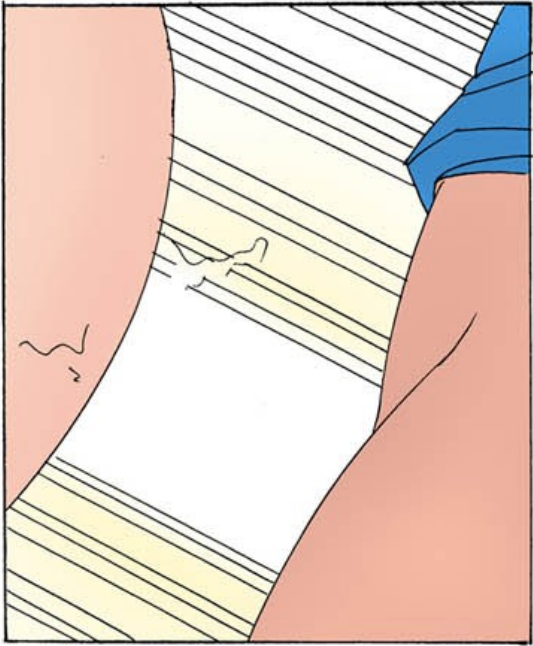
第6話

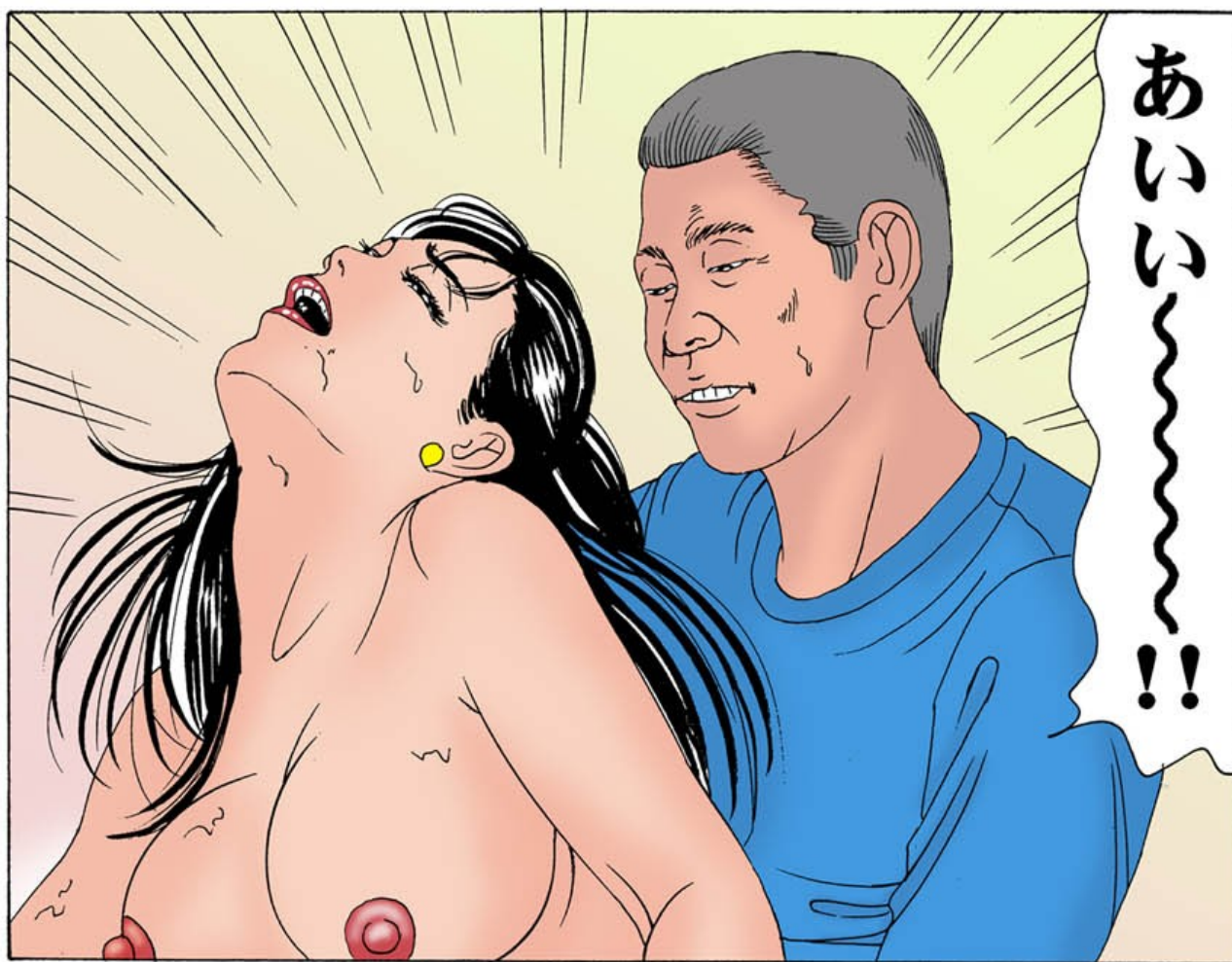
最後の強制奉仕











あい い ~~~~~ !!

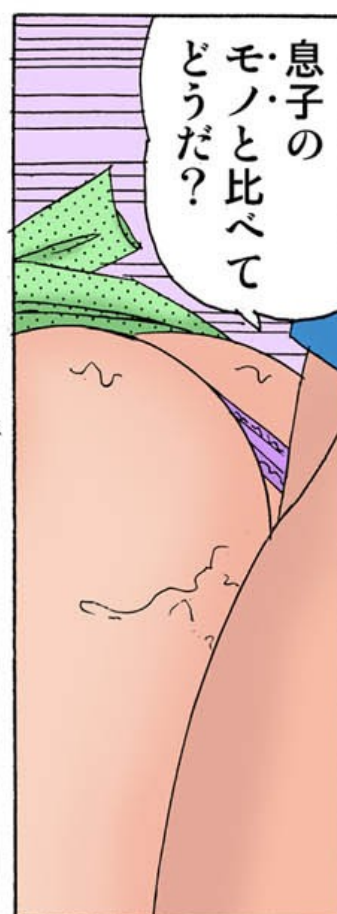


若いもんには
まだまだ
負けんぞ!

あひひっ!!

あひひっ!!

ズッ
ズッ



息子の
モノと比べて
どうだ?





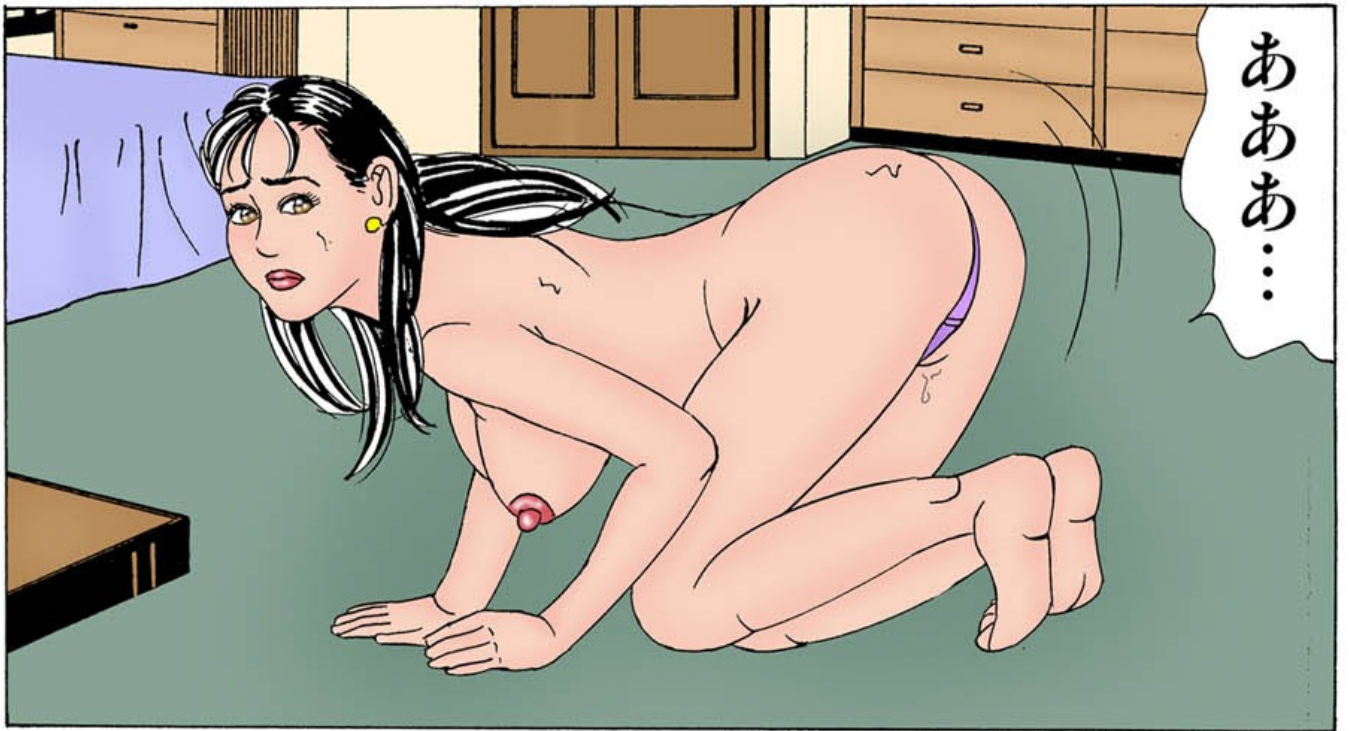


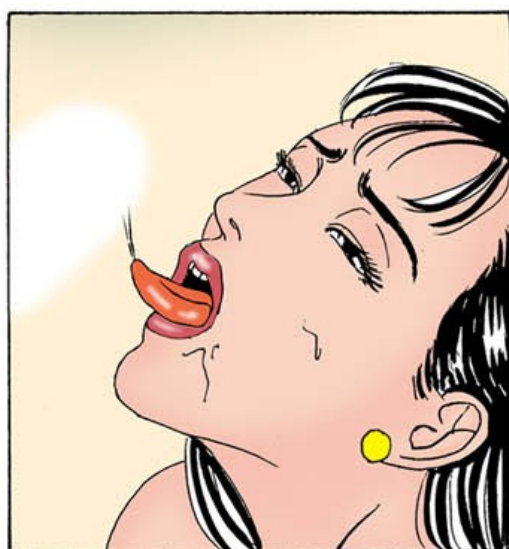
昨夜から
寝ないで
あなたの相手
をしてクタク
タなんです…

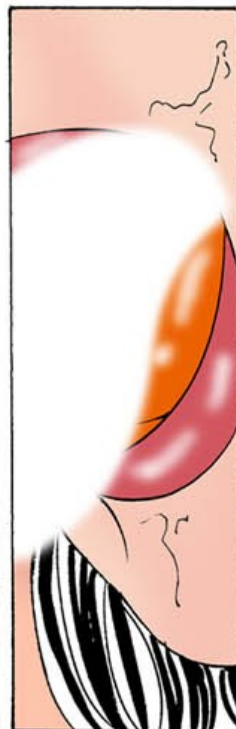
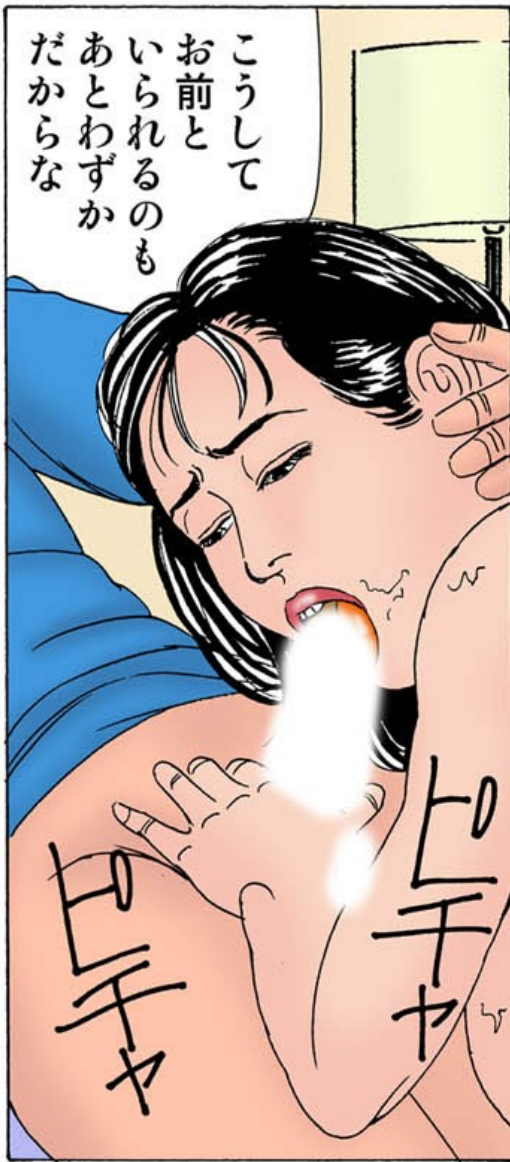
少し
休ませて下さい

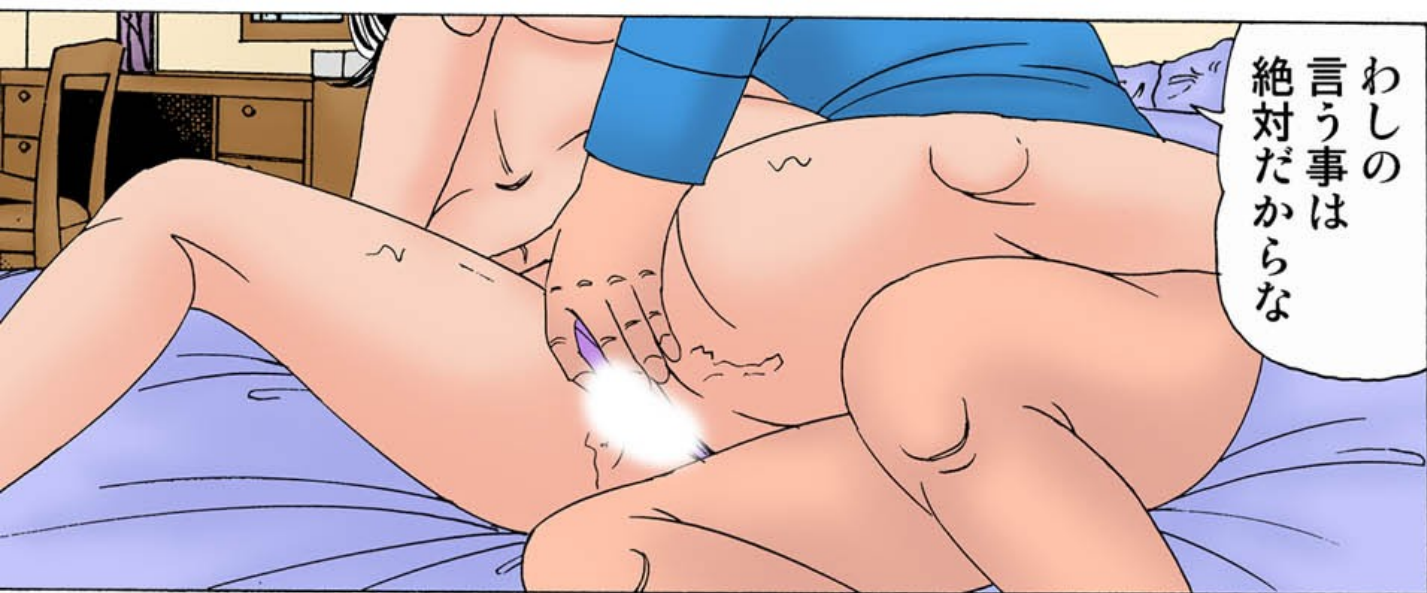
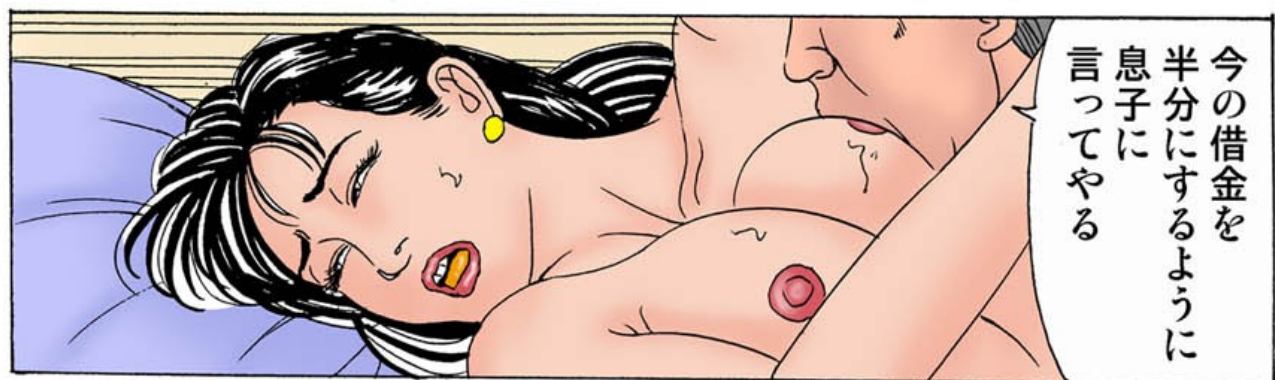
こっちへ来て
わしのモノを
しゃぶる
んだ！

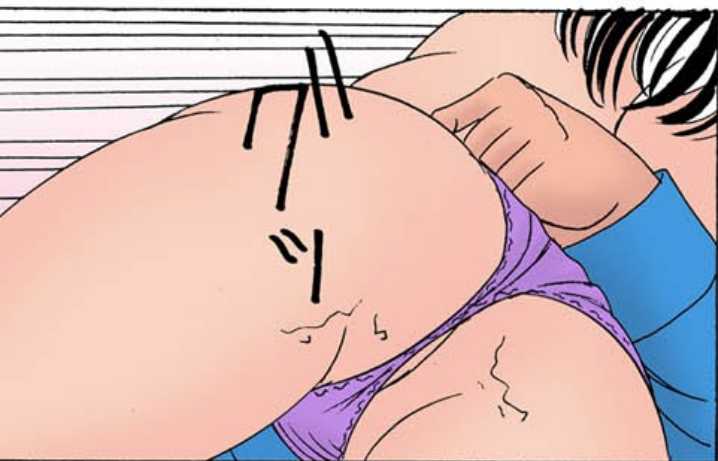
あああ…

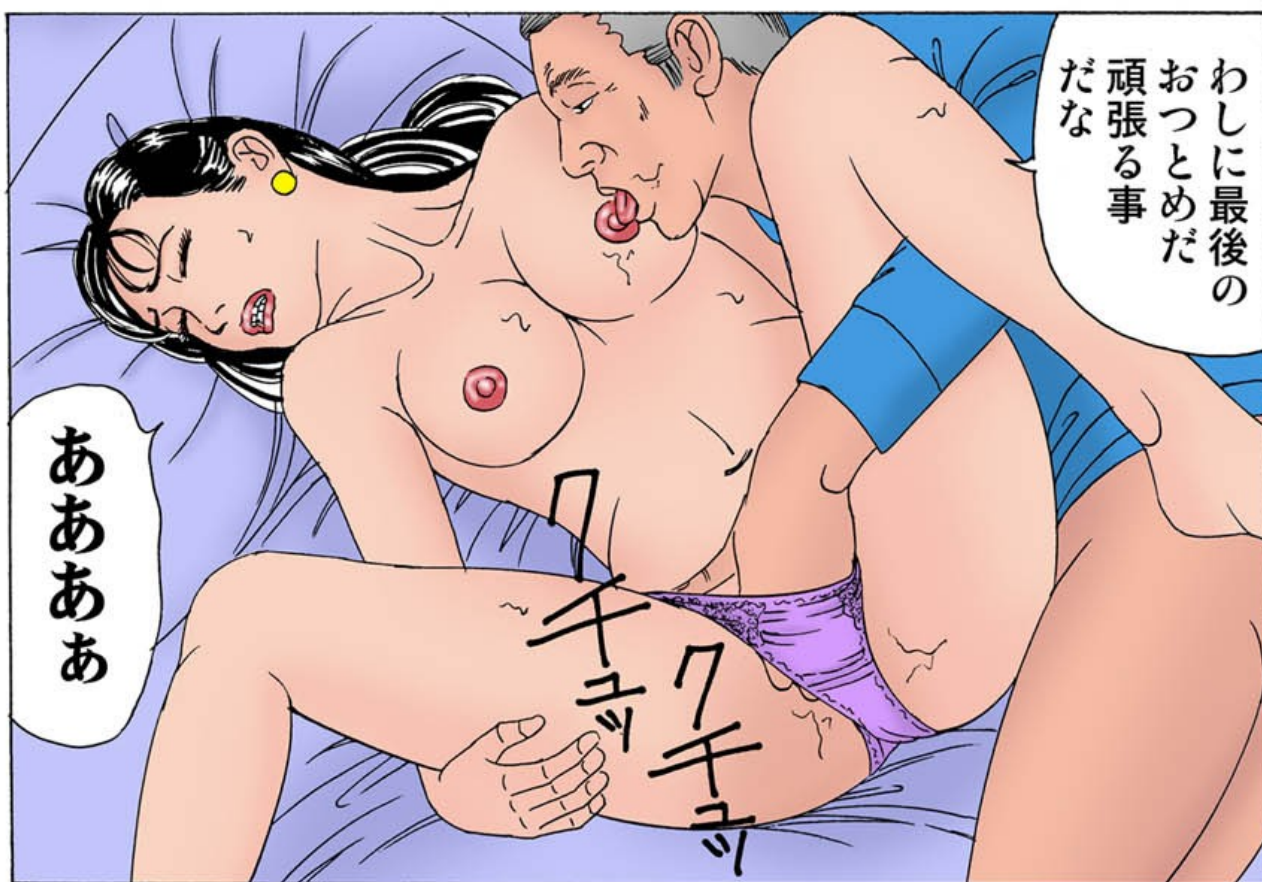


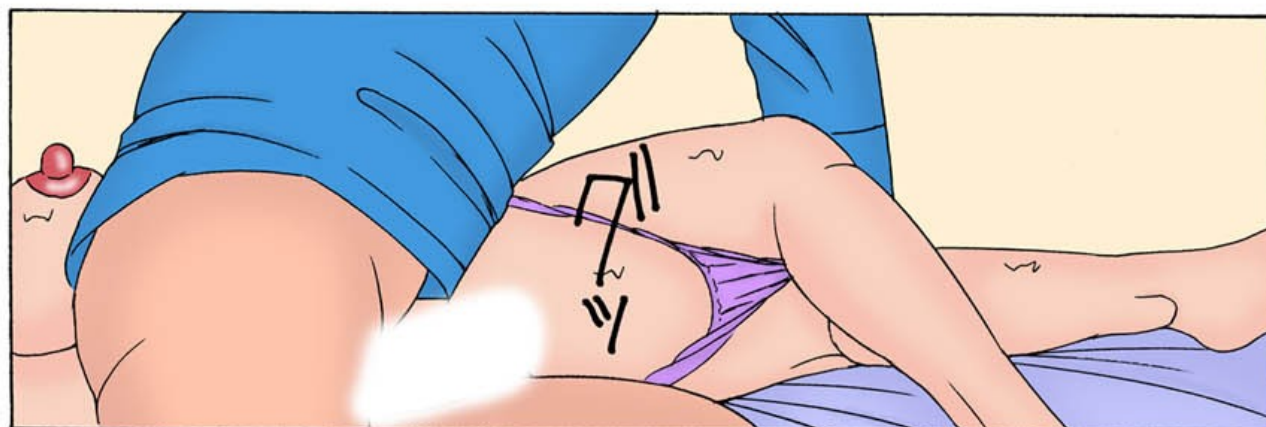
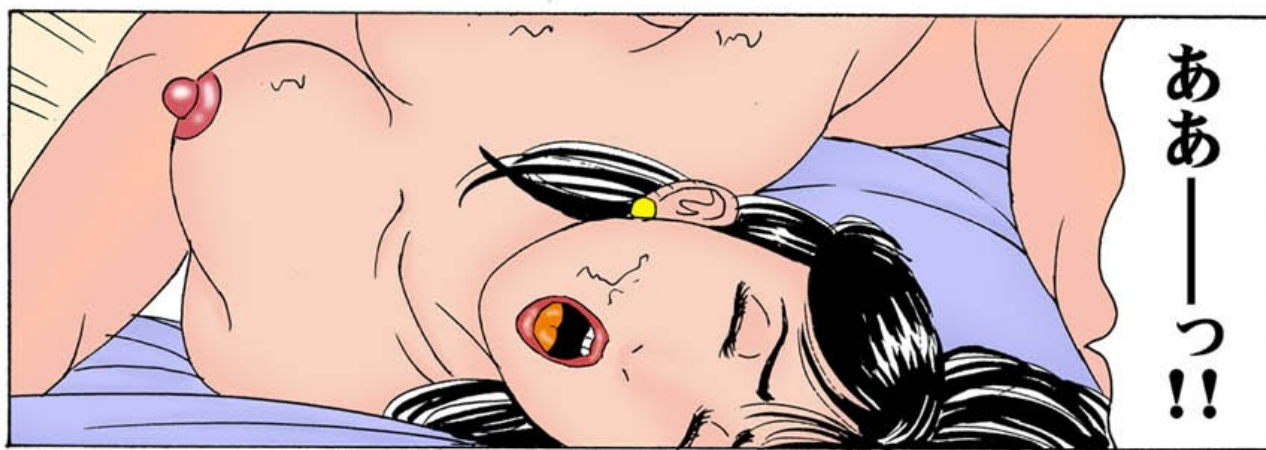
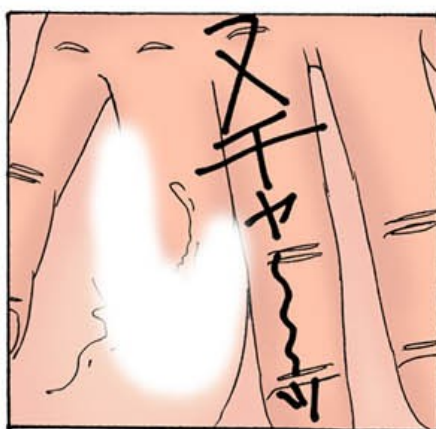
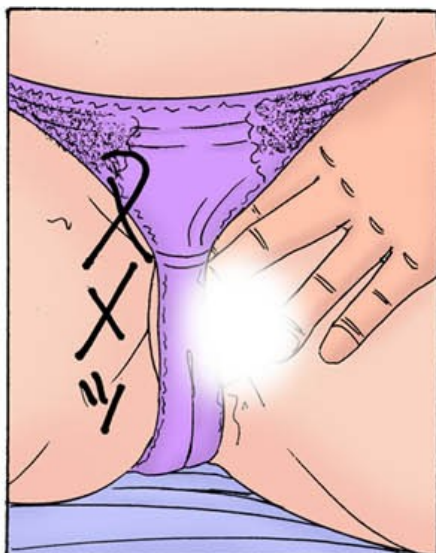


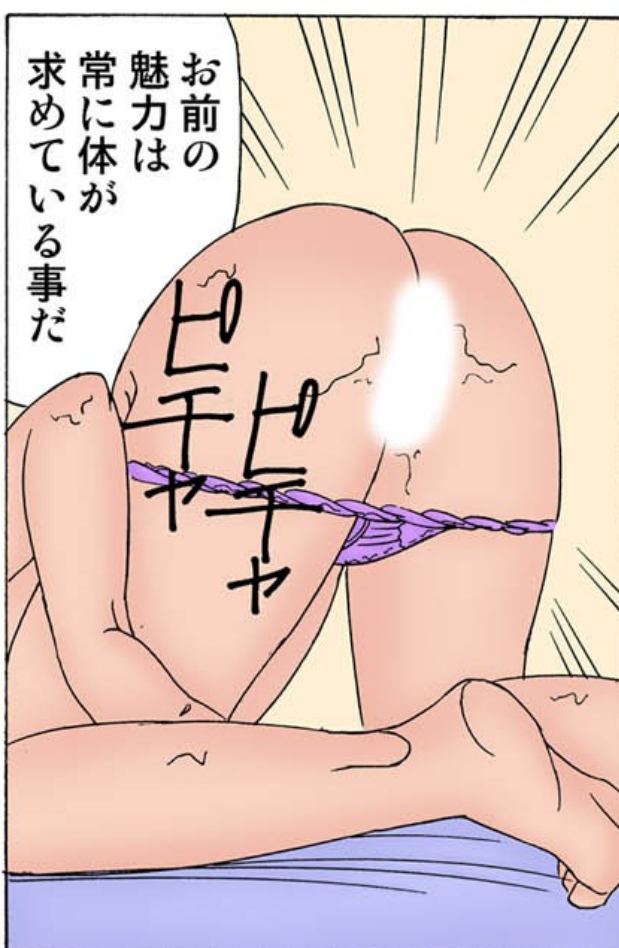
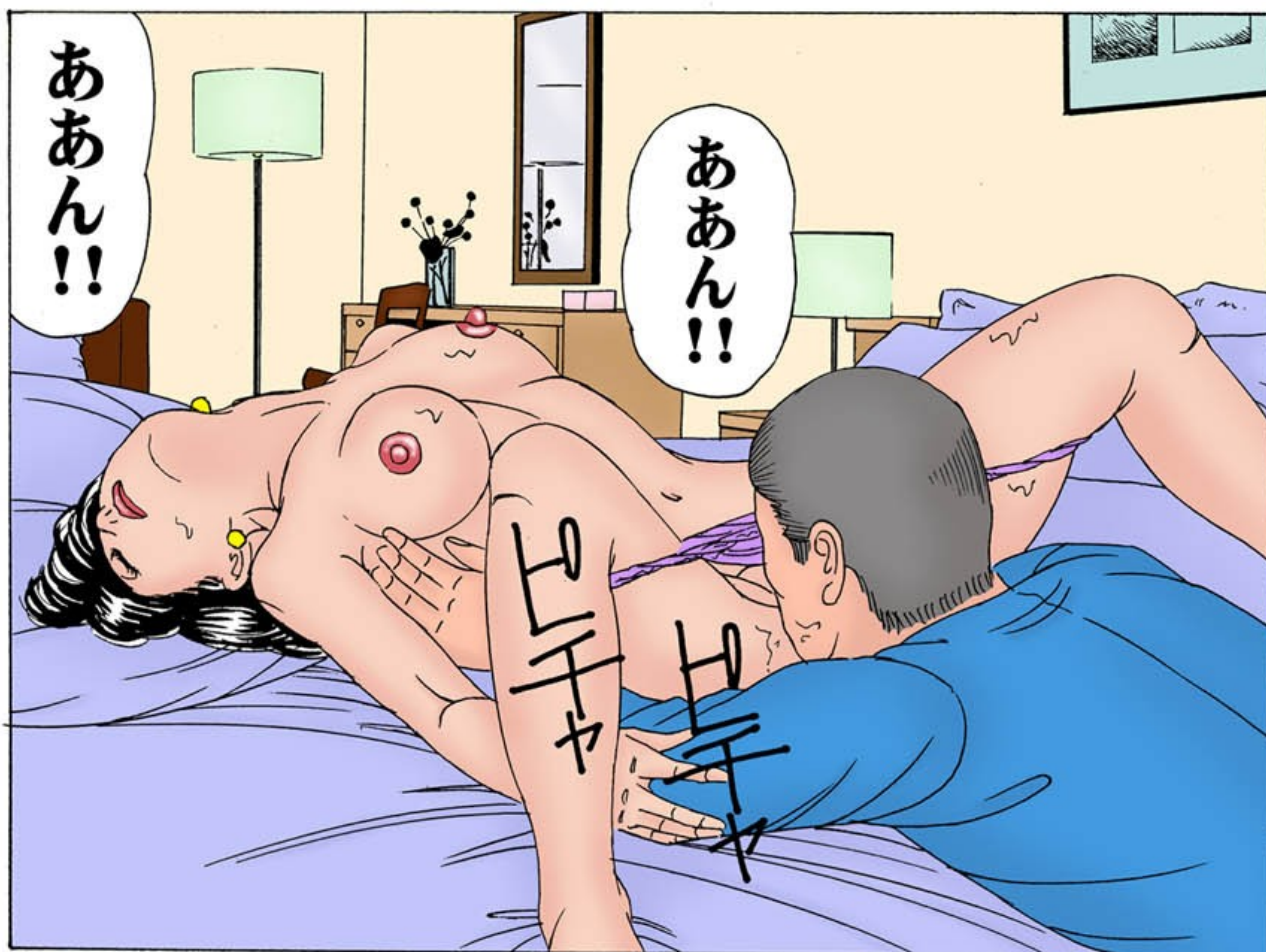


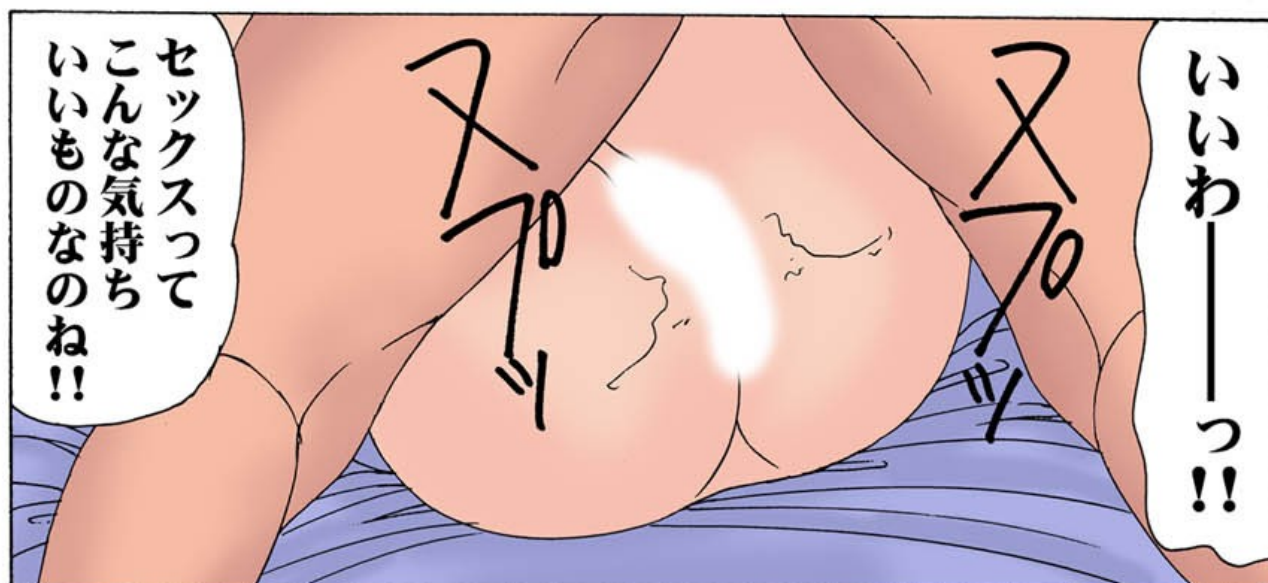
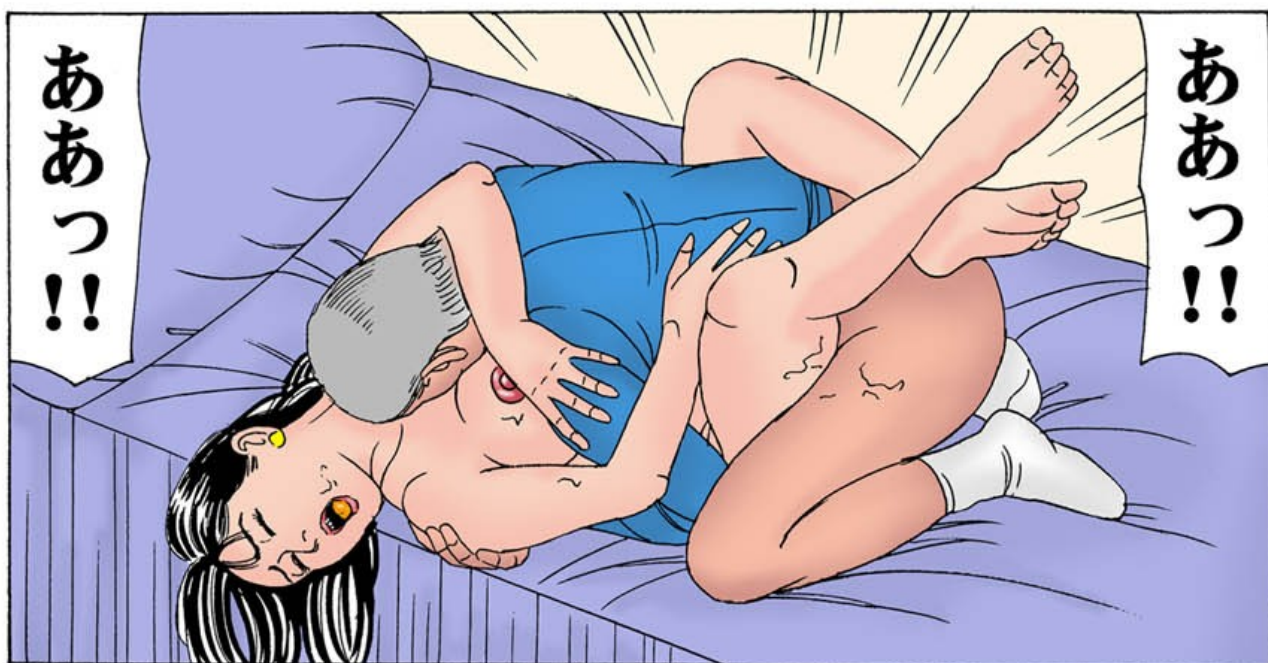
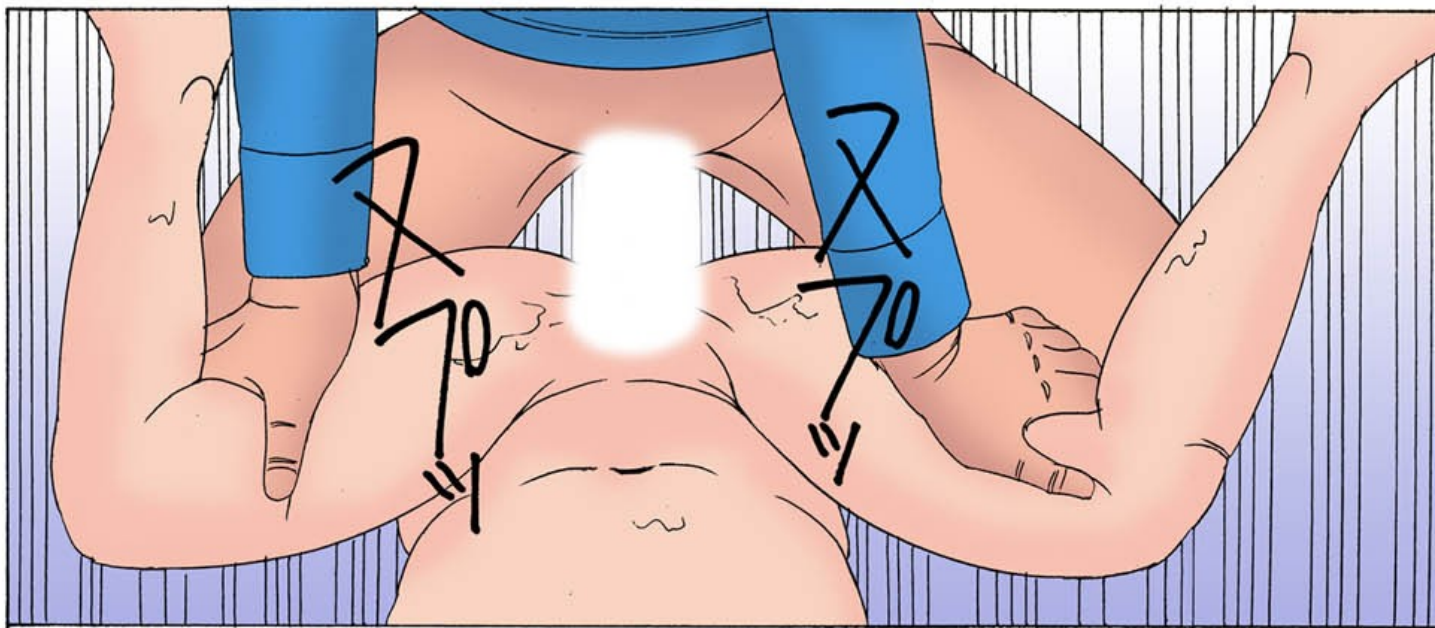


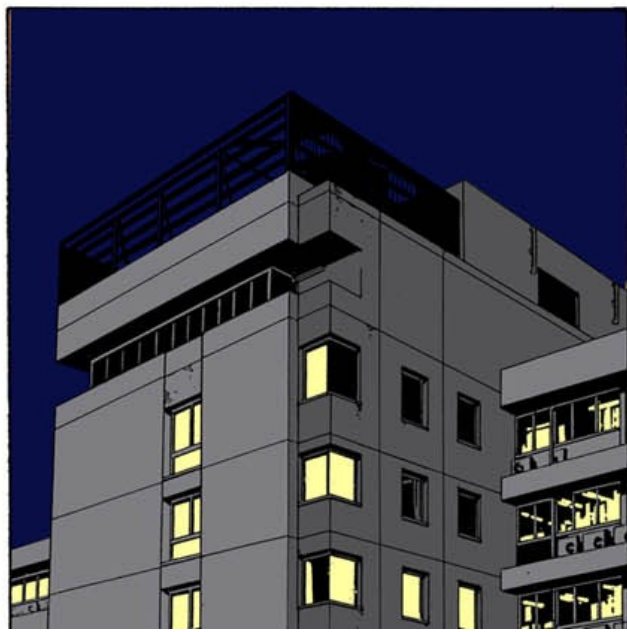


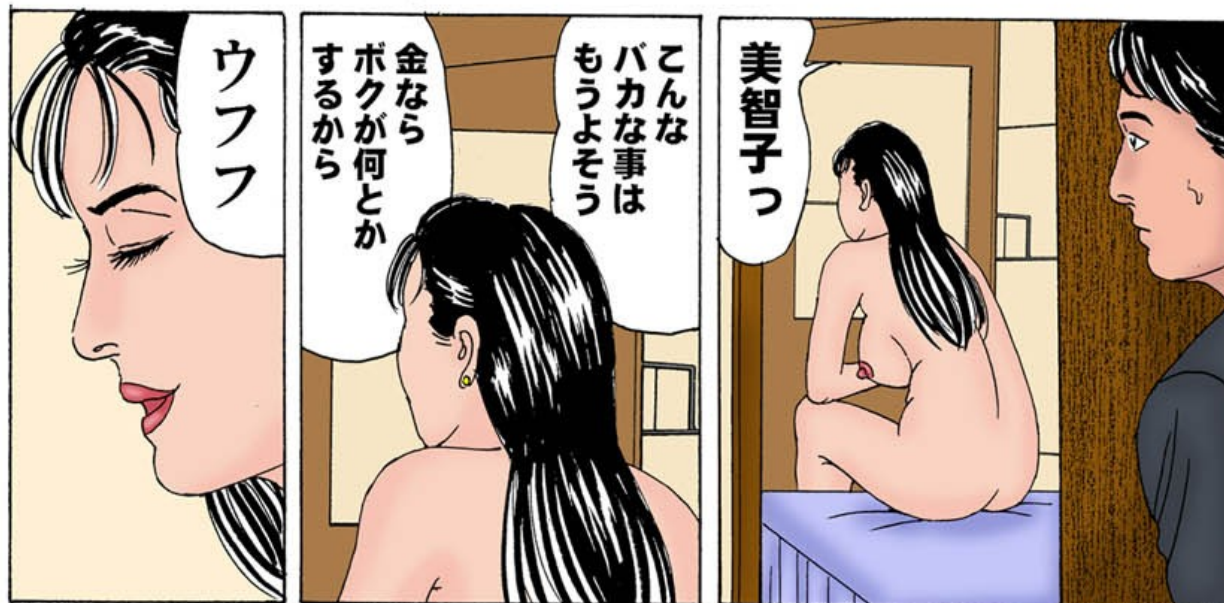












お得意様御一同



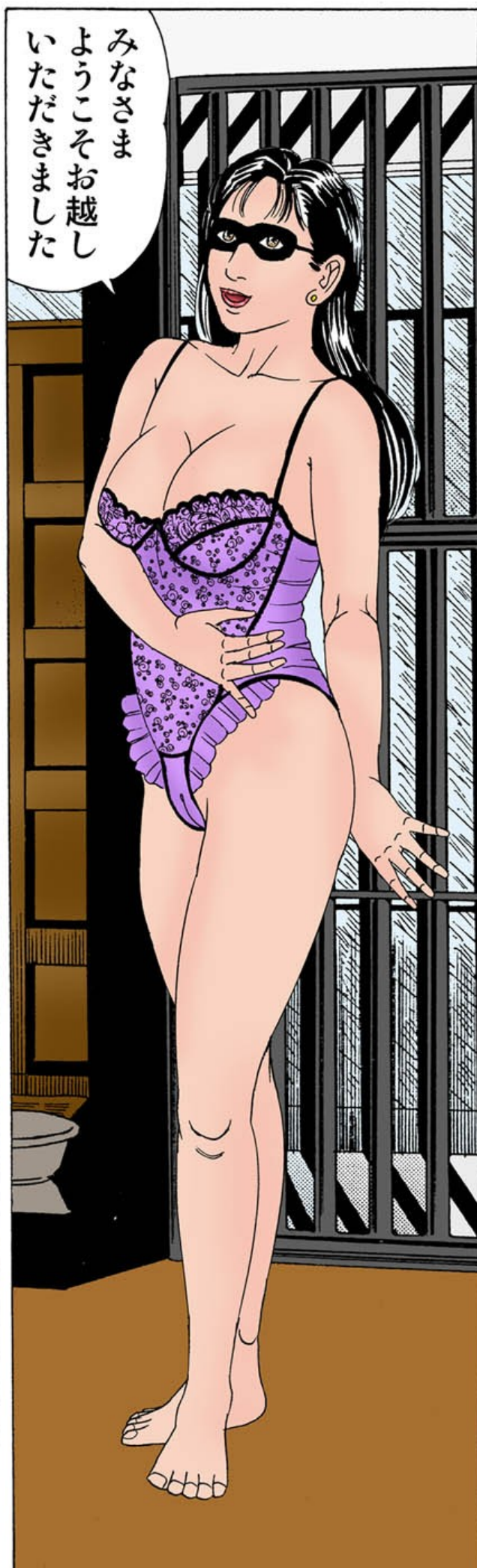
お金なんか
もうどうでも
いいの…
私はセックスが
好きなのよ



今回の
パーティーの
メインの
登場です！



さっそく
服を脱いで
裸になって
下さい



みなさま
ようこそお越し
いただきました



大いに
気に入ったぞ！

これから
契約は
続けるぞ

わしもだ！！

